千歳市の教育
２０１９

アクティブスクールによる
千歳の身近な自然と関わる様子

ＡＬＴによる外国語サポート授業の様子

～未来への飛翔･すべては子どもたちのために～
～学びの意欲と豊かな心を育む文化のまち～

学校支援ボランティアによる
水泳授業の様子

キウス周堤墓群の様子
（1 号周堤墓）

千歳市教育委員会

目　次

Ⅰ　千歳市の概要

1 位置及び地勢……　1
2 気候……　1
3 人口……　2
4 地名の由来……　2

Ⅱ　教育計画

1 千歳市教育大綱……　3
2 令和元年度教育行政執行方針……　3
3 千歳市第6期総合計画（教育関係）……　4
4 千歳市学校教育基本計画……　5
5 千歳市生涯学習基本計画（後期計画）……　6
6 千歳市子どもの読書活動推進計画（第2次）……　7

Ⅲ　教育行財政

〔1〕教育行政

1 教育委員・歴代教育委員長・歴代教育長・歴代教育委員……　8
2 教育委員会会議の開催状況……　10
3 教育行政の沿革……　10
4 教育委員会組織と事務分掌……　15

〔2〕教育財政

1 教育予算……　18
2 令和元年度主要事業予算……　20

Ⅳ　学校教育

〔1〕学校教育の主な施策

1 ふるさと千歳への感謝と希望を育てる……　21
2 国際都市千歳にふさわしいグローバルな感覚を育てる……　22
3 知的な探究心を持ち積極的に行動する力を育てる……　23

〔2〕児童生徒数の推移

1 小学校……　24
2 中学校……　24

〔3〕市内小中学校の変遷……　25

〔4〕学校の概要
1 小学校……29
2 中学校……46
3 幼稚園……55
4 認定こども園……56
5 高等学校……57
6 大学・専修学校……60
〔5〕就学の助成
1 就学援助……61
2 特別支援教育助成……62
3 奨学金制度……63
4 私立幼稚園助成……64
〔6〕学校保健
1 児童生徒の体位……65
2 災害共済給付……65
〔7〕学校給食
1 施設の概要……66
2 学校給食の状況……66
3 運営方法……66
4 給食校及び配食数……67
5 給食費……67
6 栄養基準……67
〔8〕生徒指導・青少年指導
1 教育相談……68
2 不登校児童生徒……69
3 いじめに関する取組……70
4 各種事故……70
5 児童生徒の安全確保……71
6 青少年指導人数……71

Ⅴ 社会教育
〔1〕生涯学習・社会教育の主な施策……72
〔2〕社会教育委員・公民館運営審議会委員
1 社会教育委員……73
2 公民館運営審議会委員……73

〔3〕社会教育事業……74
〔4〕社会教育施設
1 千歳市立図書館……76
2 千歳市立千歳公民館……78
3 千歳市民文化センター……81
4 千歳市民ギャラリー……84
5 千歳市民活動交流センター「ミナクール」……86
6 千歳市青少年会館……87
〔5〕文化財
1 施設概要……88
2 沿革……88
3 国指定史跡……88
4 国指定重要文化財……89
5 国指定重要無形民俗文化財……90
6 市指定文化財……90
〔6〕公益財団法人千歳青少年教育財団
1 目的……96
2 主な事業内容……96
3 サケのふるさと千歳水族館……96
4 教育事業……98
〔7〕社会体育事業……99
〔8〕学校開放事業
1 体育館……100
2 グラウンド……100
3 武道場……100
4 利用状況……100
〔9〕社会体育施設
1 千歳市温水プール……102
2 千歳市スポーツセンター……103
3 千歳市開基記念総合武道館……104
4 その他の社会体育施設……105

千 歳 市 章 (昭和27年5月1日制定)

ちとせの「ち」を飛行機の形に図案化して、空港がある臨空都市を表現するとともに、国立公園支笏湖とその連山、豊かな大地など、伸びゆく千歳の姿を描いています。

Ⅰ 千歳市の概況

1 位置及び地勢

北海道の中南部、石狩平野の南端に位置する千歳市は、札幌市や苫小牧市など4市4町に隣接し、札幌市へは北へ40km、ＪＲ快速電車で約30分の至近距離にあります。

市街地の標高は15m 前後の低地となっていて、国内では最も低い25m 前後の分水嶺が飛行場の付近にあり、江戸期には千歳川などを利用する北海道内部の河川交通の陸上部分・シコツ越えの地として栄えました。

市域の西部は山岳地帯で国立公園支笏湖地域を形成しており、豊かな自然に恵まれています。支笏湖は、約4万年前に支笏火山の大噴火でできたカルデラ湖で、面積が国内8位、最大水深及び貯水量は国内2位の大きな湖です。市街地は支笏湖を源とする千歳川の沖積地に広がり、飛行場・空港、工業団地、自衛隊駐屯地・基地などがあり、東部は丘陸地帯で自然豊かな農業地帯となっています。

千 歳 市 の 位 置		
方 位	町 名	経 緯 度
極 東	東 丘	東経 141° 52′ 12″
極 西	美 笛	東経 141° 10′ 17″
極 南	美 笛	北緯 42° 40′ 53″
極 北	新 川	北緯 42° 57′ 12″

千歳市役所の位置　東経:141°39′04″　北緯:42°49′18″
広　が　り　東西:57.20 km　南北:30.40 km
面　積　594.95 ㎢
隣 接 市 町 村　東:由仁町、安平町　西:伊達市
南:苫小牧市、白老町　北:札幌市、恵庭市、長沼町

2 気 候

千歳市は、太平洋と日本海の気象の影響を受ける分岐点にあり、梅雨や台風の影響が少なく、年間降水量は1,000㎜程度で降水量も道内では少ない地域です。また、夏季の最高気温は30℃程度、冬季には最低気温が0℃未満の冬日が続き、年間の平均気温は7℃程度であり、内陸型のしのぎやすい気候となっています。

3 人 口

千歳に戸長役場が置かれたのは、明治１３年です。当時は、４７世帯２０９人の宿場町に過ぎず、大正後期から昭和初期に至っても人口は5,０００人前後の寒村でしたが、昭和１４年に海軍航空隊の基地完成により人口が１０,０００人を超え、以来、戦後の米オクラホマ州兵団駐留や自衛隊の移駐などで人口は増え続け、昭和３３年7月１日には、北海道第１７位の人口となり、道内２４番目の「市」になりました。

その後、市営工業団地への企業誘致や空港旅客ターミナルビルの完成など都市機能の充実を背景に、人口は順調に増えていきました。人口は平成7年第１６回調査で8万人、１７年には9万人を超え、２２年には９３,６０４人、２７年では９５,６６４人となり、人口増加数は、道内他市町村が人口減少の中、札幌市に次ぐ道内第2位で、増加率は道内市部第1位となり、増加の一途をたどっています。

千歳市の人口は、現在道内第１０位となっております。

令和元年5月1日現在の人口･世帯	
男	４９,４１５人
女	４８,０１０人
総人口	９７,４２５人
世帯数	４９,９４４世帯

（住民基本台帳）

4 地名の由来

千歳の旧地名は、アイヌの人たちの言葉でシコツと呼ばれていました。シコツとは「大きなくぼ地、または谷」という意味で、当時は、大空に鶴が舞い、川にはサケが遡る自然にあふれた大地でした。また、シコツには、太平洋と日本海を結ぶルートとなる「シコツ越え」があり、万治元年（１６５８年）に、現在の千歳神社の位置に志古津弁天小社が造営されるなど、人の往来が多い地でした。文化2年（１８０５年）、シコツ場所担当の箱館奉行調役並山田鯉兵衛嘉充が箱館奉行羽太正養に新しい地名を付けてほしいと願い出ました。そこで、シコツの地には多くの鶴がいることから、「鶴は千年、亀は万年」の故事から千歳と命名されました。

千歳市民憲章

世界をつなぐ　北の大空。
千歳川の　清い流れ。
開拓　ここに一世紀。
私たちは、誇りある千歳市民です。
郷土の発展と、お互いのしあわせを
願い、この憲章をかかげて、力強く
前進をつづけます。

1. 心身をきたえ、仕事にはげみ、
　明るく　若々しい　まちにしましょう。
1. 自然を愛し、季節に親しみ、
　快く　楽しい　まちにしましょう。
1. きまりを守り、力を合わせて、
　美しく　住みよい　まちにしましょう。
1. 年よりを敬い、子どもの夢をはぐくみ、
　温かく　平和な　まちにしましょう。
1. 文化を育て、希望にみちた、
　豊かな　おちついた　まちにしましょう。

（昭和５４年7月1日制定）

「希望」「健康」「自然」「連帯」「愛」をイメージする市民権肖像

（平成3年7月２０日建）

Ⅱ　教育計画

1　千歳市教育大綱

⑴　基本目標

学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち

⑵　重点施策

① 確かな学力の向上
② 教育環境の整備
③ 外国語教育の充実
④ いじめ・不登校の対策
⑤ 生涯学習の推進

⑶　基本方針

① ふるさと千歳への感謝と希望を育てる
② 国際都市千歳にふさわしいグローバルな感覚を育てる
③ 知的な探究心を持ち積極的に行動する力を育てる
④ 学びの意欲と豊かな心を育む文化のまち

2　令和元年度教育行政執行方針

⑴　教育行政の基本姿勢

① 未来への飛翔・すべては子どもたちのために
② 学びの意欲と豊かな心を育む文化のまち

⑵　教育重点施策

① 確かな学力の向上
② 教育環境の整備
③ 外国語教育の充実
④ いじめ・不登校の対策
⑤ 生涯学習の推進

⑵　主な施策

① 学校教育の推進
- ふるさと千歳への感謝と希望を育てる
- 国際都市千歳にふさわしいグローバルな感覚を育てる
- 知的な探究心を持ち積極的に行動する力を育てる

② 生涯学習の推進
- いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進
- 社会の変化や今日的課題などに対応した、様々な学習機会の充実
- 市民ニーズに対応し、安全で快適に利用ができる社会教育施設の充実
- 多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援
- 文化財の保護と継承
- 思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年の健全育成活動の推進

3　千歳市第6期総合計画（教育関係）（平成23年度～令和2年度）

基本目標	展開方針	施策
学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち	生涯学習のまちづくり	学びあえる仕組みづくりの推進
		市民活動の活性化とネットワーク体制の充実
		未来の社会を担う人づくりのための機会の創出
	幼稚園教育の充実	幼稚園教育の充実
	小中学校教育の充実	快適な学校環境の整備
		教育活動の充実
		安心・安全な教育環境の充実
		特別支援教育の充実
		学校を支える組織の充実
		教育相談・指導の充実
		学校給食の充実
	高等学校教育等の充実	教育機会の拡充
	社会教育の充実	学習機会の充実
		家庭教育の充実
		社会教育施設の充実
	市民文化の創造	文化鑑賞機会の充実
		文化活動の推進
	文化財の保護と活用	文化財の保護と保存
		郷土資料の公開と活用
		伝統文化の保存と継承
	生涯スポーツの推進	生涯スポーツの啓発と普及
		スポーツ施設の充実
	青少年の健全な育成	青少年健全育成活動の推進
		青少年の非行防止
	多様な地域間交流の推進	人と地域が育む国際交流の推進

4　千歳市学校教育基本計画（平成２６年度～令和２年度）

基本目標	基本方向	施策項目
ふるさと千歳への感謝と希望を育てる 【基礎となる基本目標】	子どもたちに自己有用感を育てる教育の推進	千歳市の特色を生かした教育活動の推進
		認め合い高め合う学年・学級経営の推進
		教育相談体制の充実
		いじめ・不登校問題への取組の充実
	安全・安心な教育環境の充実	学校施設の充実
		防災・安全教育の推進
		就学（修学）支援の充実
	家庭の教育力の向上への支援の充実	家庭の教育力の向上
		幼児教育・子育て支援の充実
	地域全体で子どもを育む環境づくりの推進	地域の教育力の向上
		子どもたちの安全・安心を確保する体制づくりの推進
国際都市千歳にふさわしいグローバルな感覚を育てる 【時代のニーズに応じた基本目標】	新しい時代に対応した学校改善の推進と「学校力」の向上	学校組織の活性化に向けた取組の推進
		開かれた学校づくりの推進
		教職員の資質・能力の向上
		学校間の連携・接続の推進
		関係機関団体との連携協力の推進
	社会の変化に対応する力を育成する教育の推進	ＩＣＴ教育の充実
		環境教育の推進
	国際社会に生きる人材を育成する教育の推進	外国語教育の充実
		国際理解教育の充実
知的な探究心を持ち積極的に行動する力を育てる 【生きる力（知・徳・体）を育むための基本目標】	確かな学力を育成する教育の推進	確かな学力を育成する教育の推進
		学ぶ意欲を高める指導の充実
	豊かな心を育成する教育の推進	道徳教育の充実
		読書活動の推進
		体験的な活動の充実
	健やかな身体を育成する教育の推進	体力・運動能力の向上
		食育の推進
		健康教育の推進
	特別支援教育の推進	特別支援教育の体制整備
		一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた指導の充実

5　千歳市生涯学習基本計画（後期計画）（平成２８年度～令和２年度）

基本目標	推進方向	取組方策
学びの意欲と豊かな心を育む文化のまち	いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進	市民の自主的な学習活動の支援
		関係機関と連携した学習支援や交流活動の支援
		生涯学習活動の普及・啓発の充実
		まちづくり活動を行うセンター機能の充実
		まちづくりを行う人材や団体の育成と活動支援
		地域の力による、未来を担う子どもたちの活動支援の充実
	社会の変化や今日的課題などに対応した、様々な学習機会の充実	市民ニーズに応じた学習機会の充実
		高齢者の学習機会の充実
		家庭教育に関する学習機会の充実
	市民ニーズに対応し、安全で快適に利用ができる社会教育施設の充実	市民ニーズを反映した、社会教育施設の機能の充実
		安全で快適に利用ができるよう、施設や設備の計画的な改修・更新
	多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援	文化鑑賞機会の充実と活動の支援
		文化鑑賞に関する情報提供の充実
		読書環境の充実
		文化関係団体やサークルなどの育成と活動の支援
		活動成果を発表する機会の充実
	文化財の保護と継承	文化財の保護・保存と活用
		郷土資料等の収集・調査と公開
		伝統文化の保存と継承
	地域における各種スポーツ活動の活性化と団体の育成	生涯にわたるスポーツ活動の促進
		スポーツイベント、スポーツ教室などの充実
		スポーツ活動を支援する指導者や団体の育成
		市民のスポーツ意識の啓発
		小中学校施設の地域開放
	思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年の健全育成活動の推進	家庭、学校、地域などとの連携・協力を通じた健全育成活動の推進
		関係団体の育成と活動の支援
		自然体験や地域文化の理解、科学探究活動の充実
		青少年の非行防止

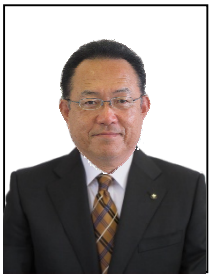
6　千歳市子どもの読書活動推進計画（第2次）（平成26年度～令和2年度）

基本目標	推進方向	施策の概要
子どもたちが、あらゆる機会と場所において自主的な読書活動ができるよう、読書環境の充実を図ること	家庭・地域における子どもの読書活動の推進	家庭での読書の習慣化の推進
		幼稚園・保育所・児童館・学童クラブなど、地域での図書の充実と読み聞かせの促進
		乳幼児期の読書機会の充実
		読書活動を支援するボランティア活動への参加と活動の継承促進
		学校や図書館との連携・協力の強化
	学校における子どもの読書活動の推進	一斉読書や調べ学習などの多様な読書活動の継続と充実
		学校図書館の図書や設備の充実
		家庭や地域、市立図書館との連携・協力の強化
		小中学校図書館司書の配置などによる学校図書館の充実
		高等学校などにおける読書環境の充実
	市立図書館における子どもの読書活動の推進	子どもの読書活動の普及及び啓発
		ボランティアの養成とボランティア団体との連携・協力の強化
		学校、家庭・地域の施設との連携・協力の強化
		乳幼児読書事業の継続及び充実
		移動図書館を利用した読書環境の充実
		子どものための読書相談サービスの充実
		障がいのある子どもの読書活動の促進
		中学生・高校生向けの図書の充実

III 教育行財政

〔1〕教育行政

1 教育委員・歴代教育委員長・歴代教育長・歴代教育委員


宮崎教育長

佐々木
教育長職務代理者

荒井委員

橋場委員

吉村委員

【教育委員】

役職名	氏名	就任年月日
教育長	宮崎 肇	平成24年10月 1日就任 (2期目)
教育長職務代理者	佐々木 義朗	平成18年10月 1日就任 (4期目)
委員	荒井 由紀恵	平成27年10月 1日就任 (1期目)
委員	橋場 正人	平成28年10月 1日就任 (1期目)
委員	吉村 恭子	平成29年10月 1日就任 (1期目)

【歴代教育委員長】

歴代	氏名	就任期間			
初代	五十嵐直蔵	昭和31年10月 1日	～	昭和34年 5月31日	1期(2年8か月)
2代	岸本貞治	昭和34年 6月 1日	～	昭和46年 9月30日	4期(12年4か月)
3代	河野有三	昭和46年 4月30日	～	昭和60年 9月30日	4期(14年5か月)
4代	島倉充平	昭和60年10月 1日	～	平成 9年 9月30日	3期(12年)
5代	伊藤博邦	平成 9年10月 1日	～	平成17年 9月30日	2期(8年)
6代	山田律子	平成17年10月 1日	～	平成28年 9月30日	3期(11年)

※新教育委員会制度に伴い、教育長の任期更新時(平成28年9月30日)に委員長職廃止

【歴代教育長】

歴代	氏名	就任期間			
初代	菅原悳一	昭和31年10月 1日	～	昭和34年 3月13日	1期(2年5か月)
2代	半田景明	昭和34年 6月16日	～	昭和50年 3月20日	5期(16年9か月)
3代	宮澤一成	昭和50年 6月 1日	～	昭和63年 9月30日	4期(13年4か月)
4代	佐藤利雄	昭和63年10月 1日	～	平成 8年 9月30日	2期(8年)
5代	工藤文夫	平成 8年10月 1日	～	平成13年 9月30日	2期(5年)
6代	小林義知	平成13年10月 1日	～	平成24年 9月30日	3期(11年)
7代	宮崎 肇	平成24年10月 1日	～		2期目

【歴代教育委員】

氏 名	委員 (在任期間)			委員長	教育長	委員
内 村 ナ ツ	S31.10. 1	S43. 9.30	3期(12年)			○
信 田 信太郎	S3110. 1	S41. 9.30	3期(10年)			○
五十嵐 直 蔵	S31.10. 1	S34. 5.31	1期(2年8か月)	◎		
高 橋 三次郎	S31.10. 1	S34. 5.13	1期(2年4か月)			○
菅 原 悳 一	S31.10. 1	S34. 3.13	1期(2年5か月)		○	
岸 本 貞 治	S34. 6. 1	S46. 9.30	4期(12年4か月)	◎		
半 田 景 明	S34. 6.16	S50. 3.20	5期(16年9か月)		○	
若 木 キ サ	S34. 7. 3	S36. 3	1期(1年8か月)			○
鈴 木 清 子	S36. 3.31	S43. 9.30	2期(7年6か月)			○
阿 部 忠 彦	S41.10. 1	S45. 9.30	1期(4年)			○
鎌 倉 末 吉	S43.10. 1	S46. 4. 7	1期(2年6か月)			○
藤 本 敬 一	S43.10. 1	S55. 9.30	3期(12年)			○
高 塚 興 正	S45.10. 1	H 2. 9.30	5期(20年)			○
河 野 有 三	S46. 4.30	S60. 9.30	4期(14年5か月)	◎		
矢 野 和 子	S46.10. 1	S58. 9.30	3期(12年)			○
宮 澤 一 成	S50. 6. 1	S63. 9.30	4期(13年4か月)		○	
信 田 茂	S55.10. 1	H 4. 9.30	3期(12年)			○
寺 山 恵美子	S58.10. 1	H 7. 9.30	3期(12年)			○
島 倉 充 平	S60.10. 1	H 9. 9.30	3期(12年)	◎		
佐 藤 利 雄	S63.10. 1	H 8. 9.30	2期(8年)		○	
佐 藤 嘉 彦	H 2.10. 1	H 6. 8.21	1期(3年10か月)			○
今 清	H 4.10. 1	H12. 9.30	2期(8年)			○
三ツ野 仁	H 7.10. 1	H18. 9.30	3期(11年)			○
橋 爪 光 子	H 7.10. 1	H19. 9.30	3期(12年)			○
工 藤 文 夫	H 8.10. 1	H13. 9.30	2期(5年)		○	
伊 藤 博 邦	H 9.10. 1	H17. 9.30	2期(8年)	◎		
竹 嶋 勝 利	H12.10. 1	H20. 9.30	2期(8年)			○
小 林 義 知	H13.10. 1	H24. 9.30	3期(11年)		○	
阿 部 弓 枝	H19.10. 1	H27. 9.30	2期(8年)			○
明 石 光 正	H20.10. 1	H28. 9.30	2期(8年)			○
山 田 律 子	H17.10. 1	H29. 9.30	3期(12年)	◎※		○
佐々木 義 朗	H18.10. 1	―	4期目			○
宮 崎 肇	H24.10. 1	―	2期目		○	
荒 井 由紀恵	H27.10. 1	―	1期目			○
橋 場 正 人	H28.10. 1	―	1期目			○
吉 村 恭 子	H29.10. 1	―	1期目			○

※新教育委員会制度に伴い、教育長の任期更新時(平成28年9月30日)に委員長職廃止

2 教育委員会会議の開催状況

回数	開催日	議　題
1	平成30年 1月31日	千歳市文化財保護審議会委員の委嘱について ほか
2	平成30年 2月27日	平成30年千歳市議会第1回定例会教育行政執行方針及び教育行政報告について ほか
3	平成30年 3月 8日	教職員の異動内申について ほか
4	平成30年 3月23日	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について ほか
5	平成30年 4月25日	平成30年度学校評議員の委嘱又は任命について ほか
6	平成30年 5月29日	平成30年千歳市議会第2回定例会教育行政報告について ほか
7	平成30年 6月29日	千歳市学校給食センター運営審議会委員の委嘱について ほか
8	平成30年 7月23日	平成29年度指定管理者モニタリング報告について ほか
9	平成30年 8月28日	全国学力・学習状況調査結果の公表について
10	平成30年 9月13日	千歳市議会第3回定例会教育行政報告について ほか
11	平成30年 9月20日	平成30年度ハイパーQU検査の分析結果について ほか
12	平成30年10月30日	千歳市立学校における働き方改革推進計画の策定について ほか
13	平成30年11月29日	千歳市議会第4回定例会教育行政報告について ほか
14	平成30年12月26日	平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表方法について ほか

3 教育行政の沿革

⑴ 教育委員会の発足

戦後の民主化、地方分権化の一環として、昭和23年7月15日に教育委員会法が制定され、市町村については、昭和27年11月1日までに設置することとされました。教育委員会の委員は、住民の選挙によって決められ、市町村の委員5人のうち1人は議会から選ばれました。任期は4年ですが、最初の選挙における上位2人は4年、次の2人は2年で、2年ごとに半数の委員を改選するという規定でした。

本市では、昭和27年10月5日に第1回の選挙が行われ、4年任期の委員に今与三郎、市村政五郎、2年任期の委員に中川要助、野沢栄三郎が選ばれ、さらに町議会選出の吉田信一の5名でスタートしました。11月1日第1回教育委員会会議が開催され、委員長に今与三郎、副委員長に中川要助を選出しています。その他、教育長として町教育民生課長の谷口好忠を任命し、教育委員会会議規則や教育委員会事務局組織規程等が決定されています。発足当初は、米オクラホマ州兵師団の駐留による町の風紀問題や、人口急増に伴う不足教室の対策など、教育を取り巻く難問を抱えることになりました。昭和28年4月1日、谷口教育長に代わり、北海道民生部社会課民生・保護生活係長の佐藤勝蔵が招かれて教育長に就任しています。昭和29年6月18日に公職選挙法の一部改正があり、2年委員の任期は更に2年間延長されました。この年、野沢栄三郎委員の辞任に伴い中村竹五郎が繰上当選により委員に就任し、更に、今与三郎委員長が辞任したため、翌30年4月30日の地方統一選挙で町教育委員会委員補欠選挙が行われ、熊谷功男が委員に当選しました。 議会側からは、新たに佐藤文喜が選任され、後任委員長には、副委員長であった中川要助が、副委員長には市村政五郎が選ばれました。昭和31年6月の第2回国会において、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の成立（同年10月1日施行）に伴い、教育委員会委員の公選制が廃止され、地方公共団体の長が議会の同意を得て委員を任命することになりました。同年9月、第3回定例町議会において、五十嵐直蔵、信田信太郎、高橋三次郎、内村ナツ、菅原憲一が議会の同意のもとに委員に任命され、委員長に五十嵐直蔵、副委員長に内村ナツ、教育長に菅原憲一が選出されました。当時は、ジェット機の騒音問題や東千歳地区の通学問題などを抱えていました。

(2) 沿 革

月日	主な出来事
明治12(1879)年10月	千歳村で初の寺子屋式教育を始める(現千歳小学校)
〃 13(1880)年 3月	千歳村に戸長を置き事務を行う(戸長役場開庁)
4月	千歳教育所創設
〃 22(1889)年 4月	千歳教育所を改め簡易小学校となる
〃 28(1895)年 3月	簡易小学校が千歳尋常小学校となる(現在地に校舎新築)
〃 32(1899)年 9月	長都に私立教育所設置(長都小学校)
〃 33(1900)年 6月	千歳尋常小学校阿宇砂里分教場設置(現駒里小学校)
	嶮淵簡易教育所設置(泉郷小学校の前身)
9月	幌加簡易教育所設置(幌加小学校の前身)
11月	長都の私立教育所が長都簡易教育所となる
〃 34(1901)年 6月	長都簡易教育所が長都尋常小学校となる
12月	近唐教育所設置(協和小学校の前身)
〃 35(1902)年 4月	木臼簡易教育所設置(中央小学校の前身)
〃 39(1906)年 9月	阿宇砂里分教場が阿宇砂里簡易教育所となる
大正元(1911)年10月	烏柵舞特別教授所設置(水明小学校の前身)
〃 4(1915)年 4月	二級町村制施行(烏柵舞村、蘭越村、長都村、千歳村を合併)
〃 5(1916)年10月	幌加簡易教育所が幌加尋常小学校となる
〃 6(1917)年 4月	阿宇砂里、嶮淵、木臼の各簡易教育所及び近唐教育所が尋常小学校となる
12月	烏柵舞に私立王子尋常小学校開校、烏柵舞特別教授所廃止
〃 7(1918)年 6月	新嶮淵尋常小学校開校(東丘小学校の前身)
12月	千歳尋常小学校に高等科併置
〃 9(1920)年12月	千歳尋常小学校根志越分教場設置(現千歳第二小学校)
〃 12(1923)年 4月	嶮淵、私立王子の両尋常小学校に高等科併置
〃 13(1924)年 4月	根志越分教場が千歳尋常小学校分教場根志越特別教授所となる
〃 15(1926)年 4月	千歳、長都、嶮淵、幌加に青年訓練所設立
5月	釜加特別教授場設置
昭和 6(1931)年 4月	私立王子尋常高等小学校が公立烏柵舞尋常高等小学校となる
〃 7(1932)年	釜加特別教授場を長都尋常小学校へ統合
〃 11(1936)年11月	烏柵舞尋常高等小学校千歳鉱山特別教授所設置
〃 12(1937)年10月	千歳鉱山特別教授所が千歳鉱山尋常高等小学校となる
〃 14(1939)年 4月	一級町村制施行
〃 15(1940)年 6月	長都尋常小学校に高等科併置
〃 16(1941)年 4月	国民学校令の施行により小学校を国民学校と改称する
〃 17(1942)年 5月	町制施行(人口13,994人)
〃 21(1946)年 4月	根志越教授所が千歳第二国民学校となる
11月	蘭越国民学校開校
〃 22(1947)年 4月	法令改正(学校六・三制発足)により校名変更
	長都、千歳鉱山、嶮淵の各小学校に千歳中学校の分校を併置(長都、千歳鉱山、泉郷各中学校の前身)
5月	千歳中学校木臼分校設置(中央中学校の前身)
6月	千歳中学校開校
	幌加中学校開校(小学校に併置、東千歳中学校の前身)
12月	烏柵舞小学校支笏湖畔分教場設置(現支笏湖小学校)
〃 23(1948)年 6月	千歳第三小学校開校(現在のキリンビアパーク千歳)
10月	道立野幌高等学校千歳分校設置
〃 24(1949)年 1月	烏柵舞小学校支笏湖畔分教場が支笏湖小学校となる
4月	千歳中学校烏柵舞分校設置(小学校に併置、水明中学校の前身)
〃 25(1950)年 3月	野幌高等学校千歳分校が北海道月寒高等学校千歳分校となる
4月	月寒高等学校千歳分校が町立千歳高等学校となる
	千歳中学校鉱山分校が千歳鉱山中学校となる
12月	千歳中学校阿宇砂里分校設置(小学校に併置、現駒里中学校)
〃 26(1951)年 3月	千歳中学校が東雲町4丁目から現在地(栄町4丁目)に移転
4月	字名変更により木臼小学校及び千歳中学校木臼分校が中央小学校及び同中央分校に烏柵舞小学校及び千歳中学校烏柵舞分校が水明小学校及び同水明分校となる

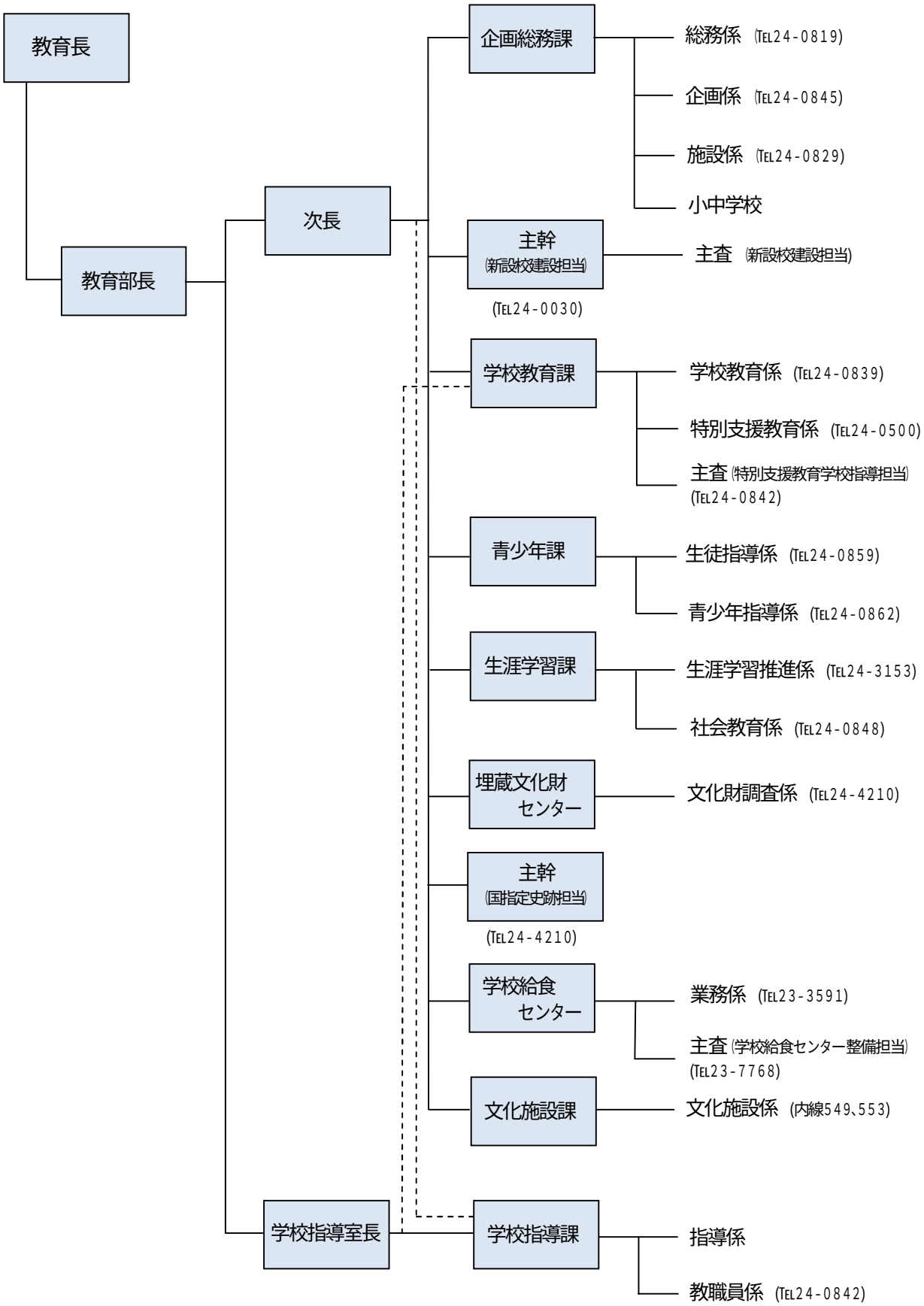
年　月	主 な 出 来 事
昭和27(1952)年 4月	字名変更により阿宇砂里小学校・千歳中学校阿宇砂里分校、峻淵小学校・同峻淵分校、近唐小学校、新峻淵小学校が駒里小学校・同駒里分校、泉郷小学校・同泉郷分校、協和小学校、東丘小学校となる
	幌加中学校が東千歳中学校となる
10月	千歳町教育委員会委員選挙執行
11月	千歳町教育委員会発足
〃 28(1953)年 5月	北栄小学校開校
〃 29(1954)年 4月	千歳町立千歳高等学校道立移管
	千歳公民館開館
〃 29(1954)年 5月	千歳町体育協会発足
〃 30(1955)年 4月	千歳町教育委員会委員補欠選挙執行
5月	千歳中学校長都分校が長都中学校となる
〃 31(1956)年 1月	千歳中学校駒里分校、同泉郷分校、同中央分校及び同水明分校が駒里中学校、泉郷中学校、中央中学校及び水明中学校となる
4月	末広小学校開校
〃 32(1957)年 4月	緑小学校開校
8月	青葉中学校開校
〃 33(1958)年 7月	市制施行(人口48,443人)
〃 34(1959)年 4月	水明小・中学校藤の沢分校設置(藤の沢小学校の前身)
11月	キウスのチャシ重要文化財の指定を受ける
〃 35(1960)年 5月	千歳小学校特殊学級発足(精神薄弱学級：昭和46年に北進小学校に分離独立)
〃 37(1962)年 4月	千歳中学校特殊学級発足(精神薄弱学級：昭和46年に北進中学校に分離独立)
10月	市民会館開館
〃 39(1964)年 3月	水明小学校を支笏湖小学校に統合
	水明中学校藤の沢分校を本校に統合
4月	水明小学校藤の沢分校が千歳小学校藤の沢分校となる
9月	ウサクマイ遺跡発掘調査
10月	学校給食センター開設
〃 40(1965)年10月	千歳小学校特殊学級及び千歳中学校特殊学級が千歳小学校北栄分校・千歳中学校北栄分校となる
〃 41(1966)年 3月	水明中学校を千歳中学校に統合
4月	千歳小学校藤の沢分校が藤の沢小学校となる
〃 42(1967)年 1月	日の出小学校開校
3月	藤の沢小学校廃校
	青少年健全育成都市宣言
〃 43(1968)年 3月	泉郷小学校を千歳第二小学校に泉郷中学校を千歳中学校に統合
4月	信濃小学校開校
7月	千歳第三小学校を信濃小学校に統合
12月	中央「千歳キウス環状土籬群」北海道文化財に指定
〃 44(1969)年 8月	千歳市開基90周年記念式典
12月	青少年会館開館
	支笏湖青少年研修センター開設
〃 45(1970)年 4月	高台小学校開校
6月	スポーツ都市宣言
12月	東千歳地区スクールバス運行開始
	千歳第二小学校開校50周年記念式典
〃 46(1971)年 1月	幌加小学校、協和小学校、東丘小学校を統合し東小学校開校
4月	千歳小学校北栄分校・千歳中学校北栄分校が北進小学校・北進中学校となる
9月	「千歳神社境内釜加神社弁天御厨子」千歳市文化財に指定
〃 47(1972)年 1月	真町中学校開校
3月	中央中学校を真町中学校に統合
9月	北進小学校に言語治療教室開設
〃 48(1973)年 1月	青葉中学校が住吉1丁目から現在地（豊里4丁目）に移転
4月	北海道千歳北陽高等学校開校（中央）
5月	北栄小学校に情緒障害特殊学級開設
〃 49(1974)年 3月	末広小学校が花園1丁目から現在地（富丘2丁目）に移転
4月	学校給食センターが上長都に移転
	北進小学校の言語治療教室を緑小学校に移設
10月	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター開設
11月	人口6万人突破（人口60,200人）
〃 50(1975)年 4月	富丘中学校開校
6月	支笏湖自然の村開村
8月	美々貝塚永久保存のため発掘調査
12月	北海道千歳北陽高等学校が北信濃（現在地、北陽）に移転
〃 51(1976)年 4月	千歳市青少年指標制定
	千歳中学校に言語治療教室開設
	祝梅小学校開校
	教育委員会事務局市庁舎に移転
	市立図書館開館
〃 52(1977)年 4月	「美々貝塚」「馬逓看板」「磨製石棒」「男性土偶」千歳市文化財指定

年　月	主な出来事
昭和53(1978)年 3月	千歳鉱山小学校、千歳鉱山中学校閉校
	蘭越小学校を緑小学校に統合
4月	桜木小学校開校
	北進中学校に情緒障害特殊学級開設
6月	総合スポーツセンター完成
10月	千歳小学校開校百年記念式典
	「動物形土製品」千歳市文化財指定
12月	泉沢市民スキー場開設
〃 54(1979)年 5月	「ウサクマイ遺跡群」国の史跡に指定
6月	「動物形土製品」国の重要文化財に指定
7月	千歳市民憲章制定
8月	千歳市開基百年記念式典
10月	「キウス周堤墓群」国の史跡に指定
	「泉郷獅子舞」千歳市文化財（無形民俗文化財）指定
〃 55(1980)年 7月	「蕨手刀」千歳市文化財指定
〃 57(1982)年 2月	(財)千歳青少年教育財団設立
4月	向陽台小学校開校
〃 58(1983)年 2月	人口7万人突破（人口70,051人）
3月	北進小学校に情緒障害特殊学級開設
11月	北海道都市教育長会開催
〃 59(1984)年 4月	市民文化センター開館
	北斗中学校開校
〃 60(1985)年 8月	第16回全国中学校卓球大会開催
12月	ひびけ市民の「第9交響曲」発表
〃 61(1986)年 4月	千歳小学校に肢体不自由特殊学級開設
7月	青空運動公園（アスファルトリンク）完成
〃 62(1987)年 4月	向陽台中学校開校
5月	千歳市民球場完成
〃 63(1988)年 2月	市立図書館新築移転（青葉公園内）
4月	通学区域変更（末広地区を富丘中学校から千歳中学校へ、清水町及び錦町1・2丁目地区を千歳中学校から真町中学校へ）
7月	青葉公園ピクニック広場完成
9月	夢ランドちとせ開催
平成 元(1989)年 4月	教育委員会事務局が本庁者から現教育委員会庁舎に移転
	千歳中学校に肢体不自由特殊学級開設
9月	第44回国民体育大会軟式野球競技会開催
10月	千歳市開基110周年記念式典
11月	青空公園ふれあいセンター完成
〃 2(1990)年 8月	語学指導を行う外国青年を招致し中学校巡回訪問指導開始
12月	鶴は千年塾事業により青少年海外派遣
〃 3(1991)年 9月	障害児教育相談員設置
10月	人口8万人突破
〃 4(1992)年 9月	学校週5日制開始
〃 5(1993)年 3月	(財)千歳市体育協会設立
	開基記念総合武道館完成
	中央小学校を千歳小学校に統合
5月	「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」千歳市文化財（無形民俗文化財）指定
8月	学校給食センターが祝梅に移転
〃 6(1994)年 4月	北陽小学校開校（千歳小の肢体不自由特殊学級を北陽小に移設）
8月	第24回全国中学校剣道大会開催
9月	千歳サケのふるさと館開館
〃 7(1995)年 4月	市民ギャラリー開館
5月	駒里水泳プール完成
8月	第39回北海道学校給食研究大会開催
〃 8(1996)年 5月	青葉陸上競技場全天候型トラック及び管理棟全面改修完了
9月	第46回北海道公立小中学校事務研究大会（東北・北海道合同）石狩大会開催
〃 9(1997)年 4月	泉沢小学校開校
6月	適応指導教室「おあしす」開設
11月	千歳中学校開校50周年記念式典
〃 10(1998)年 4月	千歳高校全日制普通科1学級増
	向陽台小学校に情緒・知的障害特殊学級開設
7月	千歳市温水プール完成
8月	支笏湖小学校開校50周年記念式典
10月	第47回全道へき複・併置校教育研究大会石狩大会開催
	第38回北海道社会教育研究大会開催
〃 11(1999)年 1月	北陽小学校校舎増築
3月	千歳第二小学校校舎増築
4月	千歳高校に学科を新設(国際教養科・国際流通科)

年　月	主 な 出 来 事
平成11(1999)年11月	千歳高校創立50周年記念事業実施
〃 12(2000)年 9月	北海道言語障害児教育研究大会千歳大会開催
〃 13(2001)年 4月	学校評議員設置
11月	長都小学校開校100周年記念式典
〃 14(2002)年 2月	安全対策として小・中学校にインターホン及びオートロック設置
4月	完全学校週5日制開始「総合的な学習の時間」開始
7月	人口9万人突破
12月	東千歳中学校開校50周年記念式典
〃 15(2003)年 3月	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター廃館
4月	北栄小学校に知的障害特殊学級、向陽台小学校に難聴特殊学級、千歳中学校に情緒・知的障害特殊学級開設
6月	「特別支援教育推進体制モデル事業」の指定を受ける
11月	北栄小学校開校50周年記念式典
〃 16(2004)年 4月	向陽台小学校に肢体不自由特殊学級開設
〃 17(2005)年 3月	長都小中学校閉校 支笏湖青少年研修センター閉所
6月	「北海道美々8遺跡出土品(1,164点)」国の重要文化財に指定
10月	千歳市の教育を考える市民会議設置
〃 18(2006)年 4月	国の構造改革特区の認定により幼稚園の入園年齢を1才引き下げ 千歳第二小学校、東千歳中学校で2学期制の試行開始 市民文化センターがリニューアルオープン
5月	児童の登下校時の安全確保のため「千歳っ子見守り隊」を設置
8月	千歳市民活動交流センター「ミナクール」オープン
11月	駒里小学校開校100周年、駒里中学校開校50周年記念式典
12月	末広小学校開校50周年記念式典
〃 19(2007)年 2月	千歳市の教育を考える市民会議から3つの目標、20の提言を受理
3月	第8回全国中学選抜卓球大会
10月	富丘中学校校舎増築 青葉中学校開校50周年記念式典
12月	緑小学校開校50周年記念式典
〃 20(2008)年 3月	北陽小学校校舎増築
4月	学校二学期制開始
5・7月	市制施行50周年、ジュニアエイトサミット2008千歳支笏湖の開催記念事業として「ちとせっこ未来フォーラム」を開催
〃 21(2009)年 5月	サケのふるさと館開館15周年記念事業
6月	放課後こども教室のモデル事業を北栄小学校に開設
〃 22(2010)年 4月	埋蔵文化財センターが旧長都小中学校に移転オープン
〃 23(2011)年 1月	姉妹都市であるアンカレジ市ミアーズ中学校訪問事業を実施
12月	北進小中学校開級50周年・開校40周年記念式典
〃 24(2012)年 3月	真町中学校閉校
4月	勇舞中学校開校 北陽小学校校舎増築
〃 25(2013)年 4月	北海道千歳高等支援学校開校 祝梅小学校に情緒・知的障害特別支援学級、富丘中学校に情緒障害特別支援学級開設
〃 26(2014)年 3月	千歳市学校教育基本計画の策定(2014年～2020年)
〃 26(2014)年 4月	北陽小学校校舎増築 スポーツセンターリニューアルオープン 向陽台中学校に知的障害特別支援学級開設 社会体育事業及びサケのふるさと館の所管を観光スポーツ部に移管
〃 27(2015)年 3月	小中学校全ての普通教室に「電子黒板、実物投影機及びブルーレイレコーダー」を配置
8月	サケのふるさと千歳水族館リニューアルオープン
9月	全小学校において、「フッ化物洗口」を開始(希望児童のみ)
〃 28(2016)年 4月	全小中学校土曜授業開始(年4回) 全小学校1～4年生において外国語活動開始
12月	日の出小学校開校50周年記念式典
〃 29(2017)年 1月	千歳市コミュニティ・スクール調査研究校として高台小学校、駒里小中学校、青葉中学校を指定
12月	千歳市小中連携・一貫教育調査研究実践モデル校区として青葉中学校区、東千歳中学校区を指定
〃 30(2018)年 4月	高台小学校、青葉中学校において、コミュニティ・スクール導入
6月	支笏湖小学校に情緒障害特別支援学級開設 駒里小学校において、コミュニティ・スクール導入
8月	信濃小学校開校50周年記念式典
〃 31(2019)年 4月	高台小学校、信濃小学校に知的・情緒障害特別支援学級開設
令和 元(2019)年 6月	千歳市小中連携・一貫教育調査研究実践第2期モデル校区として勇舞中学校区、向陽台中学校区を指定

4　教育委員会組織と事務分掌

⑴ 教育委員会組織



(2) 教育委員会事務局事務分掌

【企画総務課】	【主幹（新設校建設担当）】
・ 教育委員会の会議及び委員に関すること。 ・ 教育長訓示等の制定、改廃に関すること。 ・ 教育行政の総合調整に関すること。 ・ 儀式、渉外、ほう賞及び表彰に関すること。 ・ 陳情及び請願に関すること。 ・ 共催及び後援に関すること。 ・ 情報公開及び個人情報保護に関すること。 ・ 公印の管理に関すること。 ・ 寄附採納に関すること。 ・ 法令の調査研究に関すること。 ・ 公告式に関すること。 ・ 職員の人事に関すること。 ・ 職員の服務に関すること。 ・ 職員の賞罰に関すること。 ・ 職員の研修に関すること。 ・ 職員の給与に関すること。 ・ 職員の福利厚生に関すること。 ・ 公務災害補償等に関すること。 ・ 教育委員会関係文書の収受に関すること。 ・ 教育予算及び決算に関すること。 ・ 学校の経理事務に関すること。 ・ 教材及び備品に関すること。 ・ 広報に関すること。 ・ 教育行政相談に関すること。 ・ 公立学校、私立学校（幼稚園及び大学を除く。）及び各種学校に関すること。 ・ 奨学金に関すること。 ・ 幼児教育の振興に関すること。 ・ 教育委員会公用車の運行管理に関すること。 ・ 教育関係機関との調整に関すること。 ・ 通学区域に関すること。 ・ 学校の設置、管理及び廃止に関すること。 ・ 教職員住宅に関すること。 ・ 学校施設設備の維持管理に関すること。 ・ 他の課に属さない事項に関すること。 ・ 部の庶務に関すること。	・北陽小学校分離校の建設等に関すること。 ・北陽小学校の過大規模対策に関すること。 **【学校教育課】** ・ 児童生徒の通学に関すること。 ・ スクールバスに関すること。 ・ 指定校及び指定校の変更に関すること。 ・ 区域外就学に関すること。 ・ 学齢児童生徒の就学に関すること。 ・ 外国人の就学に関すること。 ・ 学齢簿に関すること。 ・ 教育活動の支援に関すること。 ・ 就学援助に関すること。 ・ 児童生徒の健康診断に関すること。 ・ 学校施設の衛生管理に関すること。 ・ 学校災害共済に関すること。 ・ 学力向上の推進に関すること。 ・ 学級編成に関すること。 ・ 教科書、副読本その他教材に関すること。 ・ 教師用指導図書に関すること。 ・ 外国語指導助手に関すること。 ・ 特別支援学級の運営に関すること。 ・ 教育支援委員会に関すること。 ・ 就学相談に関すること。 ・ 特別支援教育就学奨励に関すること。 ・ 特別支援教育に関すること。 **【青少年課】** ・ 児童生徒のいじめ・不登校問題及び事故報告に関すること。 ・ 学校適応指導教室に関すること。 ・ 青少年問題の総合的施策の調整及び企画に関すること。 ・ 青少年問題協議会に関すること。 ・ 青少年の健全育成に関すること。 ・ 青少年の非行防止及び指導に関すること。 ・ 青少年の相談指導に関すること。 ・ 青少年指導センターに関すること。 ・ 青少年関係行政機関及び団体との連絡調整に関すること。

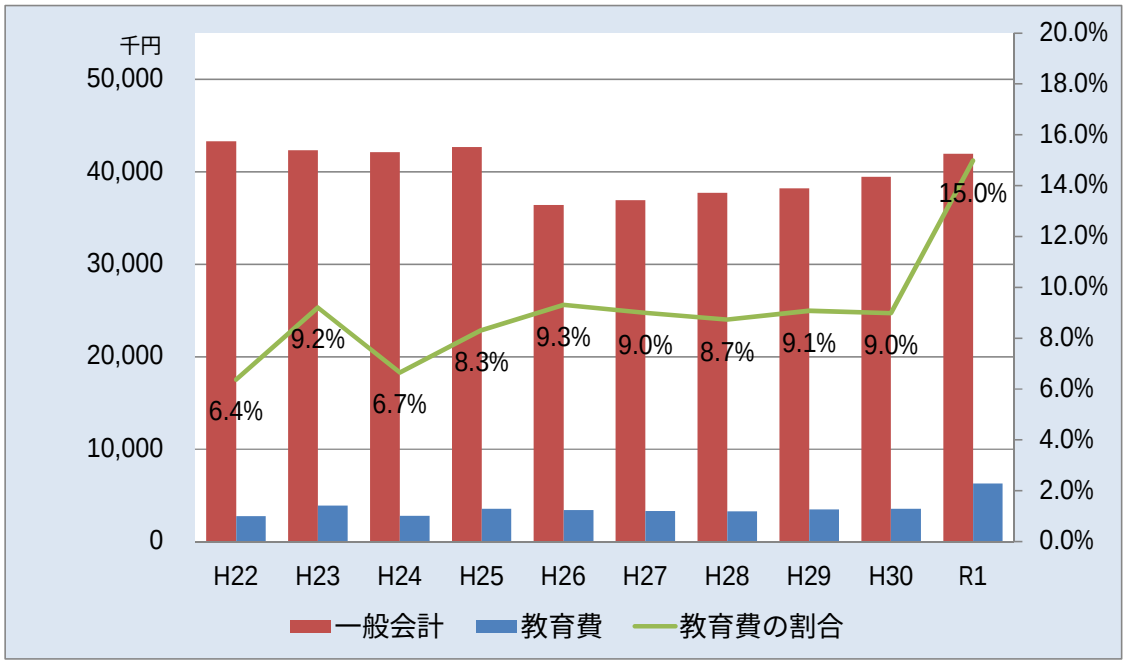
【生涯学習課】	【文化施設課】
・ 社会教育委員に関すること。 ・ 社会教育施設の設置、廃止に関すること。 ・ 成人教育の振興に関すること。 ・ 生涯学習基本計画に関すること。 ・ ユネスコ活動に関すること。 ・ 社会教育関連団体の登録に関すること。 ・ 芸術文化の振興に関すること。 ・ 市民文化表彰に関すること。 ・ 文化関係団体の調整に関すること。 ・ 公益財団法人千歳青少年教育財団に関すること。 ・ 青少年の教育に関すること。 ・ 家庭教育に関すること。 ・ 生涯学習の推進に関する企画立案及び総合調整に関すること。 ・ 生涯学習の普及及び啓発に関すること。 ・ 市民活動及び地域に関する情報の提供及び活用に関すること。 ・ 市民活動交流センターの運営に関すること。 ・ みんなで、ひと・まちづくり事業に関すること。 ・ 放課後子ども教室及び学校地域支援などの教育力活用に関すること。 ・ その他生涯学習の振興に関すること。	・ 市民文化センター及び市民ギャラリーの管理運営に関すること。 ・ 図書館の管理運営に関すること。 ・ 公民館及び分館の管理運営に関すること。 ・ 公民館運営審議会に関すること。 ・ 青少年会館の管理運営に関すること。
【埋蔵文化財センター】	【学校指導課】
・ 文化財の保護、調査、研究、保存及び活用に関すること。 ・ 埋蔵文化財の発掘調査に関すること。 ・ 文化財保護審議会に関すること。 ・ 世界文化遺産登録に係る関係機関との調整に関すること。 ・ 埋蔵文化財センターの管理に関すること。	・ 教育課程の編成に関すること。 ・ 学校の指導助言に関すること。 ・ 学力向上検討委員会に関すること。 ・ 学力向上に係る施策立案に関すること。 ・ 教職員の人事に関すること。 ・ 教職員の服務に関すること。 ・ 教職員の賞罰に関すること。 ・ 教職員の研修に関すること。 ・ 教職員の給与に関すること。 ・ 教職員の福利厚生に関すること。 ・ 教職員の健康診断に関すること。
【主幹（国指定史跡担当）】	
・ 国指定史跡の保護、調査、研究、保存及び活用に係る専門的事項及び技術的事項に関すること。 ・ 埋蔵文化財の発掘調査についての専門的及び技術的な指導・助言に関すること。	
【学校給食センター】	
・ 学校給食センター運営審議会に関すること。 ・ 学校給食に関すること。 ・ 施設の管理・運営に関すること。 ・ 給食会計経理その他一般事務に関すること。	

〔2〕教 育 財 政

1 教育予算

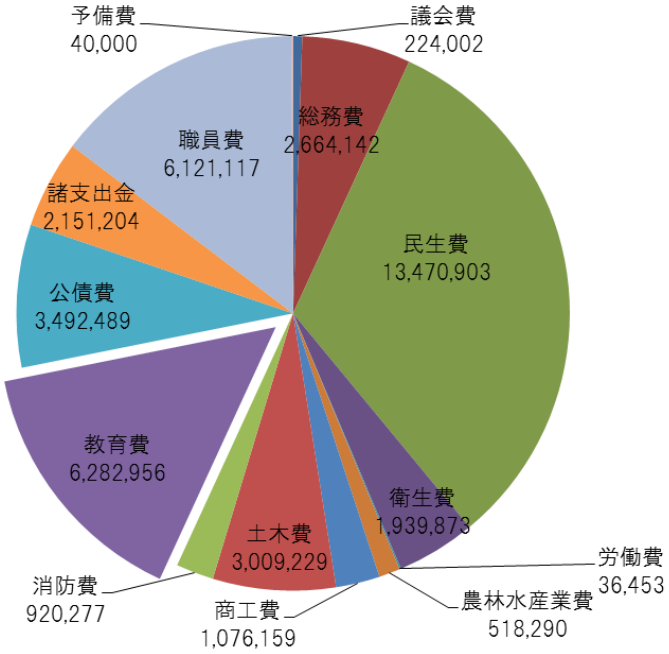
⑴ 教育費の推移（人件費を除く）

年 度	一般会計予算（千円）	教育費（千円）	構成比（%）
22年度	43,286,640	2,758,559	6.4
23年度	42,315,770	3,895,625	9.2
24年度	42,127,489	2,801,820	6.7
25年度	42,692,209	3,549,351	8.3
26年度	36,409,878	3,389,523	9.3
27年度	36,942,760	3,324,488	9.0
28年度	37,738,509	3,295,651	8.7
29年度	38,204,421	3,468,381	9.1
30年度	39,432,533	3,543,067	9.0
令和元年度	41,947,094	6,282,956	15.0



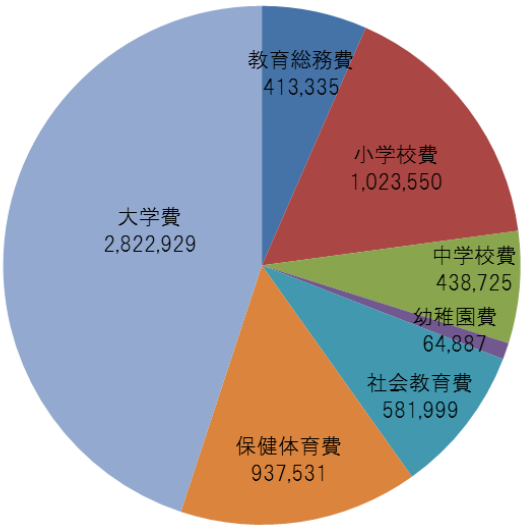
(2) 令和元年度当初予算構成

区　分	額(千円)	割合(%)
議　会　費	224,002	0.5
総　務　費	2,664,142	6.4
民　生　費	13,470,903	32.1
衛　生　費	1,939,873	4.6
労　働　費	36,453	0.1
農林水産業費	518,290	1.2
商　工　費	1,076,159	2.6
土　木　費	3,009,229	7.2
消　防　費	920,277	2.2
教　育　費	6,282,956	15.0
公　債　費	3,492,489	8.3
諸 支 出 金	2,151,204	5.1
職　員　費	6,121,117	14.6
予　備　費	40,000	0.1
総　額	41,947,094	100.0



[教育費]

区　分	額(千円)	割合(%)
教育総務費	413,335	6.6
小 学 校 費	1,023,550	16.3
中 学 校 費	438,725	7.0
幼 稚 園 費	64,887	1.0
社会教育費	581,999	9.3
保健体育費	937,531	14.9
大　学　費	2,822,929	44.9
総　額	6,282,956	100.0



2　令和元年度主要事業予算

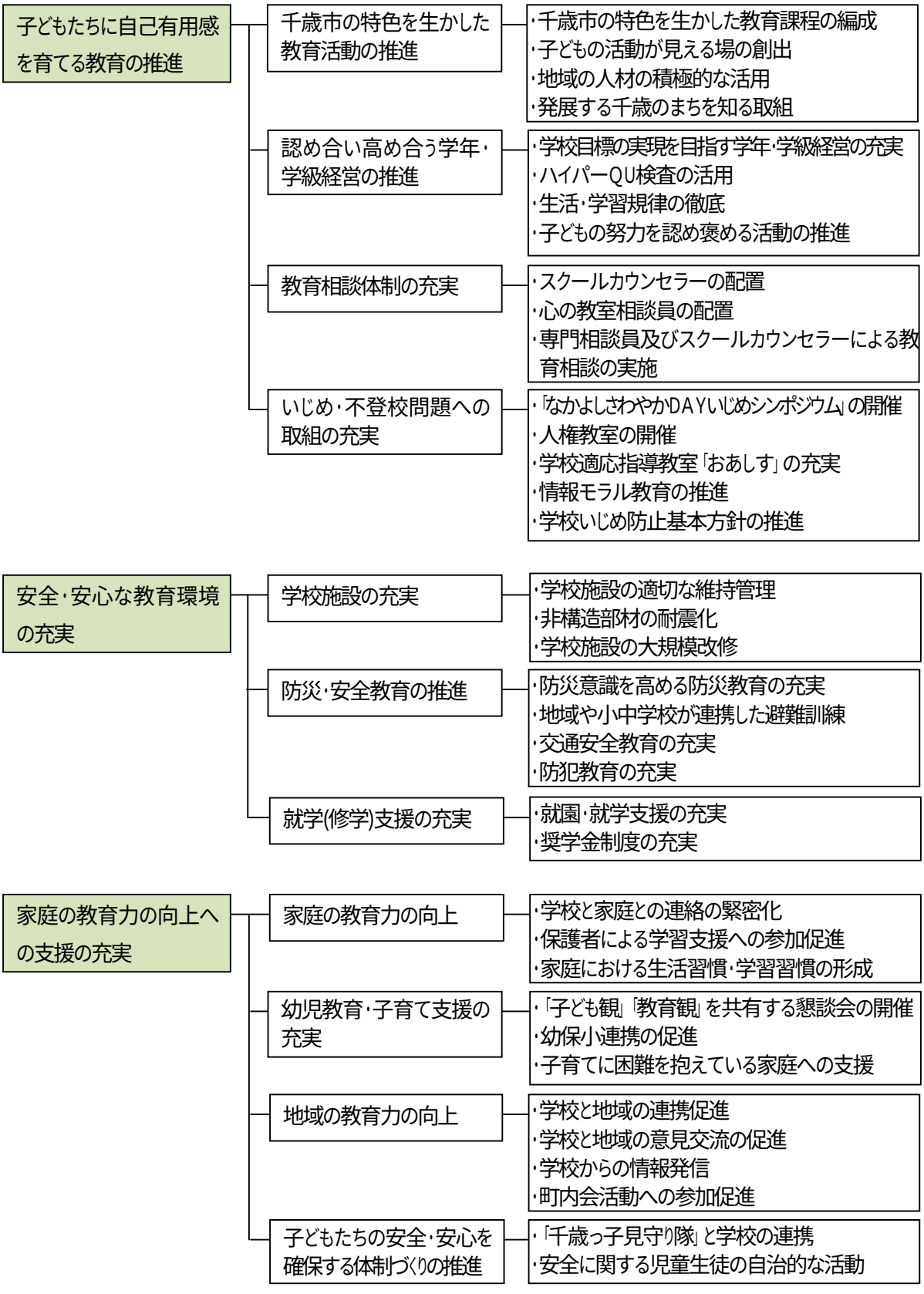
(単位:千円)

款	項	目	本年度予算(当初)	説明
教育費			6,282,956	
	教育総務費		413,335	
		教育委員会費	37,369	教育委員会運営管理業務経費、修学支援事業費等
		教育振興費	337,785	特別支援教育体制推進事業費、スクールバス運行経費、学校活動支援事業費、学力向上推進事業費等
		教育財産管理費	38,181	教員住宅維持管理経費、教職員住宅購入事業費(割賦金)、教職員管理職住宅建替事業費等
	小学校費		1,023,550	
		小学校管理費	617,818	小学校運営管理業務経費、小学校施設管理経費、小学校就学援助事業費、小学校コンピュータ教室用パソコン等更新事業費等
		小学校営繕費	306,111	小学校維持補修業務経費、小学校改修事業費等
		小学校建設事業費	99,621	北陽小学校仮設校舎整備事業費(リース料)、北陽小学校分離校建設事業費等
	中学校費		438,725	
		中学校管理費	352,049	中学校運営管理業務経費、中学校施設管理経費、中学校就学援助事業費、中学校コンピュータ教室用パソコン等更新事業費等
		中学校営繕費	86,676	中学校維持補修業務経費、中学校改修事業費等
	幼稚園費		64,887	
		幼稚園振興費	64,887	幼稚園教育振興事業費(就園奨励費補助金等)
	社会教育費		581,999	
		社会教育振興費	10,025	高齢者学級開催事業費、家庭教育講座開催事業費、生涯学習まちづくり推進講座開催事業費等
		青少年対策費	121,289	青少年健全育成事業費、青少年会館施設管理経費、青少年非行防止事業費等
		公民館費	30,142	公民館管理運営業務経費、公民館分館管理運営業務経費
		文化振興費	31,572	埋蔵文化財センター管理業務経費、文化活動支援事業費、国指定史跡整備事業費等
		図書館費	158,337	図書館施設管理経費、図書管理業務経費、小中学校司書配置事業費等
		市民文化センター費	230,634	市民文化センター・市民ギャラリー施設管理経費、市民文化センター音響・照明設備整備事業費(リース料)
	保健体育費		937,531	
		保健体育総務費	34,913	児童・生徒健康診断事業費、就学援助事業費、フッ化物洗口事業費等
		給食センター費	349,180	給食センター施設管理業務経費、給食提供業務経費等
		体育振興費	553,438	スポーツ普及推進事業費、スポーツ施設管理業務経費、温水プール施設管理経費、温水プール改修事業費等
	大学費		2,822,929	
		大学費	2,822,929	公立大学法人運営事業費、公立大学法人施設整備事業費

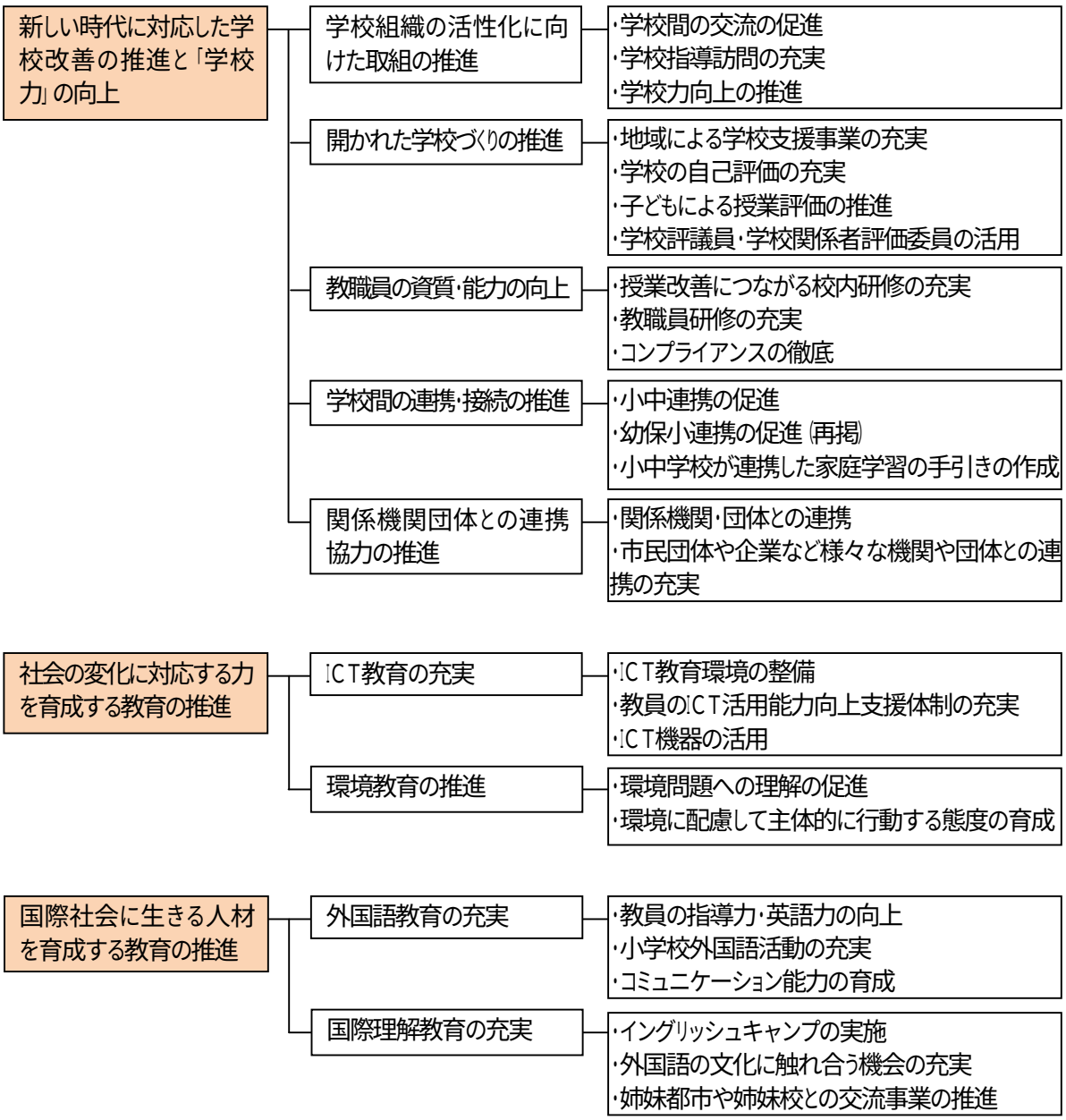
Ⅳ 学 校 教 育

〔1〕学校教育の主な施策

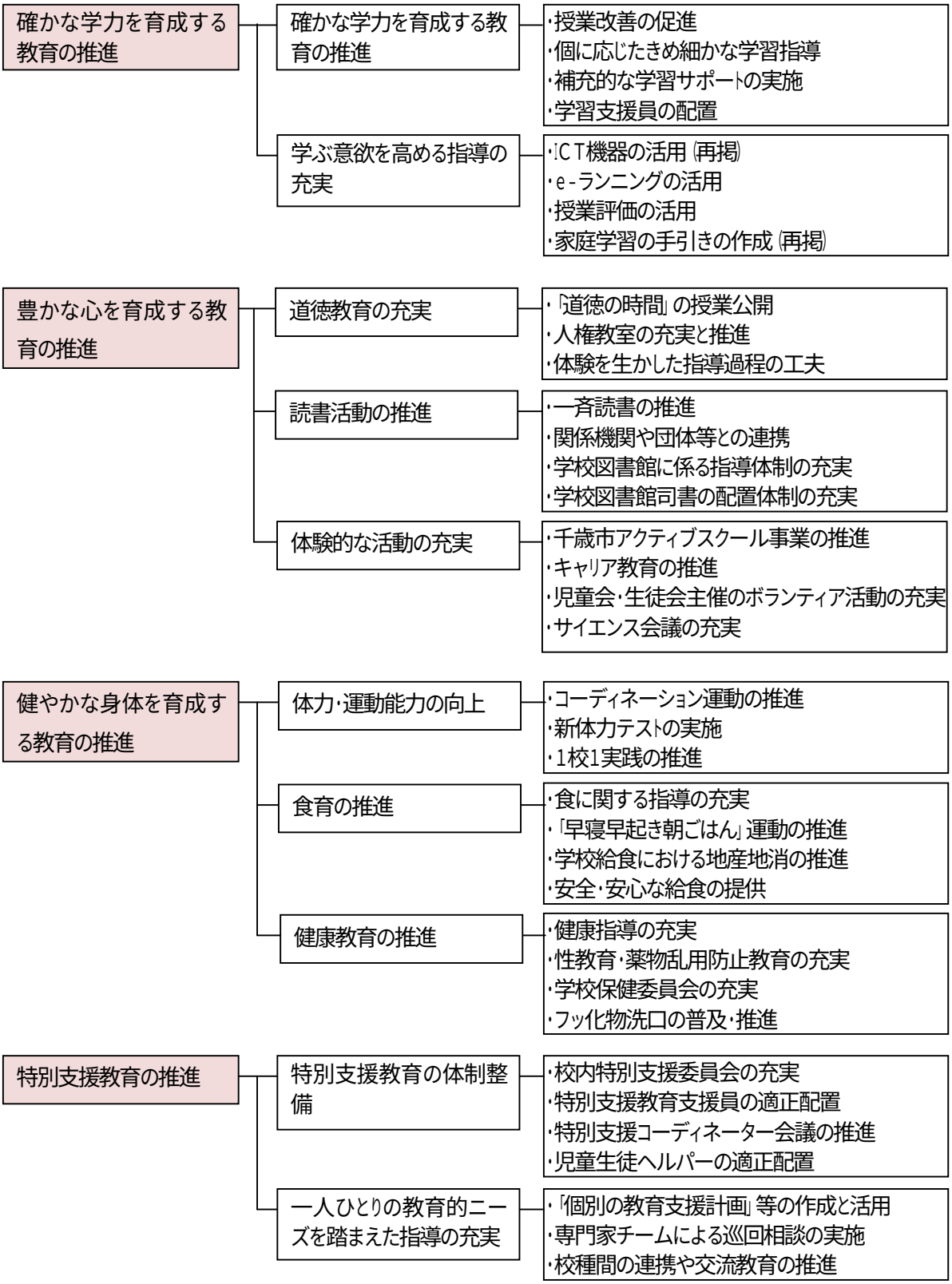
1 ふるさと千歳への感謝と希望を育てる



2　国際都市千歳にふさわしいグローバルな感覚を育てる



3　知的な探究心を持ち積極的に行動する力を育てる



⑵ 児童生徒数の推移

1 小学校

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
千歳小	301	306	341	325	321	303	296	304	278	273	262
北進小	41	36	32	28	29	35	40	43	38	41	32
北栄小	295	273	267	266	252	240	236	248	262	268	264
末広小	463	466	467	485	499	497	514	525	526	521	519
緑 小	359	380	392	414	430	436	423	413	440	462	443
千歳第二小	392	380	339	339	321	324	331	330	326	310	320
駒里小	11	8	9	8	10	12	11	14	14	14	13
支笏湖小	11	12	11	13	15	16	13	11	10	9	8
日の出小	616	588	564	523	492	454	450	457	467	474	487
信濃小	445	452	442	434	426	429	411	393	394	370	380
高台小	315	304	299	308	306	290	288	264	255	245	248
東 小	28	29	27	25	26	28	29	20	25	26	28
祝梅小	376	334	328	318	316	300	283	280	275	281	255
桜木小	471	443	425	400	371	357	339	337	335	330	309
向陽台小	213	191	169	174	177	167	164	156	154	147	136
北陽小	946	1,015	1,117	1,185	1264	1,317	1,350	1,398	1,397	1,470	1,499
泉沢小	427	397	341	323	305	299	300	267	272	263	239
合 計	5,710	5,614	5,570	5,568	5,560	5,504	5,478	5,460	5,468	5,504	5,442

2 中学校

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
千歳中	462	485	476	567	558	551	584	583	590	560	590
北進中	22	31	36	38	30	31	36	41	40	30	29
青葉中	533	507	469	451	431	440	437	407	355	345	342
東千歳中	11	15	13	12	8	7	8	13	11	12	9
駒里中	9	8	9	9	8	12	9	5	7	6	7
真町中	93	81	89	-	-	-	-	-	-	-	-
富丘中	899	872	936	536	531	502	518	531	508	513	489
北斗中	376	375	371	376	360	344	335	313	307	313	302
向陽台中	379	395	386	344	296	250	244	257	230	221	207
勇舞中	-	-	-	426	477	511	591	627	676	660	693
合 計	2,784	2,769	2,785	2,759	2,699	2,648	2,762	2,777	2,724	2,660	2,668

※児童生徒数は各年度5月1日現在の学校基本調査による

〔3〕市内小中学校の変遷

	千歳小学校	駒里小学校	長都小学校	泉郷小学校	幌加小学校
明治	(明治12.10.15) 寺子屋式教育開始 ↓ (明治13.4) 千歳教育所 ↓ (明治22) 千歳簡易小学校 ↓ (明治28) 千歳尋常小学校	(明治31.4) 寺子屋式私塾 ↓ (明治33.6) 千歳尋常小分教場 ↓ (明治39.9) 阿宇砂里簡易教育所	(明治32.9) 私立教育所 ↓ (明治33.11.21) 長都簡易教育所 ↓ (明治34.6.3) 長都尋常小学校	(明治33.6.8) 峻淵簡易教育所	(明治33.9.24) 幌加簡易教育所
大正	(大正7.12) 高等科設置	(大正6.4.1) 阿宇砂里尋常小学校	(大正15.5.1) 釜加特別教授場	(大正6.4) 峻淵尋常小学校 ↓ (大正12.4) 高等科設置	(大正5.10.25) 幌加尋常小学校
昭和	(昭和16.4) 千歳国民学校 ↓ (昭和22.4) 千歳小学校	(昭和16.4) 阿宇砂里国民学校 ↓ (昭和22.4) 阿宇砂里小学校 ↓ (昭和27.4.1) 駒里小学校	(昭和7)統合 ↓ (昭和15.6) 高等科設置 ↓ (昭和16.4) 長都国民学校 ↓ (昭和22.4) 長都小学校	(昭和16.4) 峻淵国民学校 ↓ (昭和22.4) 峻淵小学校 ↓ (昭和27.4.1) 泉郷小学校 ↓ (昭和43.3.31) 千歳第二小学校へ統合	(昭和16.4) 幌加国民学校 高等科設置 ↓ (昭和22.4) 幌加小学校 ↓ (昭和46.1.1) 東小学校
平成	(平成5.4.1) 中央小学校を統合 ↓ 現在に至る	現在に至る	(平成17.3.31) 北陽小学校へ統合		

	協和小学校	中央小学校	水明小学校	東丘小学校	千歳第二小学校	千歳鉱山小学校
明治	(明治34.12.1) 近唐教育所 ↓	(明治26年ころ) 説教所で寺子屋 ↓ (明治35.4) 木臼簡易教育所 ↓				
大正	(大正6.4.1) 近唐尋常小学校	(大正6.4.1) 木臼尋常小学校	(大正元.10) 烏柵舞特別教授所 ↓ (大正6.12) 私立王子尋常小学校 ↓ (大正12.4) 高等科設置 ↓	(大正7.6.6) 新嶮淵尋常小学校	(大正9.12.13) 千歳小学校根志越分教場 ↓ (大正13) 根志越特別教授所	
昭和	(昭和16.4) 近唐国民学校 ↓ (昭和22.4) 近唐小学校 (昭和27.4.1) 協和小学校 (昭和46.1.1) 東小学校	(昭和16.4) 木臼国民学校 ↓ (昭和22.4) 木臼小学校 (昭和26.4.1) 中央小学校	(昭和6.4) 烏柵舞尋常高等小学校 ↓ (昭和11.11.30) 千歳鉱山特別分教場設置 ↓ (昭和16.4) 烏柵舞国民学校 ↓ (昭和22.4) 烏柵舞小学校 ↓ (昭和22.12.25) 支笏湖畔分教場設置 ↓ (昭和26.4) 水明小学校 ↓ (昭和34.2.1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和39.3.31) 支笏湖小学校へ統合	(昭和16.4) 新嶮淵国民学校 高等科設置 ↓ (昭和22.4) 新嶮淵小学校 ↓ (昭和27.4.1) 東丘小学校 (昭和46.1.1) 東小学校	(昭和21.4) 千歳第二国民学校 ↓ (昭和22.4) 千歳第二小学校 (昭和43.4.1) 泉郷小学校を統合	(昭和11.11.30) 烏柵舞尋常高等小千歳鉱山特別教授所 ↓ (昭和12.10.1) 千歳鉱山尋常高等小学校 ↓ (昭和16.4) 千歳鉱山国民学校 ↓ (昭和22.4) 千歳鉱山小学校 (昭和53,3.31) 廃校
平成		(平成5.3.31) 千歳小学校へ統合			現在に至る	

	蘭越小学校	支笏湖小学校	千歳第三小学校	北栄小学校	末広小学校	緑小学校
昭和	(昭和21.11.20) 蘭越国民学校 ↓ (昭和22,4) 蘭越小学校 ↓ (昭和53.3.31) 緑小学校へ統合	(昭和22.12.25) 烏柵舞小学校支笏湖畔分教場 ↓ (昭和24.1.29) 支笏湖小学校 ↓ (昭和39.4.1) 水明小学校を統合 現在に至る	(昭和23.6) 開校 ↓ (昭和43.7.18) 信濃小学校へ統合	(昭和28.5.25) 開校 現在に至る	(昭和31.4.1) 開校 現在に至る	(昭和32.4.1) 開校 ↓ (昭和53.3.31) 蘭越小学校を統合 現在に至る
	藤の沢小中学校	北進小中学校	日の出小学校	信濃小学校	高台小学校	東小学校
昭和	(昭和34.4.1) 水明小中学校藤の沢分校 ↓ (昭和39.3.31) 水明中藤の沢分校水明中学校へ統合 ↓ (昭和39.4.1) 千歳小学校藤の沢分校 ↓ (昭和41.4) 藤の沢小学校 ↓ (昭和42.3.31) 廃校	(昭和35.5.5) 千歳小学校特殊学級 ↓ (昭和37.4.1) 千歳中学校特殊学級併設 ↓ (昭和40.10.1) 千歳小中北栄分校 ↓ (昭和46.4.1) 北進小中学校 現在に至る	(昭和41.12.1) 開校 現在に至る	(昭和43.4.1) 開校 ↓ (昭和43.7.18) 千歳第三小学校を統合 現在に至る	(昭和45.4.1) 開校 現在に至る	(昭和46.1.1) 幌加、協和、東丘の3校を統合して開校 現在に至る
	祝梅小学校	桜木小学校	向陽台小学校	北陽小学校	泉沢小学校	長都中学校
昭和・平成	(昭和51.4.1) 開校 現在に至る	(昭和53.4.1) 開校 現在に至る	(昭和57.4.1) 開校 現在に至る	(平成6.4.1) 開校 ↓ (平成17.4.1) 長都小学校を統合 現在に至る	(平成9.4.1) 開校 現在に至る	(昭和22.4.1) 千歳中学校長都分校として小学校に併置 ↓ (昭和30.5.23) 長都中学校として独立 ↓ (昭和52.4.1) 長都小中学校 ↓ (平成17.3.31) 富丘中学校へ統合
	千歳中学校	東千歳中学校	青葉中学校	千歳鉱山中学校	駒里中学校	泉郷中学校
昭和・平成	(昭和22.6.4) 開校 ↓ (昭和41.4.1) 水明中学校を統合 ↓ (昭和43.4.1) 泉郷中学校を統合 ↓ (平成24.4.1) 真町中学校を統合 現在に至る	(昭和22.6.5) 幌加中学校として小学校に併置 ↓ (昭和27.4.1) 東千歳中学校 現在に至る	(昭和32.8.29) 開校 現在に至る	(昭和22.4.1) 千歳中学校鉱山分校として小学校に併置 ↓ (昭和25.4.1) 千歳鉱山中学校 ↓ (昭和53.3.31) 廃校	(昭和25.12) 千歳中学校阿宇砂里分校として小学校に併置 ↓ (昭和27.4.1) 同 駒里分校 ↓ (昭和31.1.1) 駒里中学校として小学校に併置 現在に至る	(昭和22.4.1) 千歳中学校嶮淵分校として小学校に併置 ↓ (昭和27.4.1) 同 泉郷分校 ↓ (昭和31.1.1) 泉郷中学校 ↓ (昭和43.3.31) 千歳中学校へ統合

	中央中学校	水明中学校	真町中学校	富丘中学校	北斗中学校	向陽台中学校
昭和・平成	(昭和22.5.13) 千歳中学校木臼分校として小学校に併置 ↓ (昭和26.4.1) 同 中央分校 ↓ (昭和31.1.1) 中央中学校 ↓ (昭和47.3.31) 真町中学校へ統合	(昭和24.4.8) 千歳中学校烏柵舞分校として小学校に併置 ↓ (昭和26.4.1) 同 水明分校 ↓ (昭和31.1.1) 水明中学校 ↓ (昭和34.2.1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和39.4.1) 藤の沢分校を統合 ↓ (昭和41.3.31) 千歳中学校へ統合	(昭和47.1.1) 開校 ↓ (昭和47.4.1) 中央中学校を統合 ↓ (平成24.3.31) 千歳中学校へ統合	(昭和50.4.1) 開校 現在に至る ↓ (平成17.4.1) 長都中学校を統合 現在に至る	(昭和59.4.1) 開校 現在に至る	(昭和62.4.1) 開校 現在に至る
	勇舞中学校					
平成	(平成24.4.1) 開校 現在に至る					

⑷ 学校の概要（令和元年5月1日現在）

1 小 学 校

<table>
<tr><td colspan="4">

千 歳 小 学 校

所在：千歳市本町3丁目4番地の1
電話：0123-23-2181
創設：明治12年10月15日
面積：敷地15,089㎡、建築5,065㎡

</td></tr>
<tr><td>校長名</td><td>今 村 敏 之</td><td>教頭名</td><td>渡 辺 弘 行</td></tr>
<tr><td>教職員数</td><td>教員14名 養護 1名
事務 1名 栄養 1名</td><td>学級数
児童数</td><td>10学級
262名</td></tr>
<tr><td>教育目標</td><td colspan="3">歴史と伝統 未来へつなぐ
私たちは、誇り高い千歳小学校の子どもです。
かしこく やさしく たくましく
～ 学ぼう つなごう やりぬこう ～
【重点目標】 自ら学び、つながり合い、何事もやり抜く子どもの育成</td></tr>
<tr><td>研究主題</td><td colspan="3">自分の思いや考えをもち、表現できる子の育成
～資質・能力を育成する学びの過程の工夫を通して～</td></tr>
<tr><td>特色ある
教育活動</td><td colspan="3">1 「共に生きる」を総括テーマとする総合的な学習の時間「あおば学習」の推進
⑴ 国際理解教育
◯3年～世界のくらし ◯4年～世界の子ども・学校
◯5年～守ろう地球の宝物 ◯6年～世界の人と手をつなごう
◯アメリカアラスカ州サンドレイク小学校との交流（日常的なSkypeを活用しての交流）
⑵ 学年テーマ学習
◯3年～福祉 ◯4年～郷土理解 ◯5年～千歳市の自然と砂川市の自然
◯6年～北海道の歴史
2 全校朝学習「きらめきタイム」の実践
3 体力向上チャレンジ「朝チャレ」「みんなであそぼう」
4 無言清掃の実施（月2回 ピカルンデー）</td></tr>
<tr><td>沿 革</td><td colspan="3">明治12年10月 寺子屋式教育を始める
明治13年 4月 千歳教育所となる
明治28年 3月 千歳尋常小学校となる
昭和22年 4月 千歳小学校となる
昭和53年10月 開校100年記念式典挙行
平成元年 2月 開校110年・体育館完成記念式典挙行
平成 6年 6月 サンドレイク小学校児童他29名来校 相互訪問開始
平成 9年 3月 本校児童他54名、サンドレイク小学校訪問
平成10年 5月 石狩教育研究所「総合学習」研究協力校
平成15年11月 石教研学校課題研究発表会開催
平成21年 6月 サンドレイク小学校児童他42名来校
10月 耐震化大規模改修工事完了
平成23年 1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童他24名）
平成24年 6月 サンドレイク小学校児童他35名来校
平成26年 1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童他22名）
6月 サンドレイク小学校児童他35名来校
平成28年 1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童他15名）
6月 サンドレイク小学校児童他46名来校
11月 北海道道徳教育推進校事業 千歳小学校公開授業研究会開催
平成30年 1月 サンドレイク小学校訪問（千歳市事業へ移行；本校児童他39名）
2月 北海道教育実践表彰受賞（学力向上、道徳教育の充実）
6月 サンドレイク小学校児童他28名来校
10月 開校140年記念集会開催 同窓会総会開催</td></tr>
</table>

北 進 小 学 校

所在：千歳市北栄1丁目2番6号
電話：0123-23-3439
創設：昭和35年5月5日
面積：敷地10,642㎡、敷地2,853㎡

校長名	赤 沼 宏 樹	教頭名	種 村　　泉
教職員数	教員　8名　養護　1名 事務　1名	学級数 児童数	知的障がい　　3学級23名 自閉症・情緒障がい　2学級 9名 計　5学級32名 （通級指導教室　2学級19名）
教育目標	〜21世紀を、自分のよさを発揮し、広く豊かに生きる子どもの育成〜 ・たしかに学ぶ子（知）　・かかわりをもてる子（情）　・たくましく生きる子（意・体） 【重点目標】 1　カリキュラムの改善・充実 2　評価方法の工夫・改善 3　自己肯定感・自己有用感の向上 4　家庭・地域への情報発信の工夫 ※　開校 50 周年に向けて		
研究主題	わかる・できる喜びや達成感を感じられる授業をめざして ― ステージ表をいかした授業の工夫 ―		
特色ある教育活動	1　特別支援学級のみの学校としての特徴を生かした小中一貫教育の推進 2　自己決定や社会参加を見通した教育活動 （体験学習、ソーシャルスキルトレーニング-SST-） 3　個別の指導計画の作成とインフォームドコンセントおよびアカウンタビリティの推進 4　児童一人一人の個性を生かし、かつ、大きな集団の良さを生かした教育活動 5　健常者との交流学習 6　他校の児童を含めた教育相談・通級指導		
沿　　革	昭和35年　5月　児童会館内に千歳小学校特殊学級として発足 昭和38年12月　北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転（現校舎） 昭和41年　4月　千歳小の北栄分校と称する 昭和46年　4月　北進小学校と称する 昭和49年　4月　言語治療教室緑小に移設 10月　開校15周年記念式典挙行 昭和53年　4月　情緒障害学級開設認可 平成　3年　3月　開級30周年・校舎増築・新体育館　完成記念式典挙行 平成14年　2月　開級40周年記念祝賀会、開校30周年記念祝賀会 平成18年　2月　北海道教育実践表彰受賞 4月　通級指導教室を開設 平成23年12月　開校40周年をお祝いする会 平成24年　8月　花いっぱいコンクール優良賞受賞 平成26年　9月　花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成27年　9月　花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成28年　8月　体育館非構造部材耐震工事、花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成29年　8月　花いっぱいコンクール優秀賞　　校長住宅解体 平成30年　8月　花いっぱいコンクール優秀賞受賞		

北 栄 小 学 校

所在：千歳市北栄1丁目10番2号
電話：0123-23-4138
創設：昭和28年5月25日
面積：敷地30,302㎡、建築6,035㎡

校長名	森　正彦	教頭名	田中　亮
教職員数	教員21名　養護　1名 事務　1名	学級数 児童数	15学級 264名 （うち特別支援学級6学級32名）
教育目標	○主体的に工夫して学習する子ども　（進んで学習する子ども） ○情操に富み創造的な子ども　（豊かな心をもった子ども） ○連帯感を深め責任ある行動をする子ども（なかまを大事にする子ども） ○体力の向上に努め、健康で明るい子ども（健康で明るい子ども） ○勤労を愛する子ども　（みんなといっしょに働く子ども） 【重点目標】学ぶ意欲を持ち思いやりのある子どもの育成		
研究主題	主体的、協働的に取り組み、自分の考えを深める子どもの育成 ～「関与」「外化」活動を取り入れたの学習展開の創造を目指して～		
特色ある教育活動	1　特別支援学級「たんぽぽ学級」（知的障がい、情緒障がい）を併設し、普通学級との日常的な交流のほか、総合的な学習の時間に位置づけた交流の機会をもち共に生きるための相互理解の場としている。 2　縦割り班を活用した異学年交流活動を推進している。 ・遊び活動(年2回)　・全校集会(年2回) 3　全校道徳を実施し、言葉遣いや友達に対する思いやりを考える機会を意図的に設け、児童の心の育成を図っている。 4　管内屈指のスクールバンドを有し、情操豊かな子どもの育成に努めている。 ・定期演奏会、校内諸行事での発表、各種コンクール、地域行事への参加		
沿　革	昭和28年　5月　千歳小学校より分離し9学級で開校 昭和48年　5月　情緒障がい児学級新設 昭和55年　6月　スクールバンド結成 平成15年11月　開校50周年記念式典挙行 平成18年　3月　「北栄小子どもを見守り隊」発足 平成19年10月　緑化事業「げん気の森」完成式典 平成21年11月　全日本小学校バンドフェスティバル全国大会出場 平成22年11月　全日本小学校バンドフェスティバル全国大会出場 平成24年　7月　中西圭三＆SEASONS、スクールバンドによるジョイントコンサート 8月　全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会金賞受賞 平成27年　8月　全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銅賞受賞 平成28年　8月　全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 9月　学校力向上に関する総合実践事業教育講演会（小松一保氏） 平成29年　2月　JICA国際交流（ウガンダ共和国） 平成29年　5月　図書ボランティア「希望が丘」設立 平成29年　8月　全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 平成30年　2月　JICA研修員との国際交流 平成30年　6月　特別支援難聴学級開設 平成30年　8月　全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 平成31年　1月　特別支援病弱学級開設 平成31年　2月　JICA研修員との国際交流		

末 広 小 学 校

所在：千歳市富丘2丁目6番2号
電話：0123-23-4127
創設：昭和31年4月1日
面積：敷地21,469㎡、建築5,933㎡

校長名	北野　敬和	教頭名	東　祐史
教職員数	教員21名　主幹　1名 養護　1名　事務　1名 栄養　1名	学級数 児童数	18学級 519名
教育目標	○進んでやりぬく子　　○えがおで元気な子 ○広い心でやさしい子　○六年間を自ら学ぶ子 【重点目標】自分の良さを活かし、支え合いながら力を高める子を育む ～ わたしいっていいな！　きみってすごい！ ～		
研究主題	「自己有用感」を育み、「自己肯定感」を高める教育活動の工夫 ～ 「特別の教科　道徳」の授業の充実を通して ～		
特色ある教育活動	1　アイヌ文化学習（総合的な学習・生活科） 全学年のカリキュラムを編成し、本物に触れる体験重視の活動を軸に、ふるさとを愛し、自然や命を大切にする心を育み、生き生きと学習する子どもの育成に努めている。また、地域人材導入や保護者・地域の人々の学習支援を目指し、学校・家庭・地域が一体となった教育活動に努めている。 2　福祉・交流学習や、ユネスコスクールとしての取組 障がい者体験や市の福祉の工夫に関する学習、地域のお年寄り等との交流、リサイクルやアイヌ文化学習の取組等を通して、人と人とのふれあいを深めるとともに、人と自然と関わり、社会の一員としてできることを考え実践する力の育成に努めている。 3　授業の工夫改善 算数科での習熟度別指導による基礎基本の定着やきめ細かな指導の充実、地域人材活用やゲストティーチャーによる多様な学習の充実を図る。		
沿　　革	昭和31年　4月　新設開校 8月　開校記念式典挙行 昭和49年　3月　現在地に校舎移転 平成10年　3月　北海道教育実践表彰受賞 平成18年12月　開校50周年記念式典挙行 平成19年　2月　石狩教育局　教育実践奨励表彰 5月　千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成20年　5月　北海道教育実践表彰受賞 平成21年　3月　多目的トイレ完成 9月　「ねんりんピック」参加 平成22年　9月　全国人権教育指導主事研究協議会にて発表 平成23年　6月　ユネスコスクール認定 10月　ふるさと教育推進事業実践校(～平成25年) 平成24年　2月　朝日のびのび教育賞受賞 平成25年　4月　学童・生徒のボランティア活動普及事業協力校 平成26年　1月　アイヌ文化資料室「チセ」の茅葺き全面改修及び復元完了 平成27年　8月　教育公務員弘済会実践助成で教授用パソコン購入 平成28年　　開校60周年記念事業実施 平成30年　4月　北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業実践校		

緑 小 学 校

所在：千歳市緑町4丁目4番1号
電話：0123-23-4107
創設：昭和32年4月1日
面積：敷地17,901㎡、建築6,500㎡

校長名	武 田　淳	教頭名	佐々木 めぐみ
教職員数	教員22名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	13 学級 443 名 (通級指導教室 4学級 58 名)
教育目標	～ 私たちは 未来へと進む 緑小の子ども ～ ・なかよく元気に遊びます……からだ（体） ・すすんで学び考えます……あたま（知） ・めあてをもって努力します……生きる力（意） ・人や地球にやさしくします……こころ（情） 【重点目標】『伝え合い、認め合いにより確かな学力と豊かな心を育む ～自立と共生～』		
研究主題	「表現する力」を育てる算数科授業の創造 ～伝え合いから学びを深める児童の育成～		
特色ある教育活動	1 地域の施設・人材を活用した検定支援事業 2 PTAと共同で進める確かな学力の育成 ～マイディクショナリー事業・ディクショナリースタート事業～ 3 ボランティア活動（地域別異学年グループによる清掃・美化活動） 4 千歳科学技術大学の教授や学生との交流授業 5 カヌー体験（プールや河川の水に対する安全教育） 6 全学年でのアイヌ文化学習 7 ユネスコスクールとしての活動		
沿　革	昭和32年 4月 新設開校 昭和49年 4月 言語治療教室開設 昭和52年 9月 開校20周年記念式典挙行 昭和53年 4月 蘭越小学校と統合 昭和59年 1月 校舎増改築工事完了・引っ越し 昭和62年11月 開校30周年記念式典挙行 平成 7年 4月 言語通級指導学級開始 平成17年10月 文部科学省指定 心に響く道徳教育研究会開催 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成18年 5月 千歳っ子見守り隊発足 平成19年12月 開校50周年記念式典挙行 平成20年 3月 北海道PTA広報誌コンクール審査員特別賞（北海道新聞社賞） お話会「ぴっころ」開始 12月 千歳市学校課題研究発表会開催 平成21年 5月 あそびの日in千歳会場 8月 花いっぱいコンクール「優秀賞」受賞 平成23年 3月 ユネスコスクールに加盟 平成24年 4月 「学校力向上に関する総合事業」における近隣校に指定 5月 千歳市人権委員会から「人権の花」の贈呈 10月 お話会ぴっころ10周年記念 平成25年 9月 車椅子1台を千歳市社会福祉協議会へ寄贈（リングプル回収取組） 平成28年 1月 校内放送設備更新（デジタル化対応） 平成28年 5月 放課後子ども教室開始 平成29年12月 開校60周年記念集会の開催 平成31年 3月 「緑小おやじの会」による6年生児童へのキャリア教育「おやじトーク」開催		

千 歳 第 二 小 学 校

所在：千歳市清流1丁目4番1号
電話：0123-23-2062
創設：大正9年12月13日
面積：敷地24,108㎡、建築5,718㎡

校長名	山 田　　聡	教頭名	松 原 康 雄
教職員数	教員16名　養護1名 事務1名	学級数 児童数	12学級 320名
教育目標	◯よく考え　進んで学習する子 ◯明るく　思いやりのある子 ◯ねばり強く　たくましい子 【重点目標】　・学力と体力・運動能力のさらなる向上　　・人間性豊かな心の育成 ・家庭・地域から信頼される学校づくり　　・指導力向上と長時間勤務の改善		
研究主題	『算数科において論理的に考えを進める子どもの育成』 ～プログラミング的思考の視点を取り入れて～		
特色ある教育活動	1　TT・少人数指導の実施 (1) 学習意欲の向上、個人差の解消を目指すと共に、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。(算数科) (2) 千歳市学習支援員配置事業による少人数指導の実施 (算数科) 2　特別支援教育の充実 (1) 校内の特別支援体制の整備と共に、スクールカウンセラー・特別支援教育支援員・心の教室相談員を効果的に活用し、子どもや保護者に対する教育相談の充実を図る。 3　放課後補充学習の取り組み (1) 放課後を活用して集中して取り組むことにより、学習のつまずきの克服や学習活動への意欲向上を図る。 4　地域の人材や団体との交流を通した豊かな体験の機会の拡大 (1) 地域の老人クラブ (清流親和会) との交流 (昔の遊び・花壇づくりなど) (2) 地域の人材を講師として、サケのふるさと千歳水族館 (学芸員) の協力により、サケの誕生と成長 (受精卵→孵化→稚魚) の体験学習と千歳川への稚魚放流活動。 (3) アイヌ文化の学習・・伝統楽器 (ムックリ) の演奏体験など。 (4) 幼稚園 (児) との交流・・近隣の幼稚園との相互交流。		
沿　　革	大正　9年12月　千歳尋常小学校根志越分教場として開校 昭和21年　4月　千歳第二国民学校として独立 昭和22年　4月　千歳第二小学校となる 昭和43年　4月　泉郷小学校統合 昭和45年12月　開校50周年記念式典挙行 平成　4年　2月　石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成11年　1月　サケの稚魚の飼育開始 3月　増築校舎完成 (第1期) 平成12年11月　開校80周年記念公開授業研究会 平成15年　4月　少人数指導開始 平成18年　4月　二学期制実施 平成22年12月　開校90周年記念集会 平成23年　7月　東日本大震災にかかわり仙台市教育委員会へ教員派遣 (平成23年7月1日～平成24年3月31日) 平成26年　2月　第1回千歳市エコアクション賞受賞 平成27年　2月　第51回千歳市社会福祉善行表彰賞受賞 平成30年　1月　岡山市西大寺南小学校との交流会参加		

駒 里 小 学 校

所在：千歳市駒里９４５番地の６
電話：０１２３－２３－３２３７
創設：明治３９年９月１日
面積：敷地３７,６５２㎡、建築2,３６８㎡

校長名	布 施　　裕	教頭名	宮 口 貴 裕
教職員数	教員　3名　養護　1名 事務　1名	学級数 児童数	3学級 １３名
教育目標	◎　やさしい子　（広い視野をもち、ふるさとや人を愛する子ども） ◎　進んで学ぶ子（進んで学び、自ら考え、行動する子ども） ◎　元気な子　　（たくましい心と体をもった、元気な子ども） 【重点目標】○「思いやりの心」と「基本的な生活態度・習慣」を育成します。 ○一人一人に応じたきめ細かな指導を行い「確かな学力」を身につけさせます。 ○小中併置校の強みを生かし、「教師力」の向上に努めます。		
研究主題	「主体的に考え、表現できる子どもの育成」 ～各教科での言語活動の工夫・充実を通して～		
特色ある教育活動	◎　学校環境を生かした教育活動の充実・推進 １　「総合的な学習の時間」～地域の中での学びをつくる （1）　農園活動 （2）　地域の自然、産業、生活、文化等に関する内容に基づいた学習 （3）　保小中の連携のもと、ＰＴＡ・地域が一体となって行う各種行事 ２　ボランティア活動 （1）　交通安全キャンペーン （2）　学校祭・餅つき会への地域の皆様の招待活動 （3）　リングプル、ペットボトルのキャップ、ベルマーク等の回収 ３　体力づくり （1）　パークゴルフ （2）　歩くスキー （3）　中学校部活との連携（バドミントン）		
沿　　革	明治３３年　6月　千歳尋常小学校阿宇砂里分教場として開校 明治３９年　9月　阿宇砂里簡易教育所となる 大正１２年　9月　阿宇砂里尋常小学校として独立 昭和２２年　4月　阿宇砂里小学校となる 昭和２７年　4月　駒里小学校となる 昭和２９年　9月　開校５０周年記念式典 昭和６１年11月　開校８０周年記念式典 平成　8年　9月　開校９０周年記念式典 平成１０年１０月　全道へき地複式教育研究大会石狩大会会場 平成１５年　4月　交通安全キャンペーン表彰 平成１６年　9月　交通安全キャンペーン２０年達成 平成１７年　8月　校舎外壁大規模補修完了 平成１８年１１月　小学校開校１００周年記念式典、祝賀会開催 平成１９年　5月　石狩管内複式校新任者研究大会 平成２０年　7月　文科省指定　豊かな体験活動 平成２１年　9月　交通安全キャンペーン２５年達成 平成２６年１０月　交通安全キャンペーン３０年達成 平成２８年１０月　小学校開校１１０周年・中学校開校６０周年記念行事実施 平成３０年　6月　コミュニティスクール導入		

支 笏 湖 小 学 校

所在：千歳市支笏湖温泉２番地
電話：０１２３－２５－２７２９
創設：昭和２３年１２月１日
面積：敷地１３,２７７㎡、建築1,６４３㎡

校長名	小川　亮男	教頭名	中　村　信　義
教職員数	教員　２名	学級数 児童数	３学級 ８名 （うち特別支援学級１学級１名）
教育目標	「たくましい心と体をもった　人間性豊かな児童の育成」 ・自ら考え、創造する子ども（知） ・明るく、協力する子ども　（情） ・根気よく、実行する子ども（意） ・心身をきたえる子ども　　（体） 【重点目標（学校課題）】『支え合い,学び合い、高め合う学校教育活動の推進』		
研究主題	「自ら考え、判断し,実行する『自己決定力』をもつ子どもの育成」 ～豊かな道徳性を育む指導の工夫を通して～		
特色ある 教育活動	１　愛鳥モデル指定校～地域の特性を生かし、毎朝の給餌・観察活動、学習・行事との関連を図る。 ２　ヒメマス学習～地域の特産であるヒメマスから地域の自然環境や産業、人々のくらしを学習し、理科、社会科、生活科、総合学習、行事との関連を図る。 ３　鼓笛隊～全校児童で組織した鼓笛隊が、地域行事に参加し支笏湖地区に貢献することで自尊感情や自信、挑戦の意欲を育てる。 ４　公園清掃～国立公園の清掃を地域住民、敬老会などの人々と行い、環境美化に努め、美しい自然環境を保つことの誇りを育てる。 ５　「心の直行便」活動～高知県南国市立奈路小学校と、一年おきに相互学校訪問交流を行っている。手紙、作品類、収穫物交流などを通して気候や文化の違いを知り、離れた地域の友達、父母との「心の交流」により、豊かな情操を育んでいる。		
沿　　革	昭和２２年１２年　烏柵舞小学校支笏湖分教場開校 昭和２３年１２月　支笏湖小学校の認可 現在のユースホステルに校舎完成 昭和２４年　１月　支笏湖小学校の開校式 昭和２９年　７月　現在地に校舎完成 昭和４３年１１月　開校２０周年記念式典挙行 昭和４９年　７月　湖水まつり鼓笛パレード出演 １２月　開校２５周年記念式典挙行 昭和５４年１２月　開校３０周年記念式典挙行 昭和５７年　２月　現校舎防音・体育館完成 昭和６０年　９月　道複連石狩大会分科会、授業公開 昭和６２年　２月　石狩管内教育実践奨励賞受賞 平成１０年２･８月　南国市立奈路小学校との交流 １１月　開校５０年記念式・祝賀会挙行 平成１８年　５月　北海道社会貢献賞（野生鳥獣保護功労）受賞 平成１９年　５月　野生生物保護功労者表彰 平成２５年　５月　愛鳥週間野生生物保護功労者表彰　環境大臣賞　受賞 平成２８年１１月　南国市立奈路小学校交流開始２０周年 平成３０年１１月　開校７０周年記念式典・祝賀会挙行		

日 の 出 小 学 校

所在：千歳市日の出2丁目3番20号
電話：0123-23-2670
創設：昭和41年12月1日
面積：敷地20,706㎡、建築5,891㎡

校長名	渡 邉 琢 真	教頭名	松 本 広 徳
教職員数	教員25名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	17学級 487名
教育目標	◎進んで学習する子 (知) ◎思いやりのある子 (情) ◎考えて行動する子 (意) ◎元気に活動する子 (体) ◆元気なあいさつ、学び喜び、未来へはばたく 日の出小 【重点教育目標】 日の出小 3つの約束『いのち』『思いやり』『家庭学習』		
研究主題	自分の考えをもち、学び合う子どもの育成 ～「わかる」「できる」算数科授業～		
特色ある教育活動	1 学力向上の取組 (1) 学習活動に関する取組 ①意欲を引き出す問題提示・教材の工夫、視覚化、焦点化 ②見通しのもたせ方 式・図・数直線など表現の工夫 ③共有化・ペア学習 (2) 目標を持たせる検定と放課後学習の取組 ・毎週1回、国語検定と計算検定を実施し、意欲の向上と基礎基本の定着を図る ・学習の場を提供～検定に再挑戦できる放課後学習の充実 (担任外教員が担当) ・家庭学習の手引きの発行 (3) 一人ひとりを生かす指導の取組 ・少人数指導、習熟度別指導の充実 ・日の出スタンダード (指導方法の共通化) 2 学校行事及び児童会の活動に関わる取組 (1) あいさつ運動 (2) リングプル集め (3) 愛キャップ集め 3 その他 地域との関わりのある活動 (1) PTAふれあいフェスティバル (2) ふれあいボランティアの活用 (AKS活動) (3) 防犯ボランティア「日の出っ子見守り隊」との連携 (4) 学校支援地域本部事業の活用 (地域ボランティア・保護者ボランティア)		
沿 革	昭和41年12月 新設開校 昭和42年 1月 開校記念式挙行 昭和51年 3月 祝梅小学校分離 6月 開校10周年記念式典挙行 昭和61年11月 開校20周年記念式典挙行 平成 8年12月 開校30周年記念式典挙行 平成18年12月 開校40周年記念事業 平成24年10月 千歳市学校課題研究発表会開催 北海道算数数学教育研究大会石狩・千歳大会 (小学校会場) 開催 平成27年 4月 地域の学力向上支援事業拠点校 平成28年12月 開校50周年記念式典挙行 令和元年 5月 あそびの日inちとせ 会場校		

信 濃 小 学 校

所在：千歳市信濃2丁目34番12号
電話：0123-23-4752
創設：昭和43年4月1日
面積：敷地19,413㎡、建築5,645㎡

校長名	髙 橋　　真	教頭名	阿 部 恵 子
教職員数	教員19名　養護　1名 事務　2名	学級数 児童数	15学級 380名 （うち特別支援学級2学級3名）
教育目標	◯考える子　　◯やさしい子 ◯がんばる子　　◯じょうぶな子 【重点目標】◯しっかり学習する子　◯なかよく生活する子　◯のびのび運動する子		
研究主題	自分の思いや考え委を伝え合う「信濃っ子」の育成 ～外国語活動・外国語科の授業づくりを通して～		
特色ある教育活動	1　ふれあい活動を通して思いやりの心や実践力の育成 ・高齢者、見守り隊、幼稚園、保育園との交流 2　異学年交流を通して心の交流を図るとともに、自分達で遠足を企画させることにより、自覚と責任感を養う活動 ・ジャンボタイム～子ども達の手でつくりあげる異学年のふれあい活動 ・ノースリーダー～北校舎で高学年に仲間入りした4年生が低学年と交流する活動 3　ＡＬＴによる英語を使った様々なゲームや歌、外国の文化(衣食住)に触れるクラブ活動。 ～Ｅクラブ 4　危険予測力を高めることに重点を置いた安全指導の積極的展開 ・引き渡し訓練、災害図上訓練とそなえーる見学 5　家庭との連携による体づくりの習慣化～「しなトレ」の推進		
沿　　革	昭和43年　4月　新設開校 昭和47年12月　体育館（講堂）完成 昭和48年　7月　開校5周年記念式典 昭和53年　3月　桜木小分離 10月　開校10周年記念式典挙行 昭和63年　1月　「信濃の森」購入 10月　開校20周年記念式典挙行 平成　2年11月　学校プール完成 平成　6年　4月　北陽小分離 平成10年　8月　開校30周年記念式典挙行 平成20年11月　開校40周年記念事業学校課題研究発表会 平成24年　4月　学校力向上に関する総合実践事業近隣校 平成25年　4月　学校力向上に関する総合実践事業近隣校 平成26年　4月　学校力向上に関する総合実践事業近隣実践校 平成27年　4月　学校力向上に関する総合実践事業近隣実践校 平成28年　4月　学校力向上に関する総合実践事業近隣実践校 平成29年　4月　学校力向上に関する総合実践事業近隣実践校 道徳教育推進事業指定校（12月公開研究会） 平成30年　4月　学校力向上に関する総合実践事業近隣連携校 平成30年　8月　開校50周年記念式典挙行 平成30年11月　石教研学校課題研究発表会 平成31年　4月　特別支援学級開設		

高 台 小 学 校

所在：千歳市富丘1丁目19番4号
電話：0123-23-9100
創設：昭和45年4月1日
面積：校地21,844㎡、校舎5,068㎡

校長名	安 栄 智 裕	教頭名	鎌田 定男
教職員数	教員18名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	13学級 248名 (うち特別支援学級3学級9名)
教育目標	広く深く豊かに生きぬく高台の子の育成を目指す 1．深く考え 学び合う子　2．広い心で 助け合う子　3．心豊かに 生きぬく子 【重点目標】『深く考え 学び合う子』の育成 ～意欲的に学習に取り組み、対話を通して深く考える子～		
研究主題	自分の思いをもち 心豊かによりよく生きようとする児童の育成 －多様な感じ方や考え方にふれ、自分の考えを深める道徳の時間－		
特色ある教育活動	1 確かな学力を育成するために学習指導の工夫を図る 少人数指導（2～4グループ）、ICT機器の積極的活用、放課後「計算塾」の開催 学力テスト等による理解達成度の調査、e ラーニング全校児童の登録 2 豊かな心を育成するために道徳教育の充実を図る 「生活アンケート」による実態把握、花壇づくり・ボランティア活動の推進・異学年交流 サケの稚魚を育てる・放流、NO!いじめ集会 3 健やかな体を育成するために健康安全指導の充実を図る 全学年による体力テストの実施、各種体力テスト記録掲示、体力向上 WEEK 設定 「生活ノート」を活用した実態把握基本的生活習慣づくり		
沿　革	昭和45年　4月 新設開校 昭和54年　5月 肢体不自由児訓練室「そらまめ」学級開設 昭和55年 11月 開校10周年記念式典祝賀会挙行 平成 2年 11月 開校20周年記念式典挙行 平成12年　9月 小学校英会話学習モデル事業開始 10月 開校30周年記念式典挙行 平成15年　3月 平成14年度北海道公立学校教育課程実践・石狩教育局長表彰 平成16年 11月 千歳市学校課題研究発表会 平成18年　2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成20年　1月 岡山市立西大寺南小と、サケ飼育を通し交流 平成21年　5月 人権の花贈呈式 平成22年　5月 「あそびの日inちとせ高台小学校」会場校 平成23年　5月 非行防止教室開催 平成24年 12月 冬休みの勉強会開催 平成25年　8月 夏休みの勉強会開催 平成26年　2月 全学級に電子黒板配備 平成27年 11月 なかよしさわやかDAYいじめシンポジウム児童会による提言発表 平成28年 11月 特定防衛施設周辺整備外壁工事終了 平成29年　2月 千歳市コミュニティ・スクール研究指定校 平成30年 12月 北海道道徳教育推進校事業 公開授業研究会開催		

東 小 学 校

所在：千歳市東丘８２４番地の３０
電話：０１２３－２１－３２００
創設：昭和４６年１月１日
面積：敷地１６,６７５㎡、建築２,１８４㎡

校長名	田中　貴人	教頭名	髙　橋　　基
教職員数	教員　6名　養護　1名 事務　1名	学級数 児童数	4学級 ２８名
教育目標	「思いやる心で　たくましく　学びつづける　東っ子」 【重点目標】　1　確かな学力の育成　　2　豊かな心の育成　　3　健やかな体の育成 4　特別支援教育の推進　5　安心・安全な学校づくり　6　地域との連携 7　小中連携・一貫教育　8　働き方改革の推進		
研究主題	「主体的に考え、互いに考えを伝え合い、すすんで学ぶことのできる子どもの育成」 ～　一人一人の学びを広げる授業をつくる　～		
特色ある教育活動	1　農業体験活動 ・学校田（米）を活用して、田植え・観察・収穫・脱穀・もちつきまでの活動 2　ボランティア・交流活動 ・地域清掃（小中合同） ・千歳小・北進小学校や市内小規模２校（駒里小・支笏湖小）との交流活動 3　ふるさと教育 ・東千歳合同運動会（中学校、保育所、地域）、学芸会など、地域と一体の行事 ・栽培活動集会、もちつき集会、百人一首集会など、地域の方の協力による活動 4　パレットタイム ・「国語・算数を中心としたくり返し学習」「朝読書」「体力づくり」を実施 5　縦割り班(異学年)活動 ・花壇作業、らんらん給食、稲作体験 6　小中連携・一貫教育 ・東千歳中学校との連携 ・合同行事・授業、教職員研修の実施		
沿　　革	昭和４６年　1月　幌加小、協和小、東丘小の3校統合開校 昭和５５年１１月　開校１０周年記念式典挙行 平成　2年１１月　開校２０周年記念式典挙行 平成１０年１０月　全道へき複大会第5分科会会場校 平成１２年１２月　開校３０周年記念式典挙行 平成１３年　9月　コンピューター室整備　１０月　学校林記念植樹 平成１４年１０月　石教研へき複部会研究集会 平成２３年　1月　開校４０周年記念を祝う会開催 9月　全道へき複研究大会石狩プレ大会第４分科会会場校 平成２４年　9月　全道へき複研究大会石狩大会第４分科会会場校 平成２７年　4月　電子黒板設置・デジタル教科書導入 平成２８年　7月　校舎大規模改修 8月　花いっぱいコンクール 最優秀賞 平成２９年　8月　体育館耐震改修工事 平成３０年　9月　台風２１号被害（学校林　倒木・伐採） 平成３１年　3月　コンピューター室パソコン更新		

祝 梅 小 学 校

所在：千歳市梅ヶ丘3丁目2番1号
電話：0123-23-1110
創設：昭和51年4月1日
面積：敷地20,571㎡、建築6,371㎡

校長名	吉 田 篤 弘	教頭名	桂 川　淳
教職員数	教員21名　養護　1名 事務　1名　栄養　1名	学級数 児童数	14学級 255名 （うち特別支援学級4学級29名）
教育目標	『すくすく　のびのび』 みとめ合い、まなび合い、たかめ合い、きたえ合う　祝梅っ子 【重点教育目標】　自ら考え、進んで行動する子どもの育成 ～進んで勉強　進んでなかよく　進んで運動～ 【スローガン】　みんなで高める　やる気と自信		
研究主題	学びに向かう力を身に付け、共に高め合う子どもの育成 ～思考力・判断力・表現力を育む主体的・対話的な深い学びを生かして～		
特色ある教育活動	1　環境教育 （1）植物栽培活動（学校花壇、学校田、教材園） （2）飼育活動（サケの飼育活動、サケの交流事業、金魚の飼育活動） （リサイクル活動、環境整備作業、中学校区ゴミクリーン登校） 2　人権教育 （1）道徳教育の充実（特別な教科「道徳」、各教科、人権教室、福祉体験学習、ありがとう集会） 3　学力向上の取組 （1）祝梅タイム、家庭学習、昼勉、100問チャレンジデーの設定 4　体力向上の取組 （1）授業前の分間走、コーディネーション運動、体力アップチャレンジの実施 5　4期のサイクル （1）わくわくステージ（　4月～　7月）自分の目標を意識し、進んで取り組む期 （2）のびのびステージ（　8月～　9月）自分の良さを伸ばす期 （3）じっくりステージ（10月～12月）前期を振り返り、自分を見つめじっくり取り組む期 （4）しっかりステージ（　1月～　3月）今までの自分を振り返り、新学年につなげる期		
沿　　革	昭和51年　4月　新設開校 昭和55年　9月　開校5周年記念式典挙行 昭和60年11月　開校10周年記念式典挙行 平成　6年　1月　豊かな学校創生事業によるサケ飼育開始 平成　7年11月　開校20周年記念式典挙行 平成10年　1月　岡山県西大寺南小学校とサケ飼育を通しての交流を始める 平成17年12月　開校30周年記念式典挙行 平成22年　3月　多目的トイレ完成 平成23年　4月　学校教育目標の改訂、新しい図書スペース「図書の森」完成 平成24年　9月　体育館耐震改修工事完了 平成25年　4月　あさがお(知的、情緒)学級開設 平成25年11月　校舎改修工事（外壁塗装・防水・普通教室改修等） 平成27年　9月　千教振学校課題研究発表会 平成27年11月　開校40周年を祝う会挙行 平成30年　4月　あさがお学級増設		

桜 木 小 学 校

所在：千歳市自由ヶ丘7丁目1番1号
電話：0123-22-3301
創設：昭和53年4月1日
面積：敷地24,370㎡、建築5,550㎡

校長名	松 浦 宣 仁	教頭名	潟 沼 史 朗
教職員数	教員18名　養護　1名 事務　2名	学級数 児童数	12学級 309名
教育目標	自ら学び心豊かでたくましい桜木の子 ○進んで学ぶ子　○思いやりのある子　○明るくたくましい子 ＜重点教育目標＞ 自ら学び　考える　子どもを育成する ～主体的・対話的で深い学びの実現を図りながら～ ☆学ぼうとする力（興味関心、意欲）　☆学んで得る力（知識・技能）　☆学ぶ力（思考力・判断力・表現力）		
研究主題	確かに読み取る力を育てる学習指導の工夫 ～国語科の音読・書き写し・要約の学習を通して～		
特色ある教育活動	○学力向上を目指して ・「学びの約束」の提示と定着　・補充学習（チャレンジタイム）の実施 ・自主的に取り組む学習プリント（チャレプリ）の活用　・桜木漢字検定の実施 ・朝の読書活動の推進　・学生ボランティアを活用した長期休業中の補充学習の実施 ・生活リズムチェックシートを活用した家庭での生活習慣の改善 ・「桜木学習シート」の作成と活用　・工夫した学習ノートの掲示と意欲喚起（キラリノート） ○体力向上を目指して ・年間を通した朝の体力つくりの実施（単縄・大縄・縄跳び検定） ・空き教室を利用した運動スペース（桜UPルーム）の設置		
沿　革	昭和53年　4月　新設開校 昭和62年10月　開校10周年記念式典挙行 平成 元年11月　桜木博物館、桜木学習公園完成 平成　8年　2月　サイパン島ガラパン小学校と姉妹校盟約締結 平成10年11月　開校20周年記念式典挙行 平成16年　2月　石狩教育実践奨励表彰受賞 5月　すこやか農園造成 平成19年10月　石教研学校課題研究発表会 12月　開校30周年記念式典挙行 平成20年　8月　ミレニアムタイムカプセル開封式 平成21年　3月　環境省「こどもホタレンジャー」優秀賞受賞 平成22年11月　第一回桜木メッセージ開催 平成24年　4月　学校力向上に関する総合実践事業指定校（道教委） 平成24年　8月　花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成25年　8月　花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成26年　4月　学校の教育目標の改訂 6月　引き渡し訓練の実施 平成27年12月　学校力向上に関する総合実践事業研究協議会開催 平成28年　4月　平成28年度千歳市体力向上実践指定校 平成29年　8月　花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成30年12月　学校力向上に関する総合実践事業地域連携研修講演会開催		

向 陽 台 小 学 校

所在：千歳市若草5丁目1番地
電話：0123-28-2111
創設：昭和57年4月1日
面積：敷地28,468㎡、建築6,761㎡

校長名	今 井 正 樹	教頭名	徳 田 和 之
教職員数	教員14名　養護　1名 事務　1名	学級数 児童数	9学級 136名 （うち特別支援学級3学級7名）
教育目標	『明るく豊かな心とたくましい体を持ち、進んで自ら創造し実践する子どもの育成をめざす』 ◯すすんで　考える子　　◯すなおで　思いやりのある子 ◯ねばり強く　やりぬく子　　◯明るく　たくましい子 【重点教育目標】 自ら学び　心豊かに表現できる　向小の子		
研究主題	『自ら学び、心豊かに表現できる子どもの育成』 ～伝え合って学ぶ国語科の授業作りを通して～		
特色ある教育活動	1　花と小鳥と緑を愛する活動（北海道愛鳥モデル指定校） 2　異学年集団活動（向陽っ子タイム） 3　地域の人材を生かした活動（千歳市学校支援地域本部事業～水泳・スケート指導補助） 4　地域高齢者とのふれあい活動（特別支援学級ミニ運動会） 5　家庭学習の習慣化（家庭学習手引きの配布、自学ノートの表彰） 6　可能性を伸ばす特別支援教育（交流・体験学習等を取り入れた教育活動） 7　図書室の地域開放（ＰＴＡ図書ボランティア「森ック」との連携）		
沿　　革	昭和57年　4月　新設開校 平成　4年10月　開校10周年記念式典挙行 平成　5年～　毎年、市や北海道の花いっぱいコンクールに応募し、優秀賞・優良賞・奨励賞等を受賞 平成　6年　4月　北海道愛鳥モデル校指定 平成　9年　3月　泉沢小学校分離 平成10年　4月　あおぞら(情緒、知的障害)学級開設 平成11年　3月　全道ＰＴＡ広報紙コンクール優秀賞受賞 平成13年11月　開校20周年を祝う集い 平成14年　6月　学校図書館地域開放結構優劣 平成15年　4月　難聴学級開設 平成16年　4月　肢体不自由学級開設 平成18年　9月　千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成19年　5月　北海道社会貢献賞 野生鳥獣保護功労者受賞 平成20年　2月　文部科学省指定 「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」公開研究会開催 平成23年12月　北海道花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成21年　8月　千歳市花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成22年　8月　千歳市花いっぱいコンクール特別賞受賞 平成23年10月　文部科学省　読書活動優秀実践校表彰 12月　開校30周年記念式典 平成24年　4月　北海道愛鳥モデル指定校 平成26年　8月　千歳市花いっぱいコンクール最優秀賞受賞　2年連続受賞 平成27年　7月　大規模改修開始（～平成28年1月） 8月　千歳市花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成28年　2月　千歳市社会福祉協議会「社会福祉善行表彰（ボランティア活動）」受賞 平成28年11月　体力向上パートナーシップ形成事業実践研究指定校 平成29年　7月　校舎給水管改修工事（～8月） 8月　千歳市花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成30年10月　平成30年度千歳市学校課題研究発表会		

北 陽 小 学 校

所在：千歳市北陽3丁目9番1号
電話：0123-42-3441
創設：平成6年4月1日
面積：敷地26,056㎡、建築9,619㎡

校長名	池 田 元 治	教頭名	昇　洋 一　河内 一惠
教職員数	教員57名 養護 2名 事務 3名	学級数 児童数	44学級 1,499名 (うち特別支援学級2学級8名)
教育目標	◎自分や友だちのよさを生かし、心を豊かにしようとする子どもの育成 (情) 思いやりをもち、助け合う子 (やさしい子) (意) 目標に向かって、努力する子 (がんばる子) (知) 自ら学び、深く考える子 (考える子) (体) 進んで体をきたえる子 (元気な子) 【重点教育目標】「進んで学び、行動する子ども」の育成～自己有用感の向上～		
研究主題	「すてきな自分」「すてきな友達」に気づくことができる児童の育成		
特色ある教育活動	1 凡事徹底の教育 ・挨拶 ・姿勢 ・返事と挙手 ・感謝 2 ICT機器活用による確かな学力の定着 3 コーディネーショントレーニングを活用した教科体育の充実 4 北陽っ子まつり、おやじの会などのPTA・保護者・地域との連携行事		
沿　革	平成 6年 4月 新設開校 平成 9年 3月 世界児童画展都道府県団体賞受賞 平成11年 1月 増築校舎完成 平成11・12年度 千歳市学校課題研究指定校 平成11年12月 プール完成 平成12・13年度 石狩教育局 地域教育推進事業「学社融合推進モデル事業」校 平成14年 7月 学校図書館地域開放開始 平成15年11月 開校10周年記念式典 平成18年 5月 千歳っ子見守り隊対面式 平成20年 3月 増築校舎完成 平成21年 3月 全道PTA広報紙コンクール大賞受賞 平成22年 1月 新校舎1・2階教室改築工事完了 平成23年 3月 図書室・図工室・普通教室改築、校長室移設、職員室拡充工事完了 平成24年 3月 プレハブ校舎増築完了 6月 保護者引取型下校訓練実施 平成25年11月 開校20周年記念式典 平成26年 3月 職員室拡充・第二児童玄関・第二理科室・普通教室他増築 8月 新校舎外構整備工事完了 11月 児童用タブレット端末導入 平成27年 6月 午前・午後による二部制の運動会実施 平成29年 8月 児童トイレ拡充工事完了 平成30年 8月 バックネット、グラウンドへの通路舗装工事完了 千歳市花いっぱいコンクール最優秀賞受賞		

泉 沢 小 学 校

所在：千歳市柏陽２丁目９番地
電話：０１２３－２８－５８３０
創設：平成９年４月１日
面積：敷地３２,０２２㎡、建築５,４０９㎡

校長名	大 村 正 俊	教頭名	森 國　　聡
教職員数	教員１３名　養護　１名 事務　１名	学級数 児童数	９学級 ２３９名
教育目標	「明るい笑顔、響き合う心、瞳輝く泉沢」 ○思いやりをもち、助け合う子（情）　○ねばり強く、がんばりぬく子（意） ○進んで学び、深く考える子　（知）　○明るく元気で、たくましい子（体） 【重点目標】 「笑顔 いっぱい　思いやり いっぱい」 ～保護者・地域・教師・児童が同じ思いで学校を創る～		
研究主題	「心のつながり」を大切にする子の育成 ～特別な教科　道徳を基盤として～		
特色ある教育活動	＜地域を生かした教育活動の推進＞ （１）総合的な学習の時間・・・地域素材（人・社会・自然）を活用した探究的な学習 （２）泉沢小の「かがやきの森・学校林」を生かした自然体験活動や環境教育 （３）臨空工業団地を生かした教材づくりと教育活動 （４）向陽台の諸施設（リハビリ学院・航空学園など）を生かしたキャリア教育 （５）老人ホーム・車椅子体験等、福祉教育・ボランティア活動の推進 （６）サケのふるさと千歳水族館の協力による、サケの採卵・飼育・放流体験学習		
沿　　革	平成　９年　４月　新設開校 平成１０年　９月　泉ザ・ワールド開催 平成１１年　６月　卒業記念植樹 平成１４年１１月　千歳市学校課題研究指定発表会 平成１５年　９月　英会話学習開始 平成１６年１０月　台風により学校林２０本倒木 平成１７年１０月　開校１０周年記念事業準備委員会発足 平成１８年　５月　開校１０周年記念大運動会実施 １０月　開校１０周年記念・石教研指定学校課題研究発表会開催 １１月　開校１０周年記念式典挙行 平成１９年１１月　全校道徳実施 平成２０年　２月　石狩管内教育実践奨励賞受賞 ５月　第２回全校道徳実施 平成２１年　２月　「遊々の森」認定書締結式 ５～１１月　「かがやきの森」整備開始 平成２２年　２月　第３回全校道徳実施 平成２３年１１月　第４回全校道徳実施 平成２５年　２月　第５回全校道徳実施 平成２６年　１月　第６回全校道徳実施 ９月　千歳市学校課題研究発表会・石狩管内教育機器活用研究大会 平成２７年　２月　第７回全校道徳実施 平成２８年　２月　第８回全校道徳実施 平成２８年１２月　開校２０周年を祝う会　第９回全校道徳実施 平成２９年１２月　第１０回全校道徳実施 平成３０年　７月～９月　体育館屋根耐震工事		

2 中 学 校

<table>
<tr><td colspan="4">

千 歳 中 学 校

所在：千歳市栄町4丁目35番地
電話：0123-23-3161
創設：昭和22年6月4日
面積：敷地24,482㎡、建築6,782㎡

</td></tr>
<tr><td>校長名</td><td>三 浦 利 章</td><td>教頭名</td><td>前 田 真 志</td></tr>
<tr><td>教職員数</td><td>教員38名 養護 1名
事務 2名</td><td>学級数
生徒数</td><td>20学級
590名
(うち特別支援学級3学級11名)</td></tr>
<tr><td>教育目標</td><td colspan="3">柏葉の精神を育み、信愛を深める教育
豊かな心、確かな力、健やかな心身、広い視野の育成
〈基本姿勢〉 一人一人に「目をかけ、手をかけ、声をかけ」
一人一人を「認めて，褒めて，励まし、伸ばす」</td></tr>
<tr><td>研究主題</td><td colspan="3">「深める」
～自ら進んで考え、将来に生かすための「深い学び」ができる生徒の育成～</td></tr>
<tr><td>特色ある
教育活動</td><td colspan="3">1 千歳科学技術大学との連携による学習活動（SPP）：1年生を対象にした理科の実験授業
2 PTAの活動 環境整備、地域との交流、研修活動、親睦活動、バザーへの協力
3 地域との交流、ボランティア活動 生徒会による各種募金活動、地域清掃
地域の方々と共に花を植える花壇ボランティア活動、落ち葉拾い</td></tr>
<tr><td>沿 革</td><td colspan="3">昭和22年 6月 新設開校
9月 校章を制定
昭和24年 6月 校歌制定
昭和26年 3月 新校舎完成（現在地）
昭和29年 3月 体育館完成
昭和37年11月 鉄筋コンクリート三階建校舎完成
12月 完全防音、温風暖房機付講堂（兼体育館）完成
昭和52年10月 開校30周年記念式典挙行「記念誌発行」
平成 元年 4月 はまなす学級開設
平成 5年 1月 コンピューター教室工事完了
平成 9年11月 開校50周年記念式典挙行「記念誌発行・校旗更新」
平成10年 2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞
平成12年 2月 平成11年度北海道教育実践奨励表彰受賞
平成14年 2月 安全対策整備工事完了（玄関オートロック式施錠、テレビドアホン等）
平成16年 3月 はまなす学級改修工事完了
平成18年 8月 2階東校舎教室改修工事完了
平成19年10月「柏葉の像」修復・塗装完了（奈良昌美先生・同窓会協賛事業）
平成20年 3月 開校60周年記念講演会
平成21年 9月 管理棟・教室棟・西校舎ボイラー交換（天然ガス化）
平成22年 8月 生徒用トイレ改修工事完了
10月 耐震工事（東・西・管理棟・体育館）完了
平成23年 1月 理科室、水飲み場、防火扉改修工事完了
平成24年 4月 真町中学校と統合
平成26年 1月 平成25年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞（卓球）
平成27年 9月 体育館天井耐震化工事完了
平成28年 1月 平成27年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞（野球部）
平成29年 1月 平成28年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞（野球，剣道）
平成29年10月 開校70周年記念式典挙行
平成30年 1月 平成29年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞（剣道）
平成31年 1月 平成30年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞（剣道）
2月 校務用パソコン、コンピューター室パソコン更新
3月 絵画「秋日和・柏の大地」寄贈（伊藤光悦先生作 第21期卒業生寄贈）</td></tr>
</table>

北 進 中 学 校

所在：千歳市北栄1丁目2番6号
電話：0123-23-3439
創設：昭和37年4月1日
面積：敷地10,642㎡、建築2,853㎡

校長名	赤 沼 宏 樹	教頭名	種 村 泉
教職員数	教員9名	学級数 生徒数	知的障がい2学級　14名 自閉症・情緒障がい2学級　15名 計 4学級29名
教育目標	～21世紀を、自分のよさを発揮し、広く豊かに生きる子どもの育成～ ・たしかに学ぶ子（知）　・かかわりをもてる子（情）　・たくましく生きる子（意・体） 【重点目標】 1　カリキュラムの改善・充実 2　評価方法の工夫・改善 3　自己肯定感・自己有用感の向上 4　家庭・地域への情報発信の工夫 ※　開校 50 周年に向けて		
研究主題	わかる・できる喜びや達成感を感じられる授業をめざして ― ステージ表をいかした授業の工夫 ―		
特色ある教育活動	1　特別支援学級のみの学校としての特徴を活かした小中一貫教育の推進 2　自己決定や社会参加を見通した教育活動 （体験学習、ソーシャルスキルトレーニング-SST-） 3　個別の指導計画の作成とインフォームドコンセントおよびアカウンタビリティの推進 4　生徒一人一人の個性を生かし、かつ、大きな集団の良さを生かした教育活動 5　健常者との交流学習 6　他校の生徒を含めた教育相談・通級指導		
沿　革	昭和37年　4月　千歳中学校に特殊学級設置認可 昭和38年12月　北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転（現校舎） 昭和41年　4月　千歳中の北栄分校と称する 昭和46年　4月　北進中学校と称する 昭和47年　3月　北進中学校第1回卒業式 昭和49年 10月　開校15周年記念式典挙行 昭和53年　4月　情緒障害学級開設認可 平成　3年　3月　開級30周年・校舎増築・新体育館　完成記念式典挙行 平成14年　2月　開級40周年記念祝賀会、開校30周年記念祝賀会 平成18年　2月　北海道教育実践表彰受賞 10月　コンピューター入れ替え 平成23年12月　開校40周年をお祝いする会 平成24年　8月　花いっぱいコンクール優良賞受賞 平成26年　9月　花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成27年　9月　花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成28年　8月　体育館非構造部材耐震工事、花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成29年　8月　花いっぱいコンクール優秀賞　　校長住宅解体 平成30年　8月　花いっぱいコンクール優秀賞受賞		

青 葉 中 学 校

所在：千歳市豊里4丁目1番1号
電話：0123-23-4147
創設：昭和32年8月29日
面積：敷地25,601㎡、建築6,533㎡

校長名	小笠原 輝 幸	教頭名	佐々木 厚 志
教職員数	教員22名 養護 1名 事務 1名	学級数 生徒数	11学級 342名
教育目標	「21世紀の担い手として活躍する人間性豊かな生徒の育成」 すぐれた知性（知） 豊かな情操（徳） 強靭な意志と体力（体） 主体的な行動力（生きる力） 教育課題（本年度の重点課題） 『 日々「自己ベスト更新」のために意欲的に努力する生徒の育成 』		
研究主題	自ら学びに向かう生徒の育成 ～わかる授業づくりの実践を通して～		
特色ある教育活動	1 学力の向上に向けたとりくみ 学習規律および学習環境整備の徹底、家庭における学習習慣の確立と連携、数学科におけるTT・少人数指導、ICT機器の活用、授業展開の改善を通し、学力の育成を図っている。 2 自治活動 挨拶運動、各種募金活動、学習点検やGB（ゴミ バスターズ）クラブ、JJ(給食準備10分)キャンペーン、青葉の一等生（頑張る生徒を選出）、「いじめ撲滅宣言」採択など自治活動の高揚に向けた生徒会による取組を実施している。 3 コミュニティスクールを基盤とした小中連携・一貫教育の推進 ゴミ拾い活動や避難所運営訓練など地域と共に行う活動、家庭学習点検など地域の人材を生かした活動をすすめるとともに、小中一体となった学習規律の統一や学習環境の整備、教育課程の接続などをすすめている。		
沿 革	昭和32年 8月 千歳中学校より分離 新設開校 昭和47年 1月 真町中学校新設のため分離 昭和48年 1月 現在地に校舎移転 昭和50年 3月 富丘中学校新設のため分離 昭和56年 2月 生徒増に伴い増築校舎完成 平成 2年12月 プレハブ校舎完成 平成 5年 1月 コンピューター室完成 平成19年 6月 耐震工事、大規模改修工事 10月 開校50周年式典、祝賀会 平成21年 3月 全道PTA広報誌コンクール特別賞受賞 平成22年 4月 穂積雅子氏凱旋報告会（バンクーバー五輪銀メダリスト） 平成24年12月 毎日カップ「中学校体力づくり」コンテスト優秀賞 平成25年 7月 全道中体連陸上大会男子砲丸投げ優勝 8月 全国中体連陸上大会出場 大規模改修工事（体育館壁面・放送機材等） 平成26年 2月 全国中体連スケート大会女子1500m・3000m優勝 平成26年 4月 北海道教育委員会地域の学力向上支援事業拠点校 平成27年 2月 全国中体連スケート大会女子1500m・3000m準優勝 10月 ジュニアオリンピック女子共通ジャベリックスロー 出場 平成28年 2月 全国中体連スケート大会女子 500m 5位入賞 平成29年 1月 千歳市コミュニティスクール調査研究指定 12月 千歳市小中連携・一貫教育調査研究実践モデル校区指定 平成30年 4月 北海道教育委員会小中一貫教育支援事業指定校 平成31年 4月 新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業指定校		

東 千 歳 中 学 校

所在：千歳市幌加７３１番地の１１７
電話：０１２３-２１-３３００
創設：昭和２７年４月１日
面積：敷地２０,２３７㎡、建築1,９８６㎡

校長名	村 上 俊 司	教頭名	ー
教職員数	教職員6名	学級数 生徒数	2学級 9名
教育目標	◎確かな学力（知）　◎豊かな心（情） ◎責任ある行動（徳）　◎たくましい心身（体） 【重点目標】 深く考え学び、主体的に行動できる生徒の育成 思いやりの心を持ち、協力して活動する生徒の育成		
研究主題	自分の生き方を見つめ、よりよく生きようとする生徒の育成 ～かかわり合い、高め合う道徳の授業を通して～		
特色ある教育活動	・柏タイム（総合的な学習） ・地域の人たちとの校外清掃 ・地域の人を講師に迎え、全校道徳 ・学校農園作り ・花壇整備活動 ・小中合同運動会 ・パークゴルフ大会 ・地域保育所への訪問活動 ・アイヌ文化学習 ・地域の人を講師に迎え、陶芸教室 ・地域の人を講師に迎え、かるた大会 ・ボランティア活動(国際協力)		
沿　革	昭和２２年　６月　幌加中学校として幌加小学校に併設して開校 昭和２７年　４月　東千歳中学校として独立 昭和３１年１２月　屋内体育館完成 昭和３８年１２月　東雲寮完成 昭和４５年１２月　スクールバス運行開始・東雲寮閉鎖 昭和４９年　３月　校舎改築完成 昭和５１年　３月　防音講堂（屋体）完成 昭和５７年１１月　開校３０周年記念式典挙行 平成　４年　７月　開校４０周年記念事業、パークゴルフ場完成 平成　５年　４月　学校教育目標改定 ７月　学校給食センター東千歳調理場閉鎖 平成　６年　９月　ふるさとふれあいパークゴルフ場完成 平成　７年　２月　コンピューター教室設置 平成２０年　１月　第6回全道壁新聞コンクール「準大賞」受賞 平成２４年　８月　千歳市「花いっぱいコンクール」中学校の部名誉花壇賞受賞 １２月　平成２５年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール「農林水産大臣賞」受賞 平成２５年１２月　アートクラブグランプリin　ＳＡＫＡＩ　「文部科学大臣賞」「読売テレビ賞」受賞 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール「林野庁長官賞」「国土緑化推進機構理事長賞」受賞 平成２６年　３月　税のポスターコンクール　「北海道知事賞」「石狩振興局長賞」受賞 ７月　全国学校秀作美術展　「読売新聞社賞」「特選」受賞 １０月　馬の絵作品「北海道知事賞」受賞 １２月　国土緑化運動・育樹運動ポスターコンクール「農林水産大臣賞」受賞 平成２７年　１月　アートグランプリinSAKAI「毎日新聞社賞」受賞 ３月　玄関オートロック工事完了 ７月　全国学校秀作美術展　「文部科学大臣賞」受賞 １１月　校舎・講堂ボイラー入れ替え工事終了 平成２８年　３月　税のポスターコンクール　「北海道知事賞」「石狩振興局長賞」受賞 ６月　全国学校秀作美術展　「日本美術教育理事長賞」「特選」受賞 ９月　馬の絵作品「文部科学大臣賞」受賞 １１月　アートグランプリinSAKAI「堺市教育委員会教育長賞」受賞 平成２９年　１月　放送施設設備工事完了 ７月　我ら海の子展「山縣記念財団理事長賞」 １１月　アートグランプリinSAKAI「堺市文化振興財団賞」受賞 １２月　北海道赤レンガ建築賞30周年記念アートコンテスト「最優秀賞」受賞 平成３０年　３月　税のポスターコンクール　「北海道教育長賞」「石狩振興局長賞」受賞 ６月　リサイクルアート・エクスハイビジョン2018「優秀賞」受賞 ７月　馬の絵作品展「学校賞」受賞 ８月　我ら海の子展「金賞」受賞 １１月　牛やミルクのある風景画コンクール「北海道知事賞」「北海道教育長賞」受賞 緑化活動啓発ポスターコンクール「北海道教育長賞」受賞 平成３１年　３月　税のポスターコンクール　「北海道教育長賞」「石狩振興局長賞」受賞		

駒 里 中 学 校

所在：千歳市駒里９４５番地の６
電話：０１２３－２３－３２３７
創設：昭和３１年１月１日
面積：敷地３７,６５２㎡、建築2,３６８㎡

校長名	布 施　　裕	教頭名	宮 口 貴 裕
教職員数	教員 5名	学級数 生徒数	2学級 7名
教育目標	◎ やさしい子（広い視野をもち、ふるさとや人を愛する子ども） ◎ 進んで学ぶ子（進んで学び、自ら考え、行動する子ども） ◎ 元気な子（たくましい心と体をもった、元気な子ども 【重点目標】 ○「思いやりの心」と「基本的な生活態度・習慣」を育成します。 ○一人一人に応じたきめ細かな指導を行い、「確かな学力」を身につけさせます。 ○小中併置校の強みを生かし、「教師力」の向上に努めます。		
研究主題	「主体的に考え、表現できる子どもの育成」 ～各教科での言語活動の工夫・充実を通して～		
特色ある教育活動	◎ 学校環境を生かした教育活動の充実・推進 1 「総合的な学習の時間」～地域の中での学びをつくる （1）農園活動学習、農業体験学習 （2）地域の自然、産業、生活、文化等に関する内容に基づいた課題解決学習 （3）保小中の連携のもと、ＰＴＡ・地域が一体となって行う各種行事 2 ボランティア活動 （1）交通安全キャンペーン （2）学校祭・餅つき会への地域の皆様の招待活動 （3）リングプル、ペットボトルのキャップ、ベルマーク等の回収 3 体力づくり　（1）パークゴルフ　（2）部活動（バドミントン）		
沿　革	昭和２４年１２月　千歳中学校阿宇佐里分校設置 昭和３１年　１月　駒里中学校として独立・小学校併置 昭和３２年　７月　校旗・校歌を制定 昭和３６年１２月　屋内体育館落成 昭和５１年　８月　グラウンド整地工事完了 昭和５５年　２月　新校舎開設 昭和６１年１１月　中学校開校３０周年記念式典 平成　５年１０月　コンピューター室設置 平成　８年　９月　中学校開校４０周年記念式典 平成１０年１０月　全道へき地複式教育研究大会石狩大会会場 平成１７年　８月　校舎外壁大規模補修完了 平成１８年１１月　中学校開校５０周年記念式典、祝賀会開催 平成２１年　９月　交通安全キャンペーン２５年達成 平成２３年　８月　全国中体連バドミントン大会男子個人出場 平成２６年１０月　交通安全キャンペーン３０年達成 平成２７年　８月　全道中体連バドミントン大会男子個人出場 平成２８年１０月　小学校開校１１０周年・中学校開校６０周年記念行事実施 平成３０年　６月　コミュニティスクール導入		

富 丘 中 学 校

所在：千歳市あずさ1丁目2番1号
電話：0123-24-1188
創設：昭和50年4月1日
面積：敷地24,084㎡、建築7,041㎡

校長名	古 川 広 光	教頭名	赤 井 輝 人
教職員数	教員29名 養護 1名 事務 1名	学級数 生徒数	16学級 489名 (うち特別支援学級2学級11名)
教育目標	未来を見つめ、より高きを志向する生徒 一、賢く　　創造力豊かな生徒を育てる 一、豊かに　豊かな心をもち、感動できる生徒を育てる 一、強く　　自ら考え、正しく実行できる生徒を育てる 一、逞しく　身体をきたえ、逞しく成長する生徒を育てる 〈重点目標〉『ともに学び 伝えあい 高めあう生徒の育成 ～コミュニケーション力の向上と発揮～ 』		
研究主題	確かな学力の向上を目指した指導法の工夫 ～生徒が「できた」と言える授業実践～		
特色ある教育活動	1.「総合的な学習の時間」の体験学習 (1年：福祉体験 2年：農業体験 3年：幼稚園実習) 2. 明るく元気なあいさつ　　3. 豊かな感性を培う合唱 4. 花とみどりにあふれた環境づくり　5. ボランティア活動～町内会花壇、スノーバスターズ 6. 朝読書等の読書活動の充実　　7. 弁当の日の実施		
沿　革	昭和50年 4月 新設開校 昭和57年 3月 全日本リコーダーコンテスト重奏部門金賞受賞 昭和59年10月 開校10周年記念式典挙行 昭和60年 3月 全日本リコーダーコンテスト重奏・合奏両部門金賞受賞 平成 7年 1月 全国書初め展団体優勝 11月 開校20周年記念式典挙行 平成 8年 3月 全日本リコーダーコンテスト重奏・合奏両部門金賞受賞 平成13年 8月 男子卓球部団体戦全国大会出場 平成17年12月 開校30周年記念式典挙行 平成18年 8月 男子ソフトテニス部全国大会出場 平成19年 8月 男子ソフトテニス部・陸上部全国大会出場 平成20年 8月 剣道部全国大会出場 平成21年 3月 全日本リコーダーコンテスト三重奏部門金賞受賞 平成22年 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏・重奏の部金賞受賞 平成23年 2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 平成24年 3月 分離式 8月 女子卓球個人全国大会出場 平成25年 4月 特別支援学級開設 平成26年 7月 陸上男子砲丸投 全道優勝、全国大会ベスト8 7月 大規模改修工事・校内放送設備改修工事 (～2月) 10月 吹奏楽部 東日本学校吹奏楽大会 (群馬県前橋市) 出場 金賞 平成27年 7月 女子バレーボール部全道大会出場 8月 陸上男子四種競技 全道優勝・全国大会出場 11月 開校40周年記念式典挙行 平成28年 7月 女子バレーボール部、陸上部、バドミントン部、剣道部、水泳全道大会出場 平成29年 7月 陸上部、水泳全道大会出場 平成30年 1月 スケート全道大会出場 7月 陸上部、バドミントン部、水泳全道大会出場 平成31年 1月 スケート全道大会出場		

北 斗 中 学 校

所在：千歳市北斗5丁目1番1号
電話：0123-22-4151
創設：昭和59年4月1日
面積：敷地32,217㎡、建築6,380㎡

校長名	佐 藤　誠	教頭名	加 藤　暢
教職員数	教員15名　養護　1名 事務　1名	学級数 生徒数	9学級 302名
教育目標	自ら学び　心豊かに　たくましく　生き抜く人 ○すすんで学び行動する人 ○認め支え合い共に進む人 ○苦難に立ち向かい生き抜く人 【重点目標】「社会で生きる自己指導力の育成」 ○適切な言動を考え実行する ○自分のこととともに他者のためも考えて行動する		
研究主題	「自他のことを深く考え、たくましく社会を生き抜く生徒の育成」		
特色ある教育活動	1　地域や学校の特性を生かした教育課程の編成・実施 ・体験的な活動を取り入れた教育の推進　・職場体験学習や福祉体験学習の充実 2　生徒の自主性を育成する活動 ・生徒会や部活動を中心としたボランティア活動・活動の活性化を図る各種強調週間の取組 3　地域や保護者との連携を深め、地域に根ざした教育活動 ・北斗ふれあいサークル（地域ぐるみの子育て）活動 ・学校文化の地域発信「飛び出せ北斗中」と地域開放「見に来て北斗中」		
沿　革	昭和59年　4月　新設開校 昭和61年　2月　校舎増築完成 平成 元年11月　石教研学校課題研究発表会開催 平成　2年　3月　石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成　5年11月　コンピューター室設置 平成　6年11月　開校10周年記念式典挙行 8月　野球部全道大会第3位 平成　8年　6月　「北斗ふれあいサークル」開始 平成15年11月　開校20周年記念式典挙行 平成19年　1月　全道リコーダーコンテスト金賞 平成21年　3月　全日本リコーダーコンテスト合奏部門金賞受賞 平成22年　1月　全道リコーダーコンテスト金賞 平成23年　1月　全道リコーダーコンテスト金賞（東日本大震災のため全国大会中止） 8月　男子バスケットボール部全道大会第3位 平成24年　1月　全道リコーダーコンテスト金賞 3月　全日本リコーダーコンテスト合奏の部銀賞 9月　「北斗中防災ナイト」実施 平成25年　1月　全道リコーダーコンテスト合奏の部金賞・道新賞 2月　全国スケート大会出場 3月　全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞・花村賞 8月　全道バレーボール大会男子3位 11月　千歳市文化奨励賞音楽部受賞 開校30周年記念千歳市学校課題研究発表会 平成26年　3月　全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞 平成27年　3月　全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞・花村賞・5年連続出場賞 平成28年　3月　全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞 平成29年　3月　全日本リコーダーコンテスト合奏の部銀賞 平成30年　1月　全道リコーダーコンテスト合奏の部銀賞 平成31年　1月　全道リコーダーコンテスト合奏の部金賞		

向 陽 台 中 学 校

所在：千歳市若草5丁目5番地
電話：0123-28-4286
創設：昭和62年4月1日
面積：敷地28,143㎡、建築5,555㎡

校長名	安 保 幸 司	教頭名	林　　稔 晃
教職員数	教員　15名　　養護　1名 事務　1名	学級数 生徒数	9学級 207名 （うち特別支援学級2学級2名）
教育目標	「真理を求め　心豊かに　たくましく」 1　知性を磨き　創る人　《知》　　2　広く絆を　　結ぶ人　《情》 3　理想を求め　励む人　《意》　　4　気高く強く　生きる人《体》 5　すすんで道を　拓く人　《労》 【重点目標】　*「命」を輝かせ合い、「誇り」を持つ挑戦！～学ぶ価値を見いだし、共感して自己実現する生徒の育成～*		
研究主題	「豊かな心を育む道徳科」 ～自己を見つめ、多面的・多角的に考える授業を通して～		
特色ある教育活動	1　確かな学力の育成 ○　数学科における TT 指導及び習熟度別少人数指導を通じた個に応じた指導 2　勤労生産活動およびボランティア活動 ○　地域環境整備奉仕活動、校内美化活動 ○　PTA と連携した資源回収活動 ○　地域の除雪ボランティア活動 3　花いっぱい運動 ○　学校花壇の整備と管理 4　保護者・地域の協力による文化活動 ○　地域交流（泉沢向陽台地区文化祭への制作作品の展示や合唱での出演） 5　朝学習と朝読書活動 6　地域の施設と人材を活用した教育活動 ○　地域在住の箏の師範との TT 授業 ○　地域にあるスキー場を利用して地域在住のスキー指導員などの方々との TT 授業 7　Life学習～3年間を通したキャリア教育 1年生：地域人材を生かした職業調査　2年生：地域との連携による職場体験学習 3年生：地域に根ざした職業体験学習		
沿　　革	昭和62年　開校式　7学級273名 平成　2年　増築校舎完成 普通教室4、職員室等 計11室 平成　5年　「石狩管内教育実践奨励表彰」受賞 平成　6年　コンピューター教室設置、ラグビー部全道優勝 平成　9年　石教研・千歳振「学校課題研究発表」 開校10周年記念式典挙行 平成11年　「北海道教育実践表彰」受賞 平成13年　全国読書活動実践校　文部科学大臣賞受賞 平成18年　開校20周年合唱発表会（市民文化センター大ホール） 平成20年　千歳フィルハーモニー管弦楽団参加 平成21年　校舎大規模改修工事（外壁、屋上、非常階段、職員室、教室、玄関、体育館床） 千歳フィルハーモニー管弦楽団参加 平成22年　校舎大規模改修工事（体育館、職員・生徒玄関戸） 千歳フィルハーモニー管弦楽団・ピアニスト鶴喰由美氏参加 平成26年　特別支援学級開設　ボイラー改修工事 平成27年　校舎等大規模改修工事（体育館非構造部材改修、トイレ、放送施設、教室黒板） 全国中体連スケート大会出場 平成29年　開校30周年記念式典挙行 平成30年　全国中学生人権作文コンテスト　佳作		

勇 舞 中 学 校

所在：千歳市勇舞3丁目4番2号
電話：0123-40-0051
創設：平成24年4月1日
面積：敷地32,285㎡、建築7,807㎡

校長名	多 田 貴 典	教頭名	松 橋 辰 吾
教職員数	教員31名　養護　1名 事務　1名	学級数 生徒数	19学級 693名
教育目標	【開校の理念（校　訓）】 **きらやかに　しなやかに** 【学校経営の基本方針】 **生きる力をはぐくみ、潤いと活力に満ちた学校の創造** 【学校教育目標】 **瞳をきらめかせ　希望に満ちた未来を拓く** ○思いやりの心と豊かな人間性をはぐくむ　（人間力） ○高い志と確かな学力をはぐくむ　（知　力） ○たくましい身体と実現する能力をはぐくむ　（実践力） 【重点目標】 **豊かな心に根ざした確かな学力** 【年度の重点】 **生徒の主体性・自主性をはぐくむ学びと指導**		
研究主題	主体的・協働的に学習に取り組む生徒の育成 ～　思考・判断・表現の時間を保障した指導過程の工夫改善　～		
特色ある教育活動	1　学ぶ場面の充実 （1）個に応じた補充学習・自学自習活動等の充実（3分前学習、昼の学習会の実施） （2）ICT機器を積極的に活用した授業の充実 （3）地域と連携した教育活動の推進（ライフプラン講習、幼稚園実習等、図書室開放） 2　自ら考え行動できる生徒の育成 （1）ノーチャイム、朝読書、3分前学習の実践 （2）いじめ根絶をめざしたピンバッチ配布「Heart to Heart」（生徒会活動） （3）リサイクル活動（リングプル、ボトルキャップ、インクカートリッジの回収） 3　小中連携・一貫教育の充実 （1）小中連携・一貫教育調査研究実践モデル事業の開始		
沿　　革	平成24年　開校式　13学級426名 開校記念式典　～　校歌・学校教育目標　制定 平成25年　第2回入学式176名入学　14学級　477名 卓球カデット全国大会男子個人出場 平成26年　第3回入学式177名入学　15学級　511名 全国中体連剣道男子団体出場 平成27年　第4回入学式232名入学　17学級　591名 全国中体連陸上男子棒高跳び出場 石狩管内学校課題研究発表会 平成28年　北海道教育庁石狩教育局教育実践表彰受賞 第5回入学式215名入学　18学級　627名 平成29年　第6回入学式230名入学　19学級　676名 アンカレッジ市ミアーズ中学校交流団歓迎セレモニー 全国中体連陸上男子棒高跳び出場 卓球カデット全国大会女子個人出場 平成30年　第7回入学式214名入学　19学級　660名 講堂耐震工事完了、校内パソコン更新		

3　幼稚園

⑴ 新制度を選択し、幼稚園のまま「施設型給付」を受ける***幼稚園***

学校法人/幼稚園	所在地/電話	認可定員（就園児数）	預かり保育	通園バス	満3歳児入園	2歳児受入	土曜日	給食
千歳栄光学園 千歳幼稚園	千歳市清水町4丁目25番地 TEL　23-2331	100 (92)	○	○	○	○	全休	×
千歳学園 メリー幼稚園	千歳市末広5丁目1番6号 TEL　23-3329	240 (231)	○	○	○	○	全休	○ (週2)
千歳学園 第2メリー幼稚園	千歳市富丘4丁目13番20号 TEL　23-5735	270 (261)	○	○	○	○	全休	○ (週2)
富士学園 千歳わかば幼稚園	千歳市富士2丁目5番6号 TEL　26-0183	85 (76)	○	○	○	○	全休	○ (週3)
富士学園 第2わかば幼稚園	千歳市勇舞1丁目4番1号 TEL　23-2200	190 (144)	○	○	○	○	全休	○ (週3)
つくし学園 千歳つくし幼稚園	千歳市高台2丁目3番11号 TEL　23-0203	265 (254)	○	○	×	○	全休	○ (週3)

⑵ 従来どおり、「施設型給付」を受けない***幼稚園***

学校法人/幼稚園	所在地/電話	認可定員（就園児数）	預かり保育	通園バス	満3歳児入園	2歳児受入	土曜日	給食
西越学園 くるみ幼稚園	千歳市幸福1丁目847番地 TEL　23-4559	230 (212)	○	○	○	×	全休	○ (週5)
千歳青葉学園 千歳青葉幼稚園	千歳市青葉5丁目13番7号 TEL　23-3998	180 (153)	○	○	○	○	預り有	○ (週4)

4　認定こども園

⑴ 新制度を選択し、認定こども園になって「施設型給付」を受ける***認定こども園***

学校法人等/認定こども園	所在地/電話	開園時間	定　員	受入年齢
千歳市立 認定こども園ひまわり	千歳市新富2丁目4番60号 TEL　23-2894	7:00～18:00 (延長有)	110	1歳 ～5歳児
千歳市立 認定こども園つばさ	千歳市花園4丁目3番1号 TEL　24-9200	7:00～18:00 (延長有)	110	生後6か月 ～5歳児
千歳洋翔会 北斗認定こども園	千歳市北斗5丁目6番3号 TEL　22-5983	7:00～18:00 (延長有)	110	生後6か月 ～5歳児
千歳洋翔会 アリス認定こども園	千歳市勇舞1丁目1番1号 TEL　24-7000	7:00～18:00 (延長有)	130	生後6か月 ～5歳児
浅利教育学園 認定こども園千歳春日保育園	千歳市春日町2丁目1番9号 TEL　27-5535	7:00～18:00 (延長有)	110	生後6か月 ～5歳児
つくし学園 あずさ　認定こども園	千歳市あずさ5丁目21番1号 TEL　22-5588	7:00～18:00 (延長有)	110	生後6か月 ～5歳児
三溝学園 認定こども園北陽幼稚園・第2北陽保育園	千歳市北陽8丁目2番8号 TEL　49-3100	7:00～18:00 (延長有)	115	生後6か月 ～5歳児
千歳栄光学園 認定こども園千歳第2幼稚園	千歳市新富1丁目6番21号 TEL　23-3586	7:00～18:00 (延長有)	166	生後6か月 ～5歳児
恵愛会 住吉認定こども園	千歳市豊里3丁目9番5号 TEL　24-9368	7:00～18:00 (延長有)	100	2歳 ～5歳児
つくし学園 認定こども園つくし保育園	千歳市富丘1丁目5番13号 TEL　40-1106	7:00～18:00 (延長有)	120	生後6か月 ～5歳児
つくし学園 認定こども園向陽台つくし幼稚園	千歳市若草5丁目3番地の1 TEL　28-2123	7:00～18:00 (延長有)	165	生後6か月 ～5歳児
こどもの杜 認定こども園おひさま	千歳市みどり台南2丁目12 TEL　29-3311	7:00～18:00 (延長有)	90	生後6か月 ～5歳児
千歳洋翔会 あんじゅ認定こども園	千歳市春日町5丁目12番6号 TEL　23－8015	7:00～18:00 (延長有)	80	生後6か月 ～5歳児

5　高等学校

学　　校　　名 所　　在　　地 電　　　　話	北海道千歳高等学校 千歳市北栄1丁目4番1号 (電話0123-23-9145)
校　長　名	渡 辺 文 貴
学　級　数 生　徒　数	(全日制)　普　通　科 国際教養科 国際流通科 計　27学級　1,024名 (定時制)　普通科 4学級　　52名
沿　　革	昭和23年10月30日　道立野幌高等学校千歳分校として設立認可 昭和25年　3月31日　北海道月寒高等学校千歳分校となる 昭和25年　4月30日　千歳町立北海道千歳高等学校設置許可 昭和29年　4月　1日　道立移管 昭和33年10月　4日　創立10周年記念式典挙行 昭和43年　9月22日　創立20周年記念式典挙行 昭和53年　9月24日　創立30周年記念式典挙行 昭和62年　3月31日　定時制商業科閉科 平成　6年11月　8日　大韓民国空港高校姉妹提携 平成　7年　7月12月　大韓民国空港高校と相互交流開始 (平成10年及び11年一時中断) 平成11年　4月　1日　国際教養科・国際流通科開設 平成11年11月　6日　創立50周年・校舎改築落成記念式典挙行 平成12年　9月　アメリカ合衆国ジェームズリバー高校と相互交流開始 平成14年　3月31日　第2体育館完成 平成15年　4月　1日　全日制普通科1間口減 平成20年　6月～ 平成21年　2月　創立60周年記念事業 (記念看板設置、航空写真撮影、校歌CD作成) 平成22年　9月　太陽光発電設備工事完了

学校名 所在地 電話	 北海道千歳北陽高等学校 千歳市北陽2丁目10番53号 (電話0123-24-2818)
校長名	渡邉祐美子
学級数 生徒数	全日制普通科　17学級　576名
沿革	昭和48年 4月 1日 開校 昭和51年 7月15日 文部省教育課程研究開発校指定 昭和57年11月13日 創立10周年記念式典挙行 平成 4年10月18日 創立20周年記念式典挙行 平成 7年 2月13日 道路交通量調査実践により北海道社会貢献賞受賞 平成14年11月 9日 創立30周年記念式典挙行 平成15年 4月 1日 2学期制導入 平成16年 4月 1日 学校目標改訂 平成18年 4月 1日 校訓制定 平成19年 4月 2日 文部科学省キャリア教育調査研究推進校指定 平成20年12月25日 千歳科学技術大学との連携･協力に関する協定 平成21年 9月14日 平成23年度よりフィールド制導入決定 平成23年 4月 1日 平成23年度入学生よりフィールド制実施 平成24年 5月11日 青少年赤十字(JRC)全校加入 平成26年 6月 6日 消費者教育の推進に関する研究指定(文部科学省)

学　校　名 所　在　地 電　　話	 北海道千歳高等支援学校 千歳市真々地2丁目3番1号 (電話0123-23-6681)
校　長　名	小　嶋　義　勝
学　級　数 生　徒　数	(全日制) 生　産　技　術　科 環境・流通サポート科　　計　9学級　66名
沿　　革	平成25年　4月　1日　開校 4月15日　第1回入学式(環境・流通サポート科18名、生活技術科9名、計27名入学) 6月15日　開校式 11月16日　第1回学校祭 平成26年　3月24日　修了式 4月　9日　第2回入学式(環境・流通サポート科16名、生活技術科9名、計25名入学) 11月15日　第2回学校祭 平成27年　3月24日　修了式 4月　9日　第3回入学式(環境・流通サポート科16名、生活技術科8名、計24名入学) 11月14日　第3回学校祭 平成28年　3月　5日　第1回卒業証書授与式(環境・流通サポート科17名、生活技術科9名、計26名卒業) 3月24日　修了式 4月11日　第4回入学式(環境・流通サポート科17名、生活技術科8名、計25名入学) 平成29年　3月　4日　第2回卒業証書授与式(環境・流通サポート科14名、生活技術科9名、計23名卒業) 3月24日　修了式 4月11日　第5回入学式(生産技術科8名、環境・流通サポート科15名、計25名入学) ※平成29年度公立特別支援学校配置計画を受け、生活技術科を生産技術科へ学科を再編。 平成30年　3月　3日　第3回卒業証書授与式(環境・流通サポート科12名、生活技術科8名、計20名卒業) 3月23日　修了式 4月10日　第6回入学式(生産技術科8名、環境・流通サポート科16名、計24名入学) 平成31年　3月　3日　第4回卒業証書授与式(環境・流通サポート科16名、生活技術科8名、計24名卒業) 3月22日　修了式 4月　9日　第7回入学式(生産技術科8名、環境・流通サポート科12名、計20名入学)

6　大学･専修学校

学校名	所在･電話	学科･定員等
公立千歳科学技術大学	〒066-8655 千歳市美々758－65 (電話0123-27-6001)	■理工学部　　240名 応用化学生物学科 電子光工学科 情報システム工学科 ■大学院 光科学研究科 光科学専攻　博士前期課程20名 博士後期課程　3名
北海道千歳リハビリテーション大学	〒066-0055 千歳市里美2丁目10番 (電話0123-28-5331)	■健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻　　80名 作業療法学専攻　　30名
日本航空専門学校	≪新千歳空港キャンパス≫ 〒066-8622 千歳市泉沢1007番地の95 (電話0123-28-1155)	■航空整備科 3年制 106名(男女) 一等航空整備士養成コース 二等航空整備士コース 二等航空運航整備士コース 技術コース ■空港技術科 2年制 80名(男女) グランドハンドリング ■国際航空ビジネス科 80名(男女) エアラインコース 2年制 エアライン･留学コース 3年制

⑸ 就学の助成

1 就学援助

経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費や給食費等の就学に必要な経費の一部援助を行っています。

⑴ 学用品費等援助

区分＼年度		平成29年度実績		平成30年度実績		備考
		人員(人)	金額(円)	人員(人)	金額(円)	
小学校	学用品費･通学用品費･校外活動費	864	12,343,741	827	11,778,899	校外活動費は宿泊を伴わないもの
	体育実技用具費	275	3,302,690	267	3,166,680	
	新入学児童生徒学用品費等	231	9,378,600	96	4,737,600	平成30年度入学者から年度前支給
	修学旅行費	177	3,424,904	143	2,636,527	要保護を含む
	校外活動費	139	466,158	147	507,300	宿泊を伴うもの
	学校給食費	864	38,959,090	826	37,725,627	
	クラブ活動費	12	13,521	16	10,203	
	生徒会費	0	0	46	10,880	
	ＰＴＡ会費	629	1,919,900	687	1,856,530	
	計	―	69,808,604	―	62,430,246	
中学校	学用品費･通学用品費･校外活動費	504	12,808,985	474	11,999,013	校外活動費は宿泊を伴わないもの
	体育実技用具費	157	4,967,480	160	5,049,670	
	新入学児童生徒学用品費等	311	14,741,400	146	8,320,400	平成30年度入学者から年度前支給
	修学旅行費	180	12,174,136	153	10,846,144	要保護を含む
	校外活動費	149	872,517	133	772,586	宿泊を伴うもの
	学校給食費	503	26,762,228	473	25,123,431	
	クラブ活動費	463	2,781,395	457	3,070,988	
	生徒会費	488	741,230	465	797,342	
	ＰＴＡ会費	459	1,237,749	429	1,072,469	
	計	―	77,087,120	―	67,052,043	
合計		―	146,895,724	―	129,482,289	

⑵ 医療費援助

区分＼年度		平成29年度実績		平成30年度実績		備考
		人員(人)	金額(円)	人員(人)	金額(円)	
小学校	要保護児童	61	547,910	39	243,210	
	準要保護児童	1,164	2,567,080	975	2,033,630	
	計	1,225	3,114,990	1,014	2,276,840	
中学校	要保護生徒	23	292,380	14	98,230	
	準要保護生徒	350	895,660	348	827,980	
	計	373	1,188,040	362	926,210	
合 計		1,662	4,303,030	1,376	3,203,050	

2 特別支援教育助成

⑴ 特別支援教育就学奨励費・通学費助成

小学校及び中学校の特別支援学級に通学する児童生徒の保護者に対して、経済的な負担の軽減と特別支援教育の振興を図るために就学に必要な経費の一部援助を行っています。

区分＼年度		平成29年度実績		平成30年度実績		備考
		人員(人)	金額(円)	人員(人)	金額(円)	
小学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	60	320,465	75	360,949	校外活動費は宿泊を伴わないもの
	体育実技用具費	14	94,132	12	40,077	
	新入学児童生徒学用品費等	7	69,929	15	273,077	
	修学旅行費	10	99,740	14	129,500	
	校外活動費	6	10,860	24	28,820	宿泊を伴うもの
	学校給食費	63	1,429,383	76	1,706,092	
	通学費	79	359,342	84	312,844	
	計	―	2,383,851	―	2,851,359	
中学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	33	306,810	32	250,665	校外活動費は宿泊を伴わないもの
	体育実技用具費	6	58,811	0	0	
	新入学児童生徒学用品費等	10	117,750	10	143,043	
	修学旅行費	14	344,175	9	255,015	
	校外活動費	2	6,100	4	12,200	宿泊を伴うもの
	学校給食費	34	885,875	31	798,158	
	職場実習・交流学習交通費	3	840	5	9,050	
	通学費	5	48,389	6	81,212	
	計	―	1,768,750	―	1,549,343	
	合計	―	4,152,601	―	4,400,702	

⑵ 特別支援学校等就学援助費

特別支援学級等に就学する児童生徒の完全就学を図るため、その保護者に対して年間一定額を支給しています。

区分＼年度		平成29年度実績		平成30年度実績		備 考
		人員(人)	金額(円)	人員(人)	金額(円)	
小学校	特別支援学級	174	5,970,000	214	6,906,000	
	特別支援学校等	10	515,000	14	795,000	
	計	184	6,485,000	228	7,701,000	
中学校	特別支援学級	57	2,672,000	46	2,104,000	
	特別支援学校等	8	576,000	11	672,000	
	計	65	3,248,000	57	2,776,000	
合計		249	9,733,000	285	10,477,000	

3 奨学金制度

経済的理由により、修学が困難な学生、生徒に対し、奨学基金をもとに、奨学金を支給しています。

⑴ 資格要件

ア 千歳市内に住所を有すること
イ 高等学校、高等専門学校、専修学校、大学に在学中、又は進学を希望するもの
ウ 学資に乏しいこと
エ 学業優良及び素行善良であること
オ 健康体で修学可能であること

⑵ 奨学金額

区 分	対 象	金 額
高校生等	高校生 高等専門学校生（1年生から3年生） 専修学校生（修業年限が3年以上の高等課程）	月額7,000円以内
大学生等	大学生（短期大学含む） 高等専門学校生（4年生、5年生及び専攻科） 専修学校生（修業年限が2年以上の専門課程）	月額10,000円以内

⑶ 奨学基金現在高

90,963,142円（平成31年3月31日現在）

⑷ 支給実績

区分＼年度	平成29年度			平成30年度		
	応募者(人)	受給者(人)	支給金額(円)	応募者(人)	受給者(人)	支給金額(円)
高校生	82	60	5,012,000	87	60	5,005,000
大学生	46	25	2,960,000	47	25	3,000,000
合 計	128	85	7,972,000	134	85	8,005,000

4　私立幼稚園助成

⑴　燃料費･光熱水費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担を軽減するため、燃料費･光熱水費として、園児１人当たり年額5,500円を補助しています。

平成29年度		平成30年度	
対象園児数	補助金交付額	対象園児数	補助金交付額
370人	2，035，000円	361人	1，985，500円

⑵　建設費等利子補給補助金

幼稚園を新設、増設、改築する場合、借入金に対する返済利息の一部を利子補給金として補助している。補助金額は、借入元金の当該年度当初残額（ただし、建設分は300万円、防音分は1,000万円を限度とする。）の3%（借入金利が3%未満の場合はその率）、10年間を限度としています。

区分	平成29年度		平成30年度	
	対象幼稚園	補助金交付金額	対象幼稚園	補助金交付金額
新築	―	―	―	―
増築	―	―	―	―
改築	―	―	―	―

⑶　障がい児教育補助金

心身障がい児を就園させる幼稚園に対し、障がい児１人当たり年額5万円を補助しています。
（ただし、1園当たり15万円を限度とする。）

平成29年度			平成30年度		
対象幼稚園	対象園児数	補助金交付額	対象幼稚園	対象園児数	補助金交付額
5園※1	13人	650，000円	5園※2	9人	450，000円

※1　幼稚園4園、認定こども園2園　　※2　幼稚園3園、認定こども園2園

⑷　私立幼稚園連合会研修費補助金

私立幼稚園連合会が実施する教員研修に対して、参加教員１人当たり5,500円を限度として補助しています。

平成29年度		平成30年度	
参加教員数	補助金交付額	参加教員数	補助金交付額
119人	646，691円	110人	603，685円

⑸　就園奨励費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担の軽減と公･私立間の保護者負担の較差是正を図るため、入園料･保育料の軽減を行った幼稚園に対し、補助金を交付しています。

区分	平成29年度		平成30年度	
	対象幼児数	補助金交付額	対象幼児数	補助金交付額
幼稚園児	341人	41，919，000円	347人	46，991，900円
2歳児受入	186人	11，556，200円	179人	11，811，500円

〔6〕学 校 保 健

1 児童生徒の体位

（平成30年度）

			身長 cm		体重 kg	
			男	女	男	女
小学生	6歳	千歳市	116.4	115.7	21.6	20.8
		全　道	116.3	115.5	21.8	20.9
		全　国	116.5	115.6	21.4	20.9
	7歳	千歳市	122.7	121.1	24.5	23.5
		全　道	122.8	122.0	24.5	24.0
		全　国	122.5	121.5	24.1	23.5
	8歳	千歳市	128.0	127.2	27.7	26.2
		全　道	129.4	127.8	28.7	27.1
		全　国	128.1	127.3	27.2	26.4
	9歳	千歳市	133.5	133.0	31.4	30.2
		全　道	133.9	133.2	31.7	30.2
		全　国	133.7	133.4	30.7	30.0
	10歳	千歳市	139.4	140.4	34.7	34.2
		全　道	139.3	141.5	35.2	35.5
		全　国	138.8	140.1	34.1	34.1
	11歳	千歳市	148.4	149.7	39.8	39.5
		全　道	146.0	147.3	40.0	40.2
		全　国	145.2	146.8	38.4	39.1
中学生	12歳	千歳市	153.2	151.7	45.5	44.5
		全　道	153.7	152.3	46.7	44.9
		全　国	152.7	151.9	44.0	43.7
	13歳	千歳市	160.4	154.9	50.2	47.7
		全　道	160.6	155.2	51.6	48.1
		全　国	159.8	154.9	48.8	47.2
	14歳	千歳市	165.5	155.8	54.8	49.9
		全　道	166.1	156.7	57.1	50.4
		全　国	165.3	156.6	54.0	49.9

2 災害共済給付

児童生徒が、学校管理下において怪我をした場合、独立行政法人日本スポーツ振興センターから災害共済給付金が支払われます。

（単位：件数）

		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
平成29年度	小学校	96	97	102	94	389
	中学校	139	148	165	144	596
	計	235	245	267	238	985
平成30年度	小学校	105	93	102	115	415
	中学校	92	170	180	146	588
	計	197	263	282	261	1,003

〔7〕学 校 給 食

1 施設の概要

千歳市学校給食センター
所 在 地　千歳市流通3丁目1番地の11
電　　話　0123-23-3591 FAX 23-3599
開　　設　平成5年8月
建築構造　鉄骨造2階建
敷地面積　9,024.42㎡
建物面積　2,972.85㎡

2 学校給食の状況

学校給食は「学校給食法」等に基づき、昭和39年に共同調理方式を採用し、現在、週5回（米飯3回、パン・麺類各1回）の給食を提供しています。

現代の食生活における問題点として、偏った食事内容からくるカルシウムや微量栄養素の不足、脂肪・糖分・塩分等の過剰摂取による健康問題などがあることから、学校給食では、家庭における食事と併せて、成長期にある児童生徒の1日に必要な栄養量を摂取できるよう、文部科学省が定めている「学校給食実施基準」に基づき、献立を作成しています。

また、学校給食における「地産地消」の取組として、9月から11月の使用予定野菜のうち、千歳産で供給可能な場合は千歳産を使用し、米飯は平成13年1月から千歳・恵庭産の白米を使用しており、角食パンは、平成28年度から千歳産の小麦を使用しています。

3 運営方法

学校給食センターの適正な運営を図るため、「千歳市学校給食センター運営審議会」を設置し、運営全般にわたる審議を行っています。

なお、調理、配膳、施設維持管理業務については、業務実施に係る民間のノウハウを活用し、より安定した給食を提供するため、平成21年4月1日から委託を行っています。

千歳市学校給食センター運営審議会委員

所 属 団 体	氏 名
泉沢小学校校長	大村　正俊
駒里小中学校教頭	宮口　貴裕
信濃小学校教頭	阿部　恵子
保護者	喜多　康裕
保護者	街道　美恵
千歳医師会・学校医	石坂　明人
民生委員児童委員連絡協議会	中島　安佐子
千歳消費者協会	秦　　由基
保健福祉部健康づくり課長	藤田　聖樹

(平成31年4月1日現在)

4 給食校及び配食数

学校数			配食数				米飯回数
総 数	小学校	中学校	総 数	小学校	中学校	教職員	週3回
26	17	9	8,639	5,442	2,668	529	

（令和元年5月1日現在）

5 給食費

	主食（円）	副食（円）	牛乳（円）	合計 1食単価	給食費（円）		年間給食回数
					月額4月～2月 3月	年間	
小学校（低）	65	142	41	247	3,810 3,785	45,695	185回の場合
小学校（高）	70	155	41	266	4,110 4,000	49,210	
中学校	79	184	41	304	4,690 4,650	56,240	

（平成26年4月1日改定）

6 栄養基準

			エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン A (μgRE)	ビタミン B1 (mg)	ビタミン B2 (mg)	ビタミン C (mg)
小学校	低学年	学校給食摂取基準	530	※	290	2.5	170	0.30	0.40	20
		千歳市の献立	636	25.3	328	2.4	233	0.48	0.48	21
	高学年	学校給食摂取基準	780	※	360	4.0	240	0.50	0.50	25
		千歳市の献立	702	28.1	343	2.7	263	0.61	0.51	23
中学校		学校給食摂取基準	830	※	450	4.0	300	0.50	0.60	30
		千歳市の献立	778	30.6	331	3.2	276	0.65	0.54	26

※たんぱく質の学校給食摂取基準は学校給食による摂取エネルギー全体の13%～20%

〔8〕生徒指導・青少年指導

1 教育相談

千歳市では、相談電話・来訪又は訪問などにより、小中学校と連携して児童生徒の諸問題に関する相談を行っています。

⑴ 青少年課における相談業務対応種別件数

（単位：件）

相談種別	平成29年度	平成30年度	増減
電話で対応した相談	51	68	＋17
来訪で対応した相談	181	182	＋1
訪問で対応した相談	36	43	＋7
その他の方法で対応した相談	0	0	0
合　計	268	293	＋25

※相談内容は、不登校（221件）、学校生活（49件）、家庭生活（11件）、いじめ（11件）、問題行動（1件）、その他（0件）となっている。
※保護者からの相談が77.7％を占めている。
※その他の方法で対応した相談については、学校や関係機関との調整をした相談件数としている。

⑵ スクールカウンセラー配置状況

児童生徒の問題行動の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、専門的な知識に基づく指導・助言ができる、スクールカウンセラーによる教育相談を実施しています。

① 北海道スクールカウンセラー配置校
千歳中、北進小中、青葉中、駒里小中、富丘中、北斗中、向陽台中、勇舞中、日の出小、祝梅小、北陽小、末広小
② 千歳市スクールカウンセラー配置校
千歳第二小、信濃小、高台小、桜木小、泉沢小、緑小、千歳小、北栄小、向陽台小
③ スクールカウンセラーによる教育相談は、教育委員会青少年課相談室において月2回実施

⑶ 心の教室相談員配置状況

相談体制の充実を図るため、小学校13校に心の教室相談員を配置し、児童の悩み　やストレスを和らげ問題行動の未然防止を図ります。

① 心の教室相談員配置校
千歳小、北栄小、末広小、緑小、千歳第二小、日の出小、信濃小、高台小、祝梅小、桜木小、向陽台小、北陽小、泉沢小

2 不登校児童生徒

不登校児童生徒については、学校と連携するとともに適応指導教室（「おあしす」）への通級を働きかけています。

(1) 不登校児童生徒数（文部科学省の児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査結果）

（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	増減
小学校	15	25	＋10
中学校	120	112	－8
計	135	137	＋2

※上記数値は、文部科学省の不登校の定義で連続又は、断続して年間30日以上休んだことがあった児童生徒数（病気・けがは除く）を示している。

(2) 適応指導教室「おあしす」

① 設置の目的

不登校児童生徒の増加に対応するため、平成9年6月に千歳市青少年会館内（東雲町1丁目10番地）に学校適応指導教室『おあしす』を開設しています。

ここでは、児童生徒の個々の状態に応じた教育相談を行うとともに、集団的な生活習慣や学習、集団活動等において指導・援助を行い、自立や学校生活への復帰を目指しています。

② 指導の方針

ア 指導員と児童生徒の信頼関係を作る中で、生活面での支援を行う。

イ 体験的活動や集団活動を通して、コミュニケーション能力や集団生活における適応能力の向上を図る。

ウ 家庭や在籍校、各関係機関（子育て推進課、児童相談所等）との連携を図りながら、学校復帰への意欲が高まるよう指導・援助に努める。

③ 入級対象児童生徒

市内の小中学校に在籍し、主に心理的要因や集団不適応によって、不登校の状態にある児童生徒。

④ 通級児童生徒数 (見学通級は含まず)

（単位：人）

	平成29年度	平成30年度
小学校	5	6
中学校	18	29
計	23	35

⑤ 開設時間

・月～木 9：30～14：30

・金 9：30～12：00

⑥ 活動内容

ア 個別活動:児童生徒が立てた計画に従って活動し、必要に応じてスタッフの援助を受ける。

イ 学習時間:個々にあった学習内容で、毎週月～木曜日の10時から学習の習慣づけや学ぶことの楽しさを実感させ、学習に積極的に取り組む力を育てる。

ウ マイタイム：「目的を持って活動する」ことを目指し、毎週金曜日の10時から11時の1時間、事前に立てた目標を実行する。

エ 集団活動:児童生徒が状態に応じて、グループで多様な行動をすることによって、心を開放するとともに対人関係を広げ、集団への適応を促進する。

3　いじめに関する取組

千歳市では、いじめの問題に関する指導の方針として「いじめは人間として絶対に許されない」という確固たる認識と毅然とした態度で取り組み、学校、家庭、関係機関及び地域が一体となって、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めることとしています。

平成25年9月に施行された「いじめ防止対策推進法」、また、これに伴い国が平成25年10月に策定した「いじめの防止等のための基本的な方針」の内容を踏まえ、平成26年3月に「千歳市いじめ防止基本方針」を策定しました。

さらに、各学校においては、平成26年6月末に「学校いじめ防止基本方針」を策定したところであり、この基本方針に基づき、かけがえのない存在である児童生徒一人一人が、元気で明るく学び、健やかに成長していくことができるよう、いじめの防止等の対策に取り組んでいきます。

また、子ども達や父母、地域住民、教育関係者等が一体となって取組む行事として、平成9年度から、いじめの防止に向け共通理解を図ることを目的に、なかよしさわやかＤＡＹいじめシンポジウムを開催しています。

※平成30年度　なかよしさわやか DAY いじめシンポジウム開催状況
日　時：平成30年11月24日（土）9：30～12：00
会　場：千歳市民文化センター中ホール
参加者：318名

(1)　いじめ問題に関する調査結果（文部科学省の児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果）

（単位：件）

	平成28年度	平成29年度	増減
いじめ	36	87	＋51

4　各種事故

一般事故や交通事故及び非行事故については、小中学校からその都度報告を受け、学校での指導内容を確認し、防止に向けた取組を進めています。

(1)　一般事故・交通事故の状況

（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	増減
交通事故	6	8	＋2
一般事故	18	20	＋2

(2)　非行事故の状況

（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	増減
小学校	4	5	＋1
中学校	14	3	－11
計	18	8	－10

5 児童生徒の安全確保

⑴ 不審者・不審電話件数

（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	増減
不審者	30	34	＋4
不審電話	0	0	0

⑵ 千歳っ子見守り隊

各小学校に「千歳っ子見守り隊」を設置し、町内会やＰＴＡの見守り隊ボランティアが児童生徒の見守り活動を行っています。

（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	増減
見守り隊員数	798	778	－20

⑶ 子ども110番の家

子ども達が不審者、事件等に遭遇したときに、助けを求める場所として、各小学校が校区内の商店や事業所などに協力を呼びかけ、「子ども110番の家」を設置しています。

（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	増減
登録件数	1，052	1，208	＋156

6 青少年指導人数

青少年指導センター専門指導員による青少年の指導人数

（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	増減
未就学	0	0	0
小学生	6	11	＋5
中学生	0	20	＋20
高校生	34	18	－16
その他学生	0	0	0
有職少年	0	0	0
無職少年	0	0	0
成人	0	0	0
合計	40	49	＋9

※指導内容は、自転車の二人乗りが16人と最も多く、次いで川遊びが7人となっている。

Ⅴ 社会教育

〔1〕生涯学習・社会教育の主な施策

いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進	・生涯学習活動を促進する「千歳学出前講座」や「生涯学習フォーラム」の開催 ・市民の自主的な活動と交流を支援する市民活動交流センター「ミナクール」での市民活動に関する情報提供や相談体制の充実 ・地域の力による子どもたちの活動を支援する「学校支援地域本部事業」の拡大
社会の変化や今日的課題などに対応した、様々な学習機会の充実	・「市民教養セミナー」、「若返り学園」、「高星大学」、「高星大学大学院」等の市民ニーズに応じた学習機会の提供 ・子育てに必要な知識を学ぶ「ママさん教室」、「男性の子育て講座」、「家庭教育セミナー」の開催
市民ニーズに対応し、安全で快適に利用ができる社会教育施設の充実	・北ガス文化ホール、千歳公民館、市立図書館等の改修による施設機能の充実
多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援	・市民ニーズに対応した北ガス文化ホールや市民ギャラリーでの市民ニーズに対応した魅力ある文化鑑賞事業の実施 ・市立図書館の図書資料の充実と「高齢者支援サービス」、「赤ちゃんタイム」の実施 ・市民の文化活動を促進する活動成果を発表する場の提供
文化財の保護と継承	・国指定史跡「キウス周提墓群」や伝統的郷土芸能「泉郷獅子舞」等の文化財の保護と継承 ・国指定史跡「キウス周提墓群」のユネスコ世界文化遺産登録に向けた取組の推進 ・埋蔵文化財の普及啓発を図る体験学習会や企画展、講演会の実施
地域における各種スポーツ活動の活発化と団体の育成	・「千歳ジュニアスポーツフェスティバル」等のスポーツイベントやスポーツ教室の充実 ・スポーツ活動を支援する指導者や団体の育成
思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年の健全育成活動の推進	・青少年の体験や学習の機会の充実を図る「イングリッシュキャンプ」と「チャレンジ教室」の開催

⑵ 社会教育委員・公民館運営審議会委員

1 社会教育委員

氏　名	所 属 団 体
安 榮 智 裕	千歳市校長会
渡 辺 文 貴	北海道千歳高等学校
五十嵐 隆 子	千歳市女性団体協議会
吉 村 剛	千歳市文化団体連絡協議会
西 本 隆 史	㈶千歳市体育協会
西 尾 久 幸	千歳市スポーツ推進委員協議会
阿 保 広	千歳市スポーツ少年団
鎌 倉 英 昭	千歳市町内会連合会
伊 林 敏	千歳市子ども会育成連合会
清 水 浩 子	公民館教室
東 方 弘 美	おはなしの会ピノキオ
田 中 秀 典	千歳市文化財保護協会
丹 波 泰 哉	千歳市ＰＴＡ連合会
梅 村 信 弘	公立千歳科学技術大学
蓬 田 恒 春	千歳市退職校長会

㈰令和元年7月1日現在㈱

2 公民館運営審議会委員

氏　名	所 属 団 体
安 榮 智 裕	千歳市校長会
五十嵐 隆 子	千歳市女性団体協議会
吉 村 剛	千歳市文化団体連絡協議会
西 本 隆 史	㈶千歳市体育協会
鎌 倉 英 昭	千歳市町内会連合会
伊 林 敏	千歳市子ども会育成連合会
清 水 浩 子	公民館教室
丹 波 泰 哉	千歳市ＰＴＡ連合会
梅 村 信 弘	公立千歳科学技術大学　理工学部
蓬 田 恒 春	千歳市退職校長会

㈰令和元年7月1日現在㈱

〔3〕社会教育事業（平成 30 年度）

事業名	開催月日	会　場	対　象	趣　旨
千歳学出前講座	通年 402件	公共施設等	市民等 5名以上の団体 13,636 名	市民と市民の学びあいによる学習機会の充実や交流の活性化を図るとともに、市民と行政が情報の共有をもとに、協働して生涯学習によるまちづくりを推進する。
学校支援地域本部事業	5月～3月	各支援対象校等	市民 支援対象校 26 校	市民が自らの資格や技能、学んだ成果を活用し、学校を核とした地域活動に生かせる仕組みや体制をつくり、学校の支援ニーズに応じてボランティア活動の機会を提供する。
放課後子ども教室	5月～3月	緑小学校	緑小学校児童 144 名	放課後の子どもたちの安心・安全な活動場所を確保し、地域住民の支援による学習・スポーツ・文化活動の機会及び学年や世代を超えた交流の機会を提供する。
生涯学習フォーラム	3月	北ガス文化ホール （千歳市民文化センター）	来場者数 ４００名	市民が生涯学習に取り組む動機付けとなるような社会教育関係団体等のステージ発表及び展示コーナーなどを設け、各団体の活動を広く市民に周知するとともに、団体と来場者、団体間の交流の場を提供する。
市民教養セミナー	9月～3月 年6回	総合福祉センター ほか	市民 284 名	社会環境の変化に対応し、市民の学習ニーズに応え、自主的に取組む機会を提供する。
英会話教室	１０月～１１月	北新コミュニティセンターほか	高校生以上 30 名	身近な外国語である英語を通じて国際理解と国際感覚の涵養を図り、国際性豊かな人材を育成する。英会話教室は市民団体との協働により実施。
英語暗唱コンテスト	10月20日	北ガス文化ホール （千歳市民文化センター）	中学生以上 48 名	
成人式 「はたちのつどい」	平成31年 1月 13 日	北ガス文化ホール （千歳市民文化センター）	新成人 対象者 1,375 名 参加者 688 名	新成人の門出を祝うとともに、社会人としての自覚と社会でとの関わりや果たすべき役割の認識を高めてもらう契機とする。

事業名	開催月日	会　場	対　象	趣　旨
千歳高星大学	4月～12月 (2年制)	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター) ほか	60歳以上の 市民41名	豊かで生きがいのある人生を創造できるよう組織的な学習機会を提供する。
千歳高星大学大学院	4月～12月 (2年制)	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター) ほか	千歳高星大学を卒業した市民 34名	高星大学で学んだことを基礎に、郷土千歳への理解を深め、充実した人生を創造するための学習機会を提供する。
千歳市若返り学園	5月～3月	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター) ほか	60歳以上の 市民441名	明るく健やかに豊かで生きがいのある生涯を送るために必要な学習機会を提供する。
ママさん教室	①5月～7月 ②9月～11月	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター) ほか	乳幼児の子をもつ母親 ①25名 ②26名	子育て中の母親たちを対象に、子供の発達段階に応じた育児知識の習得と情報交換の場を提供するとともに、地域で子育てを支援する人材を育成・活用する。
家庭教育セミナー	①　6月16日 ②12月　9日	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター)	市民 ①294名 ②234名	子育て中の親に限らず、多くの市民に、家庭教育について考える機会を提供し、地域における家庭や地域の教育力向上を図る。
男性の子育て講座	①　8月18日 ②12月15日	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター)	父親と子 ①25組 ②18組	講義や実践を通じて父親としてのあり方や子どもとの関わり方を学び、男性の家庭教育への参画促進を図る。
社会教育関係団体	通年		市民 362登録団体	市民の自主的な学習活動や社会参加活動を支援するために活動団体を登録し情報提供する。
フレンドリーコンサート 千歳合唱祭	7月1日	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター)	市内合唱団体 8団体131名	合唱を通じて技術の向上と文化活動の振興を図るとともに、市民へ芸術鑑賞の機会を提供する。
千歳市民文化表彰	11月2日 (贈呈式)	ホテル グランテラス千歳 (贈呈式)	5個人	顕著な功績があった個人・団体等を表彰し、市の文化の向上・振興を図る。
チャレンジ教室	①体験年7回 ②出前講座 年8回 ③体験教室 年5回	千歳市総合福祉センターほか	小・中学生 ①231名 ②592名 ③175名	ものづくりなどを通して体験活動の機会を提供するほか、地域で子ども活動を支援する人材を育成・活用する。
千歳市・指宿市 青少年相互交流事業	①8月3日～6日 ②12月22日 ～25日	千歳市⇔ 鹿児島県指宿市	小学校 6年生16名	未来ある子どもたちの交流を通して姉妹都市の友好関係の発展を図る。
イングリッシュキャンプ	①7月21日 ②10月13日	①支笏湖小学校 ②東千歳中学校	小学5・6年 ①29名 ②20名	ＡＬＴを講師として千歳市にまつわるクイズやゲームを通じて英語に興味を持つ機会を提供する。

⑷ 社会教育施設

1 千歳市立図書館

⑴ 施設の概要

所 在 地 千歳市真町2196番地の1 電話0123-26-2131
開　　設 昭和63年2月1日
建築構造 鉄筋コンクリート及び鉄筋鉄骨コンクリート造併用構造 地上2階地下1階
敷地面積　13,062.08㎡
建築面積　2,233.87㎡
延床面積 1階 2,130.25㎡
2階　380.14㎡
地階　305.19㎡
合計 2,815.58㎡

⑵ 沿 革

昭和25年6月に札幌CIE（札幌民間情報教育局）図書館千歳分館として図書2,100冊の寄贈を受け発足しました。29年、千歳公民館の開館に伴い、公民館の一室に図書室として移り、37年には千歳市民会館内に移転し、名称も公民館図書室となりました。その後、46年には、千歳公民館が新築開館したことに併せて、市民図書室と改称されました。

49年に市立図書館建設運動準備会が開催され、これを機に市内各団体や個人から数多くの図書が寄贈され、図書室はめざましく充実し、その結果、51年4月に待望の市立図書館が誕生しました。53年から図書館分室を3か所設置（平成6年度閉室）しましたが、その後、図書室の利用者数、蔵書の増加によって狭隘化したため、現在の場所に新築することが決定しました。60年度基本設計・実施設計を経て、61年7月に工事着工、62年11月竣工し、63年2月に開館し、平成6年4月には待望の移動図書館車「ブッくん」が運行を開始しました。21年4月からは、2代目の「ブッくん」が運行し、現在は市内42か所のステーションを巡回しています。

インターネットの普及により、13年1月に図書館ホームページを開設しました。16年4月から千歳駅市民サービスセンター（同センターの閉鎖に伴い、現在は千歳駅観光案内所）、17年2月からは3支所において図書の取次ぎを開始するとともに、同年4月からはインターネットによる図書の予約受付を開始しました。

19年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や運営の効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は、株式会社山三ふじやです。20年5月に千歳市出身の作家「畔柳二美」の資料常設展示コーナーを、22年7月に郷土史家「長見義三」の資料常設展示コーナーを開設しました。

25年5月からは、市内の各小中学校に学校司書を配置し、学校図書館の管理・運営を支援しています。

⑶ 運営方針

・市民の声を大切にし、市民と協働して創る図書館
・市民の求める資料、情報に応えることができる図書館
・市民生活や地域の要求課題に役立つ図書館
・温かさとやすらぎが感じられる図書館
・子どもへのサービスを重視する図書館
・高齢者、障がい者へのサービスを重視する図書館
・市内のどこに住んでも、だれにでも利用しやすい図書館

⑷ 事業実績（30年度）

事業名	開催月日	入場者（参加者）数
上映会	4月～3月（26回）	170人
古典文学読書会	4月～3月（24回）	133人
乳幼児読書普及事業	4月～3月（11回）	301人
おはなし会（5団体）	4月～3月（77回）	1,239人
市民読書グループ支援	4月～3月（55回）	219人
こどもの読書週間記念事業	5月12日	100人
童話創作講座	6月～11月（5回）	28人
子育て総合支援センター読み聞かせ	4月～2月（7回）	308人
読書スタンプラリー	7月～9月	162人
手作り絵本教室	8月（5回）	99人
こども読書推進事業・図書館まつり同時開催	7月29日、12月23日	758人
千歳市民文芸合評会	9月29日	16人
ふるさとポケット協賛事業	9月23日	383人
読書週間記念事業・図書館まつり同時開催	11月3日	42人
赤ちゃんタイム	4月～3月（14回）	385人

⑸ 利用案内

ア AV コーナーは、LD や DVD・CD を主体とし、音と画像、映像による資料を個人で視聴できます。収容人員は19ブース・25名で、ソフト数は全部で12,026タイトルを所蔵しています。

イ AV 室は、図書館の行う比較的多人数の主催行事（講演会、映画会、おはなし会等）を行う部屋で、収容人員は約100名。

ウ 一般閲覧室は、参考図書コーナー、閲覧席、軽読書席、書架を配置し、12万冊を収蔵しています。

エ 児童閲覧室は、ヤングアダルトコーナー（小学校高学年、中学生向）、閲覧席、軽読書席、書架、おはなしコーナー（読み聴かせ、紙芝居等）があり、4万冊を収蔵しています。

オ 新聞・雑誌コーナーは、軽読書のコーナーで新聞、雑誌、パンフレット等を設置。

カ 閉架書庫は10万冊を収蔵しており、書架はスチール製移動書架を設置しています。

キ 会議室は、読書会等の主催事業、来客用応接室に設置され、収容人員は約60名。

⑹ 図書状況

	開館日数	貸出人数	一日平均貸出人員	貸出冊数	一日平均貸出冊数	登録者数	市民一人当たり貸出冊数
30年度	333	117,027	351	633,669	1,903	1,504	6.10

⑺ 蔵書冊数

	分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	合計
30年度	冊数	5,261	7,355	17,402	27,929	16,656	16,696	287,530
	分類	産業	芸術	語学	文学	AV資料	その他	
	冊数	6,632	17,719	3,347	99,326	12,026	57,181	

⑻ 分類別貸出冊数

	分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	合計
30年度	冊数	7,076	19,123	31,810	33,625	37,705	76,069	633,669
	分類	産業	芸術	語学	文学	AV資料	その他	
	冊数	12,122	38,364	5,844	198,584	3,821	169,526	

2 千歳市立千歳公民館

⑴ 施設の概要

所 在 地　千歳市真町176番地の3　電話0123-23-2740
開　　設　昭和46年4月10日
建築構造　鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 地上2階
敷地面積　2,930.50㎡
建築面積　750.44㎡
延床面積　1,573.88㎡
会 議 室　5室 23.46㎡～68.40㎡
和　　室　1室 44.40㎡
講 習 室　1室 54.00㎡
大集会室　1室526.93㎡

分　館

分 館 名	延面積	開館年月日	備 考
泉郷分館	353.16㎡	昭和24.4.10	H26改築
協和分館	108.54㎡	昭和24.10.1	S48改築
長都分館	358.02㎡	昭和25.5.10	S59増築
新川分館	215.30㎡	昭和28.8.18	H16 新川連合会館新築
中央分館	609.87㎡	昭和30.11.1	H11コミセン併設
幌加分館	124.21㎡	昭和36.11.1	S56改築
根志越分館	223.56㎡	昭和37.9.24	S55改築
東丘分館	149.85㎡	昭和37.11.1	S57改築
釜加分館	608.68㎡	昭和38.3.1	H9コミセン併設
駒里分館	268.92㎡	昭和43.10.1	S63増築
長都開拓分館	169.29㎡	平成7.4.1	

⑵ 沿 革

昭和22年に千歳小学校の一部を借り新設し、29年には東雲町に独立した公民館を開設しました。

37年には、市民会館の落成に伴い、市民会館内に公民館が併設され、農村地区に設置されていた各公民館は分館と改称されました。その後、46年4月に現在地に新築開館し、現在に至っています。平成20年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は公益社団法人千歳市シルバー人材センターです。

⑶ 運営方針

ア 生きがいのある豊かな生活を送るための学習機会の充実
・生きがいを持って強く生きるための学習活動の促進
・多様な生活課題に対応し人生経験を生かした実践的な学習機会の充実
イ 豊かな経験や学習の成果を生かした社会参加の促進
・高齢者の活力を地域社会に生かすボランティア活動の促進
・地域での世代間交流と生活文化の伝承活動の促進
ウ 学ぶ意欲を高め社会参加を促進する学習環境の整備
・高齢者の学習活動と社会参加を支援するコーディネート機能の整備
・地域での主体的な学習活動の奨励と支援体制の充実

(4) 公民館教室開講状況(平成30年度)

	昼間教室		夜教室	
	教室名	人数	教室名	人数
千歳公民館	ZUMBA	43	ヨガ入門	46
	座ってﾘｽﾞﾑ体操	28	フラメンコ	11
	フラワー・アレンジメﾝﾄ	9	フラダンス	25
	太極拳	36	英会話中級	23
	実践英会話	27	英会話初級	26
	やさしいフォークダンス	10	きもの着付け	19
	やさしい英会話	24		
	オカﾘナ	7		
	ｱﾄﾏナンダ・ヨガ入門	43		
	健康ヨガ	47		
	囲碁	19		
	三味線 中級	9		
	ﾘﾝパセラピー	13		
	はじめての社交ダンス	13		
	茶道	12		
	三味線 初級	9		
	津軽三味線	9		
市民文化センター	ハワイアンダンス	17	ｽﾄﾚｯﾁ体操	31
	ふっくらパン	11	社交ダンス	34
	3B体操	20		
	さわやか健康体操	38		
	やさしい基本ｽﾄﾚｯﾁ体操	34		
	コンディショニング	19		
	陶芸	11		
市民ギャラリー	粘土工芸	16	書道(夜)	28
	書道(昼)	38		
	絵画(水彩画)	20		
	絵手紙	15		
昼間教室 合計		597	夜間教室 合計	243
総計37教室 840人				

(5) 公民館利用状況(平成30年度)

公　民　館			分館(11分館の合計)		
	利用件数	利用者数		利用件数	利用者数
青少年	16	249	青少年	89	2,340
社会学級	0	0	社会学級	93	1,339
婦人学級	0	0	婦人学級	1	45
文化関係	984	10,841	文化関係	257	5,939
スポーツ	479	12,104	スポーツ	0	0
集会･会議	165	4,065	集会･会議	314	2,888
その他一般	55	1,542	その他一般	69	655
計	1,699	28,801	計	823	13,206

3　千歳市民文化センター

⑴　施設の概要

所 在 地　千歳市北栄2丁目2番11号　電話0123-26-1151
開　設　昭和59年4月1日
建築構造　鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造地上4階地下2階
敷地面積　16,654.27㎡
建築面積　6,870.10㎡
面　積　13,015.68㎡

(内訳)
地階1　74.84㎡(電気、機械室)
地階2　1,274.20㎡(電気、機械室)
1階　4,260.84㎡(ﾘﾊｰｻﾙ室、プラネタﾘｳﾑ、控室)
2階　2,973.62㎡(中ホール、調理教室、美術工芸室、陶芸教室、和室、多目的室)
3階　2,763.00㎡(大ホール、視聴覚室、中会議室)
4階　1,396.26㎡(大会議室、展示ホール、小会議室)
塔屋　272.92㎡(電気、機械室)

⑵　沿　革

昭和54年千歳市開基百年記念事業の一環として、文化活動、芸術･文化の鑑賞そして生涯を通じた学習活動の拠点となる施設の建設が計画され、55年度に実施設計開始、56年6月に着工し、3か年工事で58年12月1日竣工、59年4月21日に全館供用開始しました。

平成17年4月から1年間をかけてﾘﾆｭｰｱﾙ工事を行い、18年4月7日より全館供用を再開しました。

25年1月から3月にかけて大ホール、26年1月から3月にかけて中ホールの音響･照明設備の改修整備を行い、舞台演出の技術革新に対応するデジタル化された最新の音響･照明設備を導入しました。

施設は、大ホール(客席1,275)、中ホール(客席412)、会議室、視聴覚室、調理教室等の研修室、プラネタﾘｳﾑなどを備え、開館以来、舞台公演、講演会、各種大会のほかサークル活動に広く活用されています。

19年4月からは、民間業者による経営ﾉｳﾊｳを活用し、サービスの向上、経費の削減や運営の効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者はｾﾝﾄﾗﾙﾘｰｼﾝｸﾞｼｽﾃﾑ株式会社です。

⑶　運営方針

市民の主体的な学習活動を助長し、創造的な芸術文化活動を奨励するため施設のもつ教育的機能を十分発揮するとともに、市民が気軽に利用できる施設として、サービス向上に努めています。

(4) 主催･主管事業 (30年度)

自主文化事業 (31事業)

事業名	開催日	入場者数	内　　容
怒髪天 カムバック･サーモン Tour 2018	5月4日	400	ロックバンド「怒髪天」によるミュージックコンサート
千歳寄席 ～北海道で江戸噺2018～	5月13日	278	4人の真打による江戸噺寄席
ダンススタジオマインドワークショップ	5月29日 6月 1日	15	ダンススタジオ「舞人」によるワークショップ
ダンススタジオマインドダンス公演	6月 2日	167	ダンススタジオ「舞人」によるダンス公演及びワークショップ
ちとせ子ども科学キャンパス	7月15日	80	千歳科学技術大学理科工房による科学教室、工作･体験ブースを実施
人形劇団えりっこ千歳公演	7月16日	70	人形劇団えりっこによる人形劇
プラネタリウムサンドアート公演 2018	7月21日	126	砂絵で描く物語のプラネタリウムを使った上映会
第18回キラキラコンサート	7月22日	684	市内小中学校及び高校の吹奏楽･リコーダーの合同演奏会
オーロラ上映＆トークライブトークライブ	7月28日 29日	148	オーロラメッセンジャー中垣哲也氏によるオーロラの映像投影と講演
EBIKEN The ENTERTAIMENT Tour 2018 in北海道 ワークショップ	8月10日	5	「EBIKEN」によるワークショップ
EBIKEN The ENTERTAIMENT Tour 2018 in北海道	8月11日	263	「EBIKEN」によるパントマイム･ダンス公演
サンクトペテルブルグ国立舞台サーカス公演	8月26日	789	「サンクトペテルブルグ国立舞台サーカス団」による舞台サーカス
日本映画祭 in ちとせ	9月 1、2日	176	名作邦画4本の上映会
映画鑑賞会「怪盗グルーのミニオン大脱走」	10月13日	565	文化祭 2018 カルチャーミックス
ロビー音楽･芸能発表会			
親子で作るフィナンシェ教室			
初心者のためのリラックスヨガ			
プリザーブドフラワー造花アレンジメント			
ハーバリウム/造花のミニアレンジメント			
おたのしみ劇場ガウチョスの人形劇「こまめちゃん」			
学生落語			
初心者向け陶芸教室			
プラネタリウム操作体験教室			
プラネタリウム無料投影			
サイエンスチャンネル上映			
ロビーコンサート	11月10日	70	コーラス星の会によるロビーでのコンサート
千歳ジュニアオーケストラ	11月11日	500	千歳の若い世代による定期演奏会
オーケストラ体験教室	1月20日	7	千歳フィルハーモニーオーケストラによる体験教室
ニューイヤーコンサート	1月20日	383	千歳フィルハーモニーオーケストラの演奏会
夢舞台2019高校演劇 in ちとせ	2月11日	159	千歳高校、千歳北陽高校、恵庭南高校による演劇公演
歌舞伎入門公演	3月10日	345	歌舞伎の所作や様式美について実演をまじえて紹介する歌舞伎入門公演を開催

⑸ 利用案内

ア 大ホール舞台は、間口18m、高さ9m、奥行15.5mで、特に音響装置機能の充実を図り、 走行式反射板(電動)を採用するなど全国有数の音響機能を有しています。
昭和60年4月には、札幌交響楽団により黒沢明監督「乱」の音楽収録が行われました。

イ 中ホール舞台は、間口11m、高さ5.5m、奥行10mで、音響反射板を設置しています。

ウ プラネタリウムは、ドーム直径11.3m、座席数は120席。

エ 視聴覚室は、ビデオプロジェクター・音響装置を備えており75人程度の研修が可能。

オ 大会議室は、音響装置を備えており移動ステージを組むことにより約200席の小ホールとしても使用できます。

カ 美術工芸教室には、イーゼル・石膏像・人台などが用意されており、利用人数は約30人となっています。

キ 陶芸教室は、土練機、電動ロクロ等の機器を備え、約20人用の作業室と作品の乾燥室、別室には都市ガス焚きの窯を設置しており、一連の作業が行えます。

⑹ 利用状況(30年度)

施設区分		大ホール等	中ホール等	会議室等	プラネタリウム	合計
利用件数		949	283	2,916	126	4,274
利用件数の内訳	式　典	50	14	85		149
	講演・集会	114	32	279		425
	会議・研修等	194	57	1,471		1,722
	邦楽・邦舞	26	21	115		162
	洋楽・洋舞	451	115	400		966
	演　劇	9	4	2		15
	映　画	0	6	3		9
	公民館教室	0	0	283		283
	プラネタリウム				126	126
	展示・その他	105	34	278	0	417
利用人数		71,523	27,920	81,956	2,118	183,517

4　千歳市民ギャラリー

⑴　施設の概要

所 在 地　千歳市千代田町5丁目7番地の1　電話0123-42-5214
開　設　平成7年4月15日
建築構造　鉄骨鉄筋コンクリート造地上4階地下1階
敷地面積　746㎡
建築面積　587㎡
延床面積　2,418㎡

（内訳）
地階1　83㎡（空調・給排水・ボイラー室）
1階　573㎡（展示ホール1：260㎡等）
2階　530㎡（展示ホール2：261㎡等）
3階　594㎡（研修室1：67㎡、研修室2：85㎡、
研修室3：180㎡、事務室等）
4階　594㎡（市民活動交流センター「ミナクール」、女性団体協議会、文化団体連絡協議会）
塔屋　44㎡（エレベーター機械室）

⑵　沿　革

平成7年4月、千歳市第4期総合計画「人間性と個性を培う〝教育文化都市・ちとせ〟」の一環として、市民が感性や情操を高め、心豊かで潤いのある地域文化の創造を目指して、創作活動や鑑賞等と芸術文化活動に積極的に参加できる機会の拡充と、発表活動等に対して支援の充実を図るため開館しました。

19年4月からは、民間業者による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や運営の効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者はセントラルリーシングシステム株式会社です。

⑶　運営方針

市民文化センターを補完する施設として、市民の芸術文化の拠点となるよう、美術工芸等の創造活動や発表・鑑賞機会の充実に努めています。

⑷　自主文化事業（30年度）　12事業

事業名	開催日	入場者数	内　容
懐かしの昭和映画ポスター展	4月28日 ～30日	110	邦画ポスター約109点の展示
第9回フォトネットソルト写真展	5月15日 ～20日	314	千歳市を中心に活動する写真サークルの写真展
伊藤光悦展～過ぎ去りし刻をみつめて～	6月13日 ～19日	625	元市内学校美術教師による絵画展
嶋田忠写真展	7月19日 ～23日	84	市内在住の写真家による収蔵写真作品展
千歳美術協会優秀作品選抜展	9月16日 ～23日	536	市内芸術団体による油彩、水彩画等の作品展
佐藤国男版画展	11月7日 ～11日	111	千歳市収蔵の佐藤国男の版画47点を展示
手作りクリスマスリース教室	11月17日	27	㈱北海道興農者の内田　泉氏による手作クリスマスリース教室
手作りしめ縄教室	12月　8日	28	㈱北海道興農者の内田　泉氏による手作りしめ縄教師を実施
収蔵作品展	1月17日 ～20日	68	関川弘道氏の油彩画17点、菊地又男氏の油彩画17点を展示
志村貞雄油彩展	2月14日 ～17日	57	志村貞雄氏の油彩画19点を展示
千歳市文化団体交流展	3月6日 ～10日	529	千歳市内の文化芸術サークルによる出展作品を公開
千歳北陽高校校外展	3月16日 ～20日	133	千歳北陽高校の美術部、書道部、写真部、創作漫画部、図書局、教職員による作品を公開

⑸　利用案内

ア　展示ホールは、1階260㎡、2階261㎡の2室があり、市内初の本格的ギャラリーとして美術・書道関係の展示が行われています。

イ　研修室は、67㎡、85㎡、180㎡の3室があり、イーゼル・石膏像・人台などを備えています。

⑹　利用状況　（30年度）

施設区分		展示ホール	研修室等	合計
利用件数		230	414	644
利用件数の内訳	研修・講習	18	262	280
	展示	185	1	186
	公民館教室	0	151	151
	その他	27	0	27
利用人数		12,361	4,755	17,116

5　千歳市民活動交流センター　「ミナクール」

⑴　施設の概要

所 在 地　千歳市千代田町5丁目7番地の1
千歳市民ギャラリー4階
電話0123-24-0847

開　設　平成18年8月1日

施設設備　打合せコーナー、交流スペース、談話室兼児童室、作業コーナー、
情報コーナー、掲示コーナー、図書コーナー、展示コーナー、相談窓口

利用時間　9：00～21：00（休館日：毎週月曜日、毎月最終金曜日、年末年始）

⑵　沿　革

豊かな市民生活や活力ある地域社会を実現するため、自主的な市民活動や交流を積極的に推進することを目的に設置しました。

千歳市民活動交流センター
ミナクール

⑶　利用案内

対　象：市民活動をしている団体や個人
使用料：無料（印刷機等一部有料）

⑷　所管課

教育委員会教育部生涯学習課

⑸　利用状況（平成30年度）

(単位：人)

総利用者数	利用室別							
	打合せコーナー	交　流スペース	談話室兼児童室	図　書コーナー	作　業コーナー	情　報コーナー	展　示コーナー	見学相談
12,132	6,044	1,030	1,507	1	1,594	854	425	677

6 千歳市青少年会館

⑴ 施設の概要

所 在 地　千歳市東雲町1丁目10番地　電話0123-23-1945
開　設　昭和44年12月1日
建築構造　鉄骨造一部2階建
敷地面積　704.60㎡
延床面積　498.96㎡

(内訳)
体育場　235.44㎡
研修室1号　38.43㎡
研修室2号　49.41㎡
和　室　11.07㎡
事務室　15.30㎡

千歳市青少年会館

⑵ 沿 革

昭和44年12月、北海道百年記念地域事業として青少年が同じ世代の仲間とともに、自らが求めるスポーツや自由な活動を通じて、連帯性、協調性、責任感などを養い、青少年の心身の健全な発達及び地域青少年活動の振興を図ることを目的に建設されました。

平成9年6月には、学校適応指導教室「おあしす」が会館内に開設され、不登校児童生徒に対し、教育相談や集団活動における生活習慣や学習等について指導･援助を行うことに利用されています。

18年4月からは、民間業者による経営のノウハウを活用し、サービスの向上、経費の削減や施設管理の効率化を目的に指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は株式会社クリーン開発です。

⑶ 利用案内

対　象　児童生徒及び学生、勤労青少年
使用料　無料

⑷ 利用状況（平成30年度）

(単位:人)

総利用者数	利用者数			室別利用状況			
	勤労青少年	児童生徒	その他	体育室	集会室	研修室	その他
12,191	413	7,782	3,996	9,693	2,418	4,956	718

※室別利用者数は延べ人数

⑸ 文 化 財

1 施設概要

千歳市埋蔵文化財センター
所在地　千歳市長都42番地の1
面　積　1,750㎡
開　館　平成22年4月1日
主要施設　常設展示室、企画展示室、レクチャールーム、体験学習室
常設展示の見学　月曜～金曜日（祝日及び12月29日から1月3日を除く）及び毎月第2日曜日の午前9時から午後5時まで、無料

千歳市埋蔵文化財センター

2 沿 革

先人が時代とともに築いてきた文化は、現代の私たちの生活の基礎となっています。千歳には豊かな自然とともに数多くの文化財が残され、時を超えたメッセージを伝えてくれます。遺跡は主に千歳川やその支流、長都川、ユカンボシ川流域などで発見され、平成31年4月までに299遺跡にのぼり、国指定史跡2カ所、国指定重要文化財3件、市指定史跡1カ所、市指定有形文化財3件があります。

埋蔵文化財以外では、近世から現代までの歴史、文化を伝える有形文化財3件、無形文化財1件と、アイヌの人々が伝承してきた無形文化財1件が市の文化財に指定されています。また、アイヌの古式舞踊は、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。

千歳市埋蔵文化財センターは、文化財の保護と活用の拠点施設として、平成22年4月、旧長都小中学校を利用して業務を開始しました。遺跡からの出土品が市民に公開されています。

3 国指定史跡

⑴ ウサクマイ遺跡群　千歳市蘭越（昭和54年5月23日指定）　管理団体：千歳市

市街地から約5km、支笏湖に向かう途中に、名水百選に選ばれた湧水を源とする内別川が流れています。全長わずか2.5kmの小さな川ですが、約7,000年前の縄文時代早期からこの川を中心に人々が暮らし始めました。以後、続縄文、擦文、アイヌ文化期から近代に至るまで、川辺には先人たちの足跡が数多く残され、現在は川の両岸に残る21カ所の遺跡を中心に146haに及ぶ広大な範囲が史跡として保護されています。

ウサクマイC遺跡見学コース入口

(2) キウス周堤墓群　千歳市中央（昭和54年10月23日指定）　管理団体：千歳市

周堤墓とは、今から約3,200年前の縄文時代後期に造られた、北海道に固有の集団墓です。地面を円形に掘り下げ、周囲に環状に土を盛った区画の中に墓穴を掘り、遺体を埋葬しました。キウス周堤墓群には全部で8基の周堤墓があります。大きなものは直径が75mもあり、他に例のない規模を誇る縄文時代最大級の集団墓です。現在でも地表からその形を見ることができるまとまった周堤墓はここにしかない貴重なものとして、4.9haが1979年に国の史跡に指定されました。

キウス周堤墓群（1号周堤墓）

4 国指定重要文化財

(1) 動物形土製品　昭和51年美々4遺跡出土　市所有（昭和54年6月6日指定）

頭、首、胴そして指の刻まれた手足を持ち、カメ・水鳥・ムササビ・アザラシなどにも見える不思議な姿をしています。全長31.5cm、最大幅16.2cm、最大厚9.8cm、中は空洞で全身に美しい模様が描かれています。約2,500年前の縄文時代晩期に作られたもので、埋蔵文化財センターに複製品を展示しています。

(2) 土面　昭和61年ママチ遺跡出土　国所有（昭和63年6月6日指定）

ママチ川のほとりで発掘した約2,300年前の縄文時代晩期のお墓から発見されました。縦横18cmで、ちょうど、お祭りの露店で売っているお面と同じくらいの大きさで、口と目の部分がくり抜かれ、静かな死の表情を表しています。当時、この土面は墓標に付けられていたとも考えられています。実物は江別市の北海道立埋蔵文化財センターに展示されており、複製品を埋蔵文化財センターに展示しています。

動物形土製品

土面

(3) 北海道美々8遺跡出土品　千歳市美々　道所有（平成17年6月9日指定）

新千歳空港の滑走路建設工事の際に、美沢川左岸の美々8遺跡（低湿部）の発掘調査によって見つかった、アイヌ文化の木製品を中心とする1,164点の出土品です。出土品は北海道立埋蔵文化財センターに保管され、一部が展示されています。

5　国指定重要無形民俗文化財

(1)　アイヌ古式舞踊　　千歳アイヌ文化伝承保存会（平成6年12月21日構成団体に指定）

アイヌとはアイヌ語で「人間」を意味する言葉です。アイヌの人々は、豊かで厳しい大自然の中で独自の生活を営んでいました。自然から学びとった知恵や工夫、習慣や信仰は親から子へと大切に伝えられ、その一つに「舞踊」があります。千歳地方で伝承されている「ホリッパ」「ハラルキ」「ヤィサマ」などの歌と踊りの中には、素朴な形のものや他の地方には見られない千歳独自のものも残されています。

6　市指定文化財

(1)　千歳神社境内釜加神社弁財天御厨子（かまかじんじゃべんざいてんみずし） 有形文化財 民間所有

(昭和52年4月23日指定)

かつて千歳一帯はアイヌ語で「大きなくぼみ」という意味の「シコツ」と呼ばれていました。文化2（1805）年、シコツ場所担当の箱館奉行調役並　山田鯉兵衛嘉充（やまだりへえよしみつ）が箱館奉行の羽太正粮（はぶとまさやす）に新しい地名を付けたいと願い出たところ、当時シコツにたくさんいた鶴にちなみ、「鶴は千年」の「千年」をとって「千歳」と改名されました。その由来が弁財天を収めていた厨子の背面に記されています。

埋蔵文化財センターに複製品を展示しています。

釜加の厨子（正面）

厨子背面に書かれた由来文

(2)　蕨手刀（わらびてとう）　有形文化財　市所有（昭和55年7月21日指定）

昭和38年、蘭越の内別川右岸のウサクマイA遺跡付近から見つかった二振りの鉄製の刀。写真は、漆塗り鞘に入った状態で発見された大変珍しい一振りで、刀の長さは推定56cm。柄の部分の形に特徴があり、春の山菜のワラビに似ていることから「蕨手刀」と呼ばれています。

この型の刀は、1,300年ほど前の東北地方の遺跡から数多く発見されており、古代の北海道と東北の交流を示す大切な資料となっています。写真の刀と鞘は埋蔵文化財センターに展示しています。

蕨手刀

(3) 美々貝塚　史跡　千歳市美々７５８番地　(昭和５２年４月２３日指定)

美々貝塚は約６０００年前の縄文前期の貝塚で、当時の海岸線は現在の苫小牧の海岸線よりも１７kmも内陸にありました。貝塚は4つで構成され、そのうち最も大きなものは、直径4m、貝層は厚さが1.2mもあります。保存施設内には4分の1が展示されており、貝塚の断面を観察することができます。

美々貝塚からはヤマトシジミを中心とした１５種類の貝類、スズキやボラ、サケ、ウグイなど8種類の魚類、ウやアビなどの5種類の鳥類、さらにシカ、イヌ、ネズミ、トドなどの哺乳類の骨などが出土しています。魚を捕る網漁に使用された石錘(おもり)や、大型動物を捕獲するための銛先(もりさき)、石鏃などの漁具･狩猟具、また、丸底や尖底の土器も出土しています。

美々貝塚は、大昔の千歳の自然環境や人々の生活･文化を知る上で大切な遺跡であり、昭和５２年に市の史跡に指定され、一般に公開されています。

美々貝塚

(4) 磨製石棒　有形文化財　市所有 (昭和５２年４月２３日指定)

キウス周堤墓群4号周堤墓外縁部のお墓から見つかった石の棒。全長５７cm、重さ７１０gで、全体が丁寧に磨かれ、両端には繊細な線によって模様が彫られています。黒い色調は重量感にあふれ、美術的にもたいへん優れています。約3,２００年前の縄文時代後期に作られたもので、埋蔵文化財センターに展示しています。

磨製石棒

(5) 男性土偶(どぐう)　有形文化財　市所有 (昭和５２年４月２３日指定)

昭和３８年、蘭越の内別川右岸のウサクマイＡ遺跡付近から見つかった板状の人形(土偶)。全長１４.５cm、厚さ0.9cm。縄文時代晩期に作られたと考えられており、眉や鼻などの顔の表現がママチの土面とよく似ています。縄文時代の土偶は、ほとんどが女性をモデルにしているので、男性とはっきりわかるものとしては全国でも大変珍しいものです。

埋蔵文化財センターに展示しています。

男性土偶

(6) 駅逓看板(えきていかんばん)　有形文化財　個人所有 (昭和５２年４月２３日指定)

明治5(１８７２)年、北海道開拓使は、函館と札幌の間に郵便事業を始め、毎月6回ずつ郵便物を運んでいました。

当時、千歳で郵便局(郵便取扱所)となったのが、新保旅館であり、当時を伝える縦１２０cm、横９４cmの看板2枚が大切に保存されています。

駅逓看板

(7)　泉郷（いずみさと）獅子舞　　無形文化財　泉郷獅子舞保存会（昭和54年10月25日指定）

市街地から北東へ車で15分ほど行くと、古くから獅子舞が伝えられている泉郷の農村地帯があります。

原野だった泉郷は、明治20（1887）年に開拓が始まりますが、獅子舞は富山県から入植した人々が同29年頃に伝えたとされています。富山の古い舞と千歳で生まれた新しい舞は、毎年9月に泉郷神社に奉納されますが、その勇壮さは、今も人々の心をかきたてています。

泉郷獅子舞

(8)　アイヌの伝統的芸能と工芸技術　無形文化財 千歳アイヌ文化伝承保存会（平成5年5月20日指定）

千歳地方のアイヌの人々によって古くから伝承されてきた古式舞踊、ユカラやウェペケレの語りなどの伝統的芸能、イナウ作り・イカルカル（刺しゅう）・チタルペ（ゴザ編み）などの工芸技術の伝承保存活動が行われています。

千歳アイヌ文化伝承保存会を中心に行われている伝承保存活動の主な内容

●歌と踊り：ホリッパ(輪踊り)・ハラルキ(鶴の舞)・ヤイサマ(即興の歌)・ウポポ(座り歌)
●語　　り：ユカラ（神謡・口承の英雄・神話伝説）・ウエペケレ（昔話）
●祭　　祀：カムイノミ（神様を迎える儀式）・イチャルパ（先祖の慰霊祭）
●工芸技術：イナウケ（イナウ作り）・イクパスイ作りなどの男に伝わる技術
　　チタルペ（ゴザ）・刺繍やマタンプシ（鉢巻）作りなど女に伝わる技術
●料　　理：シト（団子）・シケレペ（キハダの実の料理）など

模様入りのチタルペ・刺繍が施された着物とマタンプシ

アシリチェップノミにつくられたヌサ（祭壇）

(9) 山線鉄橋（やませんてっきょう） 有形文化財 市所有（平成11年8月24日指定）

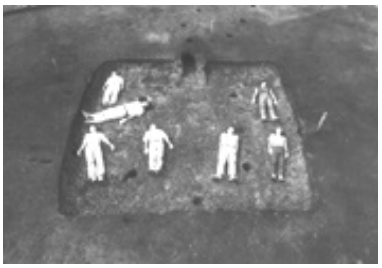
北海道内で現在使用されているものとしては最古の鋼橋（イギリス型ピン結合トラス橋）であり、明治32（1899）年にイギリスから輸入され、北海道官設鉄道上川線の砂川・妹背牛間に「第一空知橋」として架けられました。大正12（1923）年に、支笏湖の王子製紙苫小牧工場専用鉄道（軽便鉄道「山線」）の橋「湖畔橋」として移設され、昭和26（1951）年の山線廃止後は道路橋として利用されていました。

平成7年から9年に大規模な改修工事を行い、近代建築遺産として恒久的な保存が図られました。現在は「山線鉄橋」の名で歩道橋として利用され、支笏湖の新たなシンボルになっています。

山線鉄橋

遺跡と埋蔵文化財の年表

時代区分		主な埋蔵文化財
本州	北海道	
近代	開拓	
江戸	アイヌ	末広遺跡 （410年前）
織豊	アイヌ	フレドィヒのチャシ ペサのチャシ
室町	アイヌ	シュトクンネヒのチャシ アッテウシのチャシ
鎌倉	アイヌ	
鎌倉	擦文	（800年前）
平安	擦文	千歳神社遺跡 末広遺跡 祝梅三角山D遺跡 祝梅竪穴遺跡
奈良	擦文	
古墳	続縄文	蕨手刀 （1,300年前） ふ化場1遺跡
弥生	続縄文	ママチ高台遺跡
縄文時代	晩期	（2,300年前） ママチ遺跡、梅川3遺跡 男性土偶、土面 動物形土製品
縄文時代	後期	キウス周堤墓群、石棒
縄文時代	中期	丸子山遺跡環壕 イヨマイ6遺跡
縄文時代	前期	美々貝塚
縄文時代	早期	
旧石器時代		（10,000年前） メボシ川2遺跡 祝梅上層遺跡 （20,000年前） 柏台1遺跡 祝梅三角山下層遺跡 丸子山遺跡



末広遺跡

擦文時代の竪穴式住居跡が 102 軒も発見された、道内でも屈指の遺跡です。

近世アイヌ期、縄文後期の資料も数多く出土しています。

男性土偶

蘭越の内別川右岸のウサクマイ A 遺跡付近から見つかった板状の人形（＝土偶）です。眉や鼻などの顔の表現がママチの土面とよく似ています。縄文時代の土偶は、ほとんどが女性をモデルにしているので、男性とはっきりわかるものとしては全国でも大変珍しいものです。

美笛の熊送り場

支笏湖をつつむ豊かな森林地帯の岩陰に、キムンカムイ（山の神＝ヒグマ）の頭骨が祭られていました。大自然の中で営まれてきたアイヌ文化の精神的な豊かさを示す祭場の一つです。

キウス周堤墓群

縄文時代後期末（約3,200年前）の集団墓地で、7基の周堤墓がまとまっています。最大のものは外径75m、内径34m、土手の高さが5.4m もあり、今も地表面で確認できるお墓としては日本最大です。国の指定史跡です。

祝梅下層遺跡

磨製石棒

キウス周堤墓群で発見されました。長さは57cm あります。両端に刻みがつけられ、丹念に研磨された美しい石棒です。まじないやお祈りなどの道具ではないかと考えられています。

ママチ川丸木舟遺跡

市内朝日町の地下2m で発見された丸木舟です。長さ7.3m、幅50cm で堆積した地層から18世紀以前のものとわかります。

美沢川流域遺跡群

周堤墓群のほか、集落跡や貝塚、動物形土製品など、数多くの遺構と遺物が発見された遺跡群です。

⑹ 公益財団法人千歳青少年教育財団

所在地　千歳市花園2丁目312番地　電話0123-42-3030
設　立　昭和57年3月12日

1　目的

青少年の健全育成を図るために必要な事業を行うとともに、水族館施設の管理運営に関する事業を行い、もって千歳市及び北海道における社会教育の振興に寄与すること。

2　主な事業内容

⑴ 青少年及び市民のための教育講座や体験教室の開催
⑵ 青少年団体の育成、助言、研修の実施
⑶ 水族館の設置、企画展示、各種体験等の実施（平成26年度から所管は教育委員会から観光スポーツ部になりました。）

3　サケのふるさと　千歳水族館　（旧「千歳サケのふるさと館」）

⑴ 施設の概要

所 在 地　千歳市花園2丁目312番地　電話0123-42-3001
開　　設　平成6年9月10日
建築構造　鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造地上3階地下1階
敷地面積　2,981.672㎡
建築面積　1,510.580㎡

（内訳）
地階　810.621㎡
1 階　1,249.822㎡
2 階　847.306㎡
3 階　84.488㎡

⑵ 沿　革

千歳川を遡上する親サケを捕獲する捕魚車（以下「インディアン水車」）は、世界に例を見ないユニークな施設であり、1896年に設置されました。このインディアン水車とその周辺を整備するウォーターフロント構想の中核となる「淡水魚水族館施設」として建設されました。

サケを中心としたサケ科魚類及び北方圏淡水魚の調査、研究に基づくその生態展示、並びに生態・産業・文化等の資料展示を行い、広く水産資源や河川に関する知識の啓発・普及を目的に水族館施設として社会教育事業の振興を図ります。

平成 27 年7月25日、「サケのふるさと 千歳水族館」としてリニューアルオープンしました。

⑶ 利用案内

淡水では日本最大級の水槽を有する水族館で、館内ではサケの仲間や北海道の淡水魚を中心に、世界各地の様々な淡水生物を観察することができます。また、サケの一生を紹介するサーモンムービーが上映されているほか、千歳川の水中を直接見ることのできる日本初の施設「水中観察ゾーン」があり、四季折々の千歳川の生き物たちを観察することができます。特に秋は、産卵のために遡上するサケの群れを見ることができ、千歳川にかかる水車橋から見えるインディアン水車によるサケの捕獲の様子とともに、千歳川独特の施設になっています。

⑷ 利用者数

平成30年度実績　254,941人

⑸ 入場料（令和元年度）

	個　人	団体(10人以上)	障がい者	年間パスポート券	
				個人会員	法人会員
大　人	800円	600円	400円	1,500円	10,000円
高　校　生	500円	400円	250円	1,500円	
小学生･中学生	300円	200円	150円	500円	
幼　児	無　料	無　料	無　料	ー	

※年間パスポート券は、発行日から1年間有効。

※年間パスポート券（法人会員）による入館は、1回5名まで。

⑹ 開　館

ア　開館期間：1月2日～12月28日、メンテナンスのため別途休館日あり

イ　開館時間：9：00～17：00

4　教育事業（平成30年度）

事業名	開催月日	会　場	対象・参加	趣　旨
ジュニア・リーダー前期講習会	①4月28日 ②5月20日	北ガス文化ホール（市民文化センター）大会議室ほか	小学5年生～中学3年生 13名	子ども会活動の活性化を目指し、中心的な役割を果たすべきジュニア・リーダーの養成講習会。初級・中級・上級の3段階に分けて実施した。
体験学習	①6月23日 ②9月9日 ※②は地震により中止	①サケのふるさと千歳水族館他 ②支笏湖	①小学3年生～6年生　16名 ②小学3年生～中学3年生	①千歳市の特産食材・ハスカップを使った体験教室を行い、地元への関心、知識を深めた。 ②カヌー体験は地震のため中止した。
緑の村キャンプ大会	①7月21～22日 ②7月28～29日	青葉公園ピクニック広場	①町内会子ども会122名 ②小学4年生～中学3年生42名	宿泊生活や野外活動を通じて、協力し、助け合いの精神を養うとともに、他地域の子ども同士の友情も深めた。
アクアリウムナイトツアー	8月2～3日	サケのふるさと千歳水族館	小学4年生～中学2年生 39名	夜の展示生物観察を主体とする、ガイドツアープログラム。水族館に宿泊し、飼育業務などを体験した。
わくわく体験教室	8月5日	さけのふるさと千歳水族館	幼児～小学生 24名	シニア・リーダーの会員が、日頃の活動訓練の成果を発揮し、リーダーとしての資質向上を図るため、千歳水族館の来館者を対象とした体験教室を実施した。
自然教室	8月7日～8日	国立日高青少年自然の家	小学4年生～中学3年生43名	集団宿泊生活や野外活動、自然との触れ合いを通して団体生活の規律を身につけた。
全道地域子ども会リーダー研修会	8月9～12日	国立大雪青少年交流の家	小学4年生～中学3年生43名	高校生リーダーが「北海道子どもキャンプ」の活動支援を行いながら、リーダーとしての資質向上を図った。
石狩管内地域子ども会シニア・リーダー研修	地震のため中止	千歳市防災学習交流センター他	中高生 21名	石狩管内地域子ども会のシニア・リーダー会員が一堂に会し、千歳市防災訓練に参加し防災研修を実施する予定であったが、地震により防災訓練が中止となり、研修も中止となった。
ジュニアリーダーHokkaido	9月15～17日	ネイパル深川	中学3年生、高校2年生　2名	道内で活動しているリーダーが参加して、地域活動に主体的に参画する意欲・態度の向上を図り、交流を行った。
サーモン・ツアー～早起きはサーモンの徳～	台風のため中止	さけのふるさと千歳水族館	小学4年生～中学3年生	サケシーズンの宿泊学習として、早朝に千歳川のサケ遡上観察や、調理体験などを行う予定であったが、台風接近のため中止した。
千歳の子どもクリスマスの集い	12月2日	日の出小学校	幼児～小学6年生 65名	クリスマスにちなんだ創作活動やレクリエーションを通じて、相互の親睦を深めた。
ジュニア・リーダー後期講習会	①12月8～9日 ②2月16～17日	恵庭市青少年研修センター	小学5年生～中学3年生のべ23名	子ども会活動の活性化を目指し、中心的な役割を果たすべきジュニア・リーダーの養成講習会。初級・中級・上級の3段階に分けて実施した。
冬休み体験教室	1月10～11日	国立日高青少年自然の家	小学4年生～小学6年生 42名	集団宿泊生活や野外活動、社会見学などを通して団体生活の規律を身につけた。
ちとせっ子雪あそび	2月3日	道の駅サーモンパーク千歳	小学1～6年生 102名	冬期間運動不足になりがちな子どもたちの体力向上、健康増進を図るため、道の駅サーモンパーク千歳内のイベント広場を中心に、屋外でのレクリエーションゲームを行った。
シニア・リーダー研修会	3月16～17日	国立日高青少年自然の家	中高生14名	子ども会活動を支援しているシニア・リーダーが、事業の企画・立案・運営方法の研修を通して、様々な支援活動を担える実力の育成を図った。
シニア・リーダー交流会	3月26～28日	ネイパル深川	中高生 10名	道内各地のシニア・リーダーとの交流・情報交換を行い、リーダー間のネットワークの構築と相互研鑽を図った。
サケふるセミナー	土日祝日、夏・冬休み期間中計9回	サケのふるさと千歳水族館	193名	サケの採卵体験や、サケ皮クラフトなどの工作プログラムを実施した。

〔7〕社会体育事業（平成30年度）

事業名	開催月日	会　場	対 象	趣　　旨
卓球教室 （初心者・中級者）	4月	スポーツセンター第2体育館	18歳以上 初級・中級者 222名	初歩的技能を身につけ、ラリーが続くことで楽しいと感じてもらう。また、教室終了後も引き続き仲間で競技を継続し、心身の健康を維持、並びに、卓球の普及拡大を図る。
かけっこ教室	5月	スポーツセンターアリーナ	小学 1～3年生 193名	かけっこの基本を学んで、少しでも足が速くなる練習を行う教室。体力つくりのための運動も実施する。
トランポリン教室 （5・6年生コース）	4月	スポーツセンター第2体育館	小学 5・6年生 249名	トランポリンは、人間が空中に跳び上がりたいという欲求を十分に満たしてくれる運動で、トランポリンの楽しさと厳しさを習得し、健やかでたくましい心身の成長を図る。
トランポリン教室 （4年生コース）	6月～7月	スポーツセンター第2体育館	小学 4年生 223名	
トランポリン教室 （3年生コース）	9月	スポーツセンター第2体育館	小学 3年生 205名	
1・2年生体育教室	10月	スポーツセンター第2体育館	小学 1・2年生 199名	跳箱、縄跳び、鉄棒等、基礎的な運動を取り入れた体育教室。体力つくりのための運動も実施する。
弓道教室	6月～7月	武道館弓道場	中学生以上 102名	弓道の基礎的な知識及び技能の概要を体得し、弓道の楽しさを理解すると共に健全な心身を養う。
ジュニア卓球教室	7月	スポーツセンター第2体育館	小学生 262名	卓球の初歩的技能を身につけさせ、楽しさを理解させることで、教室終了後も生活の中で実践していく習慣を身につけさせる。
キッズチャレンジ 4歳児教室	7月～8月	スポーツセンター第2体育館及びアリーナ	4歳児 150名	団体活動を通して、幼児に体を動かせることと、スキンシップを図ることで幼児同士の結びつきを重視し、遊びに必要な運動能力を伸ばし、運動の楽しさを学ぶ。
テニス教室	2月～3月	スポーツセンターアリーナ	社会人 98名	テニスの基礎的技術を身につけ、テニスの楽しさを理解し、テニスの普及を図る。
スケート教室	1月	青空公園スケートリンク	小学1年生 200名	スケートの履き方、取扱いからはじまり基礎的な技術を習得し、冬期間の運動の楽しさを学ぶ。
キッズスポーツ 5歳児教室	3月	スポーツセンター第2体育館及びアリーナ	5歳児 158名	団体活動を通して、幼児に体を動かせることと、スキンシップを図ることで幼児同士の結びつきを重視し、遊びに必要な運動能力を伸ばし、運動の楽しさを学ぶ。

（主催：公益財団法人千歳市体育協会）

〔8〕学校開放事業

学校体育施設（体育館、グラウンド）を広く市民スポーツの場に開放し、市民スポーツの振興を図ることを目的として実施し、市民の好評を得ています。

1 体育館

⑴ 使用申込み

利用希望団体は、利用する月の前月の15日までに管理指導員まで申し込む。

⑵ 開放期間・時間

開放期間　4月～3月

開放時間　平　日　　17:00～21:00

土・日・祝日・学校の休業日　9:00～21:00

⑶ 開放学校

市内小中学校（東小学校を除く）

2 グラウンド

⑴ 使用申込み

利用希望者は、利用する月の前月の15日までに観光スポーツ部スポーツ振興課スポーツ施設係まで申し込む。（受付：土・日・祝日を除く、9:00～17:00）

⑵ 開放期間・時間

開放期間　5月～10月

開放時間　平　日　　5:00～7:00　17:00～19:00

土・日・祝日・学校の休業日　5:00～19:00

⑶ 開放学校

市内小中学校（東小学校、北進小中学校除く）

3 武道場

⑴ 使用申込み

利用希望団体は、利用する月の前月の15日までに管理指導員まで申し込む。

⑵ 開放期間・時間

開放期間　4月～3月

開放時間　平　日　　19:00～21:00

⑶ 開放学校

勇舞中学校

4 利用状況

⑴ 利用人数

年度	体育館	武道場	グラウンド	計
28	108,547人	254人	40,500人	149,301人
29	105,416人	473人	40,074人	145,963人
30	100,086人	710人	35,899人	136,695人

⑵ 種目別利用状況（平成30年度）

体育館種目別利用状況

種目	利用状況	種目	利用状況
バスケットボール	28.4%	ミニバレーボール	4.1%
フットサル	26.3%	バレーボール	7.0%
野球	9.5%	空手	3.6%
バドミントン	6.4%	その他	14.7%

グラウンド種目別利用状況

種目	利用状況
野　球	65.6%
サッカー	34.4%

⑶ 開放校及び開放期間

	体育館	武道場	グラウンド
学校名	⑴通年⑴ 千歳小・北栄小・末広小・緑小 千歳第二小・支笏湖小・日の出小 信濃小・高台小・祝梅小・桜木小 向陽台小・北陽小・泉沢小 北進小中・駒里小中 千歳中・青葉中・東千歳中・富丘中 北斗中・向陽台中・勇舞中	⑴通年⑴ 勇舞中	⑴5月～10月⑴ 千歳小・北栄小・末広小・緑小 千歳第二小・支笏湖小・日の出小 信濃小・高台小・祝梅小・桜木小 向陽台小・北陽小・泉沢小・駒里小中 千歳中・青葉中・東千歳中・富丘中 北斗中・向陽台中・勇舞中

⑼ 社会体育施設

1 千歳市温水プール

⑴ 施設の概要

所 在 地　千歳市流通3丁目1番9号　電話0123-49-7001
開　　設　平成10年7月20日
建築構造　鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
　　地上2階地下1階
敷地面積　7,712.63 ㎡
延床面積　3,643.751㎡
　　1階 2,766.254㎡
　　2階 572.920㎡
　　地階1　304.577㎡

1階　プール、更衣室、待合ロビー、
　　観覧ロビー、会議室
2階　ロビー、多目的ホール、会議室、歓談室、空調機械室、電気室
地階1　濾過機械室、機械監視室
（施設設備）
プール室　競泳プール（公益財団法人日本水泳連盟公認25m、8コース）、
　　流水プール（周回距離44.9m）、幼児・低学年プール
ウォータースライダー（滑走路全長101.04m）
ジャグジー（2基）、寝湯（3人用）、採暖室、観覧席（119席）
ロッカー室：ロッカー数550（男264人分、女270人分、多目的16人分）

⑵ 沿　革

新千歳空港24時間運用を巡る地域振興対策の一環として、平成9年4月に着工、10年5月に完成し、開設準備を経て平成10年7月20日から供用開始しました。

施設は、公益財団法人日本水泳連盟公認25m競泳プール8コースと、101.04mウォータースライダーや周回44.9m流水プールなどのレジャー的要素のプールを備えています。

平成21年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は株式会社苫小牧スコーレです。

⑶ 運営方針

利用者が水に親しみ、心身の健全な発達及び健康の増進の場として、気軽に利用できる施設として、サービスの向上に努めています。

⑷ 利用案内、利用状況

ア 開館時間　10:00～21:00
イ 休館日　月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始、整備期間(2月)
ウ 利用状況（平成30年度）

区 分		延利用者数(人)
一般利用	未就学児	2,786
	小･中学生	19,012
	高校生	407
	一般	18,384
	65 歳以上	7,791
	障がい者	5,358
	小計	53,738

区分		延利用者数(人)
講習会	未就学児	7,577
	小･中学生	36,024
	一　般	6,556
	その他の事業	4,423
	小計	54,580
専用利用		1,840

合計　110,158 人

2 千歳市スポーツセンター

⑴ 施設の概要

所 在 地　千歳市真町176番地の2　　電話0123-22-1111
開　　設　昭和53年7月1日
構　　造　鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造一部鉄骨造　地上2階
敷地面積　20,699.99㎡
建築面積　3,846.80㎡
延床面積　　1階　　3,606.77㎡
　　中2階　　286.04㎡
　　2階　　1,984.24㎡
　　R階　　114,76㎡　合計 5,991.81㎡

《主要施設》
収容人員　2階固定席 772席、1階移動席 1,500席、立見席 500席
◎ｱﾘｰﾅ 1,680㎡(42m×40m)【ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ(2面) ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ(3面) ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ(8面) ﾃﾆｽ(2面) 卓球(35台) 体力ﾃｽﾄ
◎第2体育館 432㎡(16m×27m)【ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ(1面) ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ(3面) 卓球(6台)
◎ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室 255.49㎡【ﾗﾝﾆﾝｸﾞﾏｼｰﾝ他19種36台】
◎幼児室　91.93㎡

⑵ 沿　革

昭和45年6月の「スポーツ都市宣言」以来、全市を挙げてスポーツの振興に力を注ぎ、千歳市開基90周年･市制施行10周年の記念事業として、このスポーツセンターの建設が決定された。51年7月の着工以来、2か年の工事期間を経て、53年3月31日に完成、同年7月1日から供用開始しました。

平成18年4月からは、民間による経営ﾉｳﾊｳを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は公益財団法人千歳市体育協会です。25年4月から1年間をかけてﾘﾆｭｰｱﾙ工事を行い、26年4月19日より全館供用を再開しました。

⑶ 運営方針

市民すべてがスポーツに親しみ、健全な体力づくりの場として積極的に活用されるような施設運営に努めています。

⑷ 利用案内、利用状況

ア　開館時間　9:00～21:00
イ　休館日　第4月曜日、年末年始
ウ　利用状況 (平成30年度)

区　分				延利用者数(人)
個人	ｱﾘｰﾅ及び第2体育館	当日券	小中高	14,187
			一　般	12,449
		定期券	小中高	1
			一　般	2,338
		小　計		28,975
	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ	当日券		16,225
		定期券		13,847
		小　計		30,072
	その他			1,468
	小　計			60,515

区　分		延利用者数(人)
団体	スポーツ	56,464
	その他	129
	会　議	4,432
	小　計	61,025

合計　121,540人

3 千歳市開基記念総合武道館

⑴ 施設の概要

所 在 地　千歳市あずさ1丁目3番1号　電話0123-22-2100
開　設　平成5年6月1日
構　造　鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨 地上2階
敷地面積　28,037.47 ㎡
建築面積　6,567.23 ㎡
延床面積　7,298.64 ㎡

《主要室》
アリーナ　1,553㎡
剣道6面、柔道4面（公式）
バレーボール3面（6人制）
バドミントン10面
剣道場　450㎡ 剣道2面
柔道場　450㎡ 柔道2面
弓道場　463㎡ 近的28m×6人立
トレーニング室　179㎡ ランニングマシーン他14種37台
会議室　114.3㎡
観覧席　279㎡ 固定席約454席

⑵ 沿 革

千歳市開基記念事業として、この総合武道館の建設が決定されました。
平成5年3月17日に完成し、同年6月1日から供用開始しました。
平成18年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は公益財団法人千歳市体育協会です。

⑶ 運営方針

利用者が武道に親しみ、心身の健全な発達及び健康の増進の場として、気軽に利用できるような施設運営に努めています。

⑷ 利用案内、利用状況

ア 開館時間 9:00～21:00
イ 休 館 日 第2月曜日、年末年始
ウ 利用状況（平成30年度）

区 分				延利用者数(人)
個人	アリーナ及び競技場等	当日券	小中高	15,017
			一 般	15,247
		定期券	小中高	5,521
			一 般	12,271
		小 計		48,056
	トレーニング	当日券		8,202
		定期券		10,499
		小 計		18,701
	その他			83
	小 計			66,840

区 分		延利用者数(人)
団体	スポーツ	61,974
	会 議	5,799
	小 計	67,624

合計 134,464人

4 その他の社会体育施設

区分	施設名	所在地	利用期間･時間	施設概要
屋内	ふれあいセンター	あずさ1丁目1番13号	通年9:00～21:00休館:月の最終月曜日、年末年始	鉄骨造平屋建 1,146.50㎡ 砂入り人工芝アリーナ ゲートボール2面、テニス1面
ゲートボール	青空公園ゲートボール場	あずさ1丁目1100番	4月～10月	ゲートボール２面
陸上	青葉陸上競技場	真町176番地の1	4月～10月	全天候舗装、3種公認400mトラック
野球	千歳市民球場	泉沢868番地の22（青葉公園内）	4月～10月	面積25,000㎡、両翼95m、センター120m、本塁～バックネット周19m
	青葉球場	真町2196番地の1（青葉公園内）		面積21,000㎡、両翼95m、センター115m､本塁～バックネット周19．6m
	上長都公園野球場	上長都1051番地の17		面積7,868㎡ 両翼70m､センター85m
	若草公園野球場	若草5丁目4番地		面積21,475㎡
	青葉少年野球場	真町176番地の3		面積6,870㎡、少年野球場1面
ソフトボール	あずまソフトボール場	青葉2丁目5番地の23	4月～10月	面積6,092㎡、ソフトボール場1面
	住吉ソフトボール場	住吉1丁目3番地		面積18,000㎡、ソフトボール場2面
	臨空公園ソフトボール場	泉沢1007番地の52		面積8,250㎡、ソフトボール場2面
ラグビー サッカー	青葉公園ラグビー場	泉沢868番地の23	4月～10月	面積15,000㎡、
	青葉公園サッカー場	泉沢868番地の22		面積21,000㎡
	青空公園サッカー場	あずさ1丁目1096番地		面積9,800㎡
	臨空公園サッカー場	泉沢1007番地の112		面積15,914㎡
広場	青葉多目的広場	真町176番地の3	通年	面積894㎡
	泉郷多目的広場	泉郷289番4	4月～10月	面積7,543㎡
	青葉公園ピクニック広場	泉沢868番地の23	4月～11月	面積33,000㎡
庭球	青葉公園庭球場	真町2196番地の1	4月～10月	面積11,543㎡､人工芝、硬式7面､軟式5面
	すみよし２号公園庭球場	住吉2丁目4番地		面積1,380㎡、クレイ2面
	末広東公園庭球場	末広3丁目29番地		面積800㎡、人工芝1面
	しゅくぷ公園庭球場	梅ヶ丘2丁目8番地の1		面積1,218㎡、人工芝1面
	つばさ公園庭球場	泉沢1007番地の127		面積2,730㎡、人工芝4面（夜間照明2面）
	上長都明星公園庭球場	上長都5番地の2		面積1,098㎡、人工芝1面
	向陽台公園庭球場	文京3丁目4番地の1		面積2,730㎡、人工芝4面（夜間照明2面）

区分	施設名	所在地	利用期間･時間	施設概要
水泳プール	青葉水泳プール	真町176番地の3	6月下旬～9月上旬 10:00～17:00	ｺﾝｸﾘｰﾄDNｼｰﾄ張(上屋付) 25m×10.7m、5ｺｰｽ 深度1.1m～1.5m
	北栄水泳プール	北栄1丁目10番3号		ｺﾝｸﾘｰﾄDNｼｰﾄ張(上屋付) 25m×13m、7ｺｰｽ 深度1.3m～1.4m
	日の出水泳プール	日の出2丁目3番6号		ｺﾝｸﾘｰﾄDNｼｰﾄ張(上屋付) 25m×13m、7ｺｰｽ 深度1.1m～1.5m
	末広水泳プール	富丘2丁目6番3号		ｱﾙﾐDNｼｰﾄ張(上屋付) 25m×13m、7ｺｰｽ 深度1.1m～1.4m
	東水泳プール	東丘824番地の30		ｱﾙﾐ(上屋付) 20m×9m、3ｺｰｽ 深度0.9m～1.1m
	北斗水泳プール	北斗5目1番1号		ｱﾙﾐDNｼｰﾄ張(上屋付) 24m×10.2m、4ｺｰｽ 深度1.1m～1.4m
	向陽台水泳プール	若草5丁目3番地		ｱﾙﾐDNｼｰﾄ張(上屋付) 25m×10.2m、4ｺｰｽ 深度1.1m～1.4m
	信濃水泳プール	信濃2丁目34番12号		ｱﾙﾐDNｼｰﾄ張(上屋付) 25m×10.2m、4ｺｰｽ 深度1.1m～1.4m
	駒里水泳プール	駒里945番地		FRP(上屋付) 25m×7.82m、3ｺｰｽ 深度1.1m～1.2m
	北陽水泳プール	北陽3丁目9番1号		FRP(上屋付) 25m×10.2m、4ｺｰｽ 深度1.1m～1.4m
スケート	青空公園スケート場	あずさ1丁目1096番地	1月～2月 9:00～20:30	面積8,602.95㎡、1周400m公認、夜間照明付、夏期ローラースケート場
	日の出ｽｹｰﾄﾘﾝｸ	日の出小学校	1月～2月 8:30～16:00	1周約200m
	祝梅ｽｹｰﾄﾘﾝｸ	祝梅小学校		
	高台ｽｹｰﾄﾘﾝｸ	高台小学校		
	向陽台ｽｹｰﾄﾘﾝｸ	向陽台小学校		
	信濃ｽｹｰﾄﾘﾝｸ	信濃小学校		
	桜木ｽｹｰﾄﾘﾝｸ	桜木小学校		
	北栄ｽｹｰﾄﾘﾝｸ	北栄小学校		
	千歳ｽｹｰﾄﾘﾝｸ	千歳小学校		
	緑ｽｹｰﾄﾘﾝｸ	緑小学校		
	北陽ｽｹｰﾄﾘﾝｸ	北陽小学校		
	千歳第二ｽｹｰﾄﾘﾝｸ	千歳第二小学校		
	泉沢ｽｹｰﾄﾘﾝｸ	泉沢小学校		
	支笏湖ｽｹｰﾄﾘﾝｸ	支笏湖小学校		1周約140m
スキー	千歳市市民スキー場	泉沢1007番地の9	12月～3月 9:00～17:00 ナイター期間中 9:00～21:00	面積52,000㎡、管理棟175㎡、標高差48m、最大斜度27度、降滑長250m
	歩くスキーコース	青葉公園	12月～3月	歩くスキークラシカルコース3.2km、フリースタイルコース7.2km、冬期間のウォーキングコース3.2km

千歳市の教育

２０１９

令和元年7月発行

発行･編集　千歳市教育委員会